

平塚市環境基本計画等改定に係るアンケート報告書

2024（令和6）年11月

平塚市

目次

第1節	アンケートの概要.....	1
第2節	市民アンケート結果	2
1	回答者の属性.....	2
2	住まい近くの環境に対する評価(満足度、過去10年の変化)	6
3	平塚市が環境に取り組む中で、特に将来に向けて大事だと思うもの(3つまで)	18
4	自身の行動や、環境保全活動への参加について	20
5	環境保全の取組を進めるための、市の支援や発信の方法について	27
6	市民アンケートに見る方向性(総括).....	31
7	10年後、20年後を見ずえて、未来の平塚市の環境に望むことなど(自由記載)	33
第3節	事業者アンケート結果	63
1	回答者の属性.....	63
2	環境に対する考えについて、特に重要だと考えるもの(3つまで)	66
3	環境への取組による経営的なメリットとして、特に期待するもの(3つまで)	67
4	自事業所(市内)における脱炭素化の取組について	68
5	エネルギー対策のほかの取組について	70
6	環境への取組を進めるための、市からの支援策について	72
7	事業者アンケートに見る方向性(総括)	73
8	10年後、20年後を見ずえて、未来の平塚市の環境に望むことなど(自由記載)	74
第4節	市民団体アンケート結果	75
1	回答者の属性.....	75
2	自団体の活動を継続・発展させていく上での課題(制限なし)	77
3	自団体が活動を行っていく上で、市の支援を期待するもの(制限なし)	78
4	平塚市の環境施策として、特に重要と思うもの(3つまで).....	79
5	10年後、20年後を見ずえて、未来の平塚市の環境に望むことなど(自由記載)	80
第5節	調査票.....	81
1	市民アンケート調査票.....	81
2	事業者アンケート調査票	85
3	市民団体アンケート調査票	89

第1節

アンケートの概要

- 「平塚市環境基本計画(地球温暖化対策実行計画(区域施策編)及び気候変動適応計画を含む)」
「平塚市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)」の改定に向け、市民や事業者、市民活動を行っている団体の意識やニーズ、意見を把握し、計画の目指す方向性や施策・取組の検討に資するとともに、計画推進の段階では取組を効果的に実施するための参考資料となることを目的として、アンケート(意識調査)を行った。
- 調査方法は以下の通りである。

調査	対象	配布方法	回答方法	調査期間
市民アンケート	市内在住で16歳以上の市民から無作為に抽出した2,500人	調査票を郵送	回答を記入した調査票用紙を返送。 もしくは、インターネットを介したWEB回答	令和6(2024)年 9月2日 ～9月30日
事業者アンケート	市内で営業している200事業所	同上	同上	同上
市民団体アンケート	環境分野に積極的に取り組んでいる市民団体20団体	同上	同上	同上

- 回答の回収結果は以下の通りである。

調査	調査票配布数	回収数	回収率
市民アンケート	2,500通	1,012件 内訳 調査票用紙802件 WEB回答210件	40.5%
事業者アンケート	200通	64件 内訳 調査票用紙50件 WEB回答14件	32.0%
市民団体アンケート	20通	12件 内訳 調査票用紙10件 WEB回答2件	60.0%
合計	2,720通	1,088件	40.0%

- 集計結果において、小数点2位以下で四捨五入をしているため、合計が100.0%にならない場合がある。
- 自由記載欄の意見は、記述されたままを原則としつつ、明らかな誤字脱字等については修正を加えて記載している。また、個人情報や個人の生活に関わる、個人や事業者を特定している、誹謗中傷に類する等の内容については、公表で問題が生じる恐れがあるため記載していない。

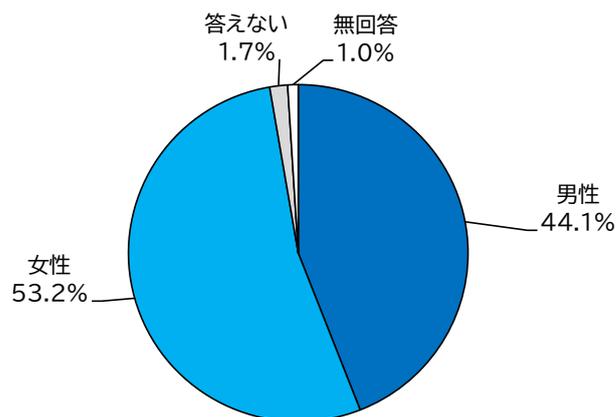
第 2 節

市民アンケート結果

1 回答者の属性

(1) 性別

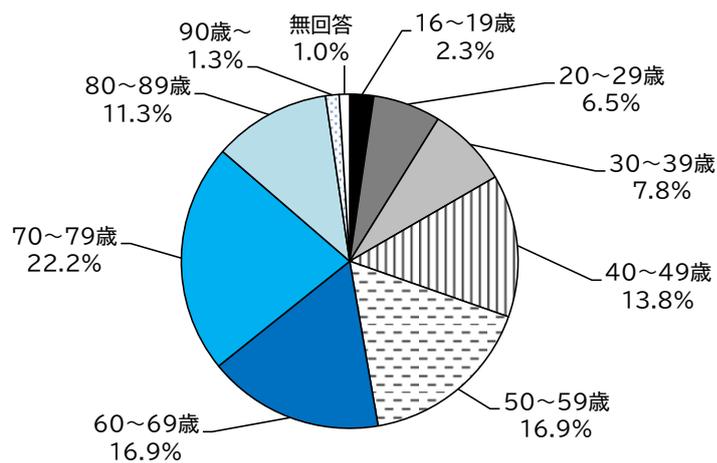
- 回答者の性別は、女性が 5 割を超えている。



n=1,012

(2) 年代

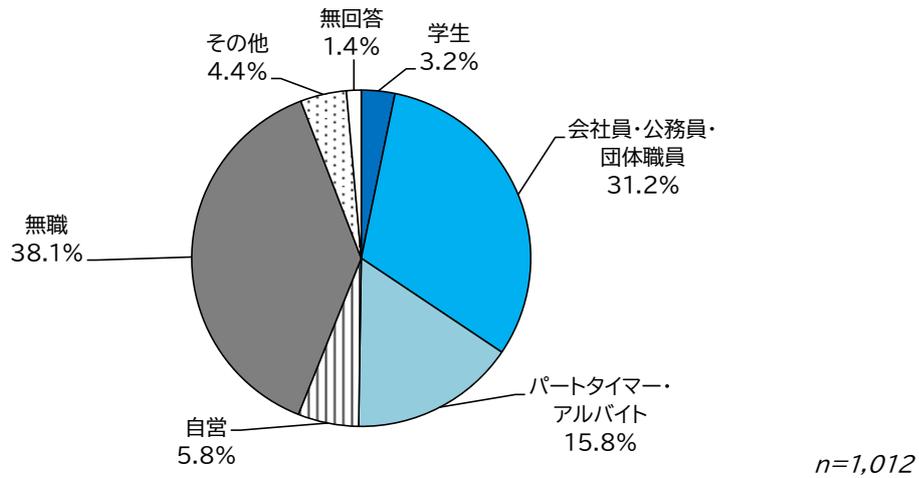
- 回答者の年代は、「70～79 歳」が最も多く 2 割を超え、次いで「60～69 歳」「50～59 歳」が 1 割台半ばとなっている。
- 年代が下がるほど少ない傾向にあり、39 歳以下は 1 割台半ばとなっている。



n=1,012

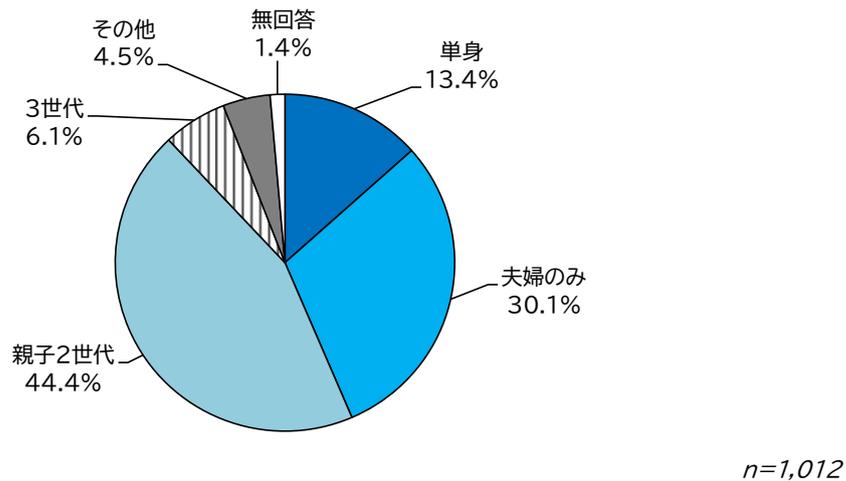
(3) 職業

- 回答者の職業は、無職が最も多く、次いで会社員・公務員・団体職員となっている。



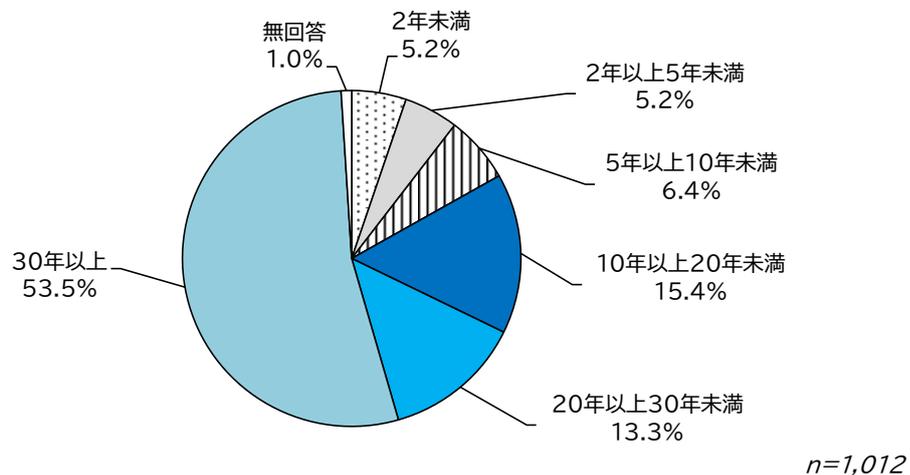
(4) 世帯構成

- 回答者の世帯構成は、親子2世代が最も多く、次いで夫婦のみとなっている。



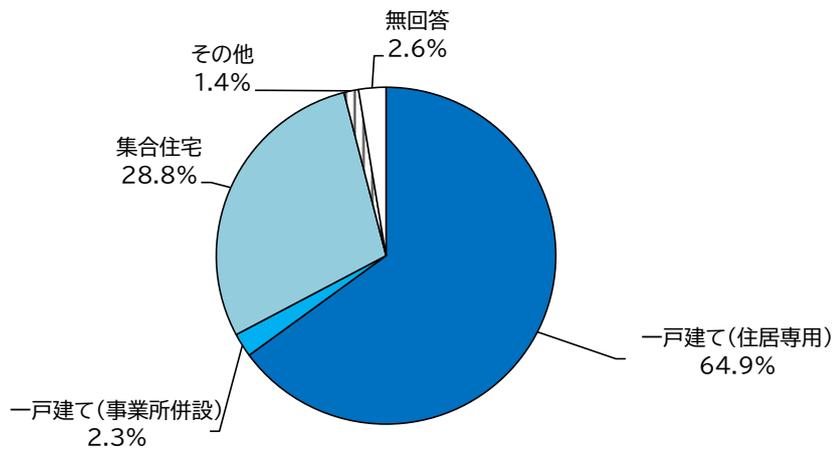
(5) 市内居住年数

- 回答者の市内居住年数は、30年以上が5割半ばとなっている。



(6) 住居形態

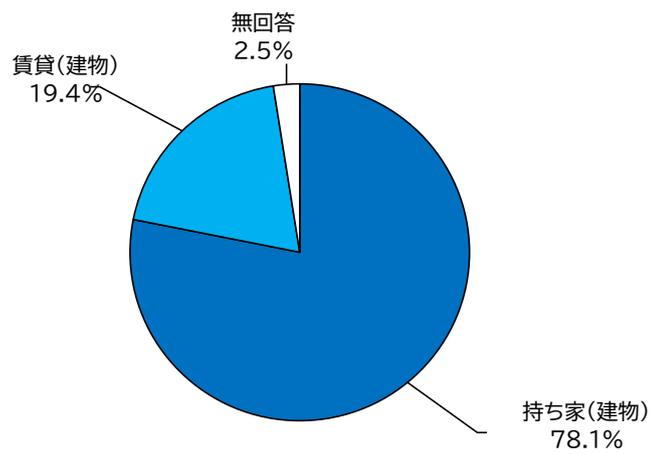
- 回答者の住居形態は、一戸建て(住居専用)が6割半ばとなっている。



n=1,012

(7) 住宅所有関係

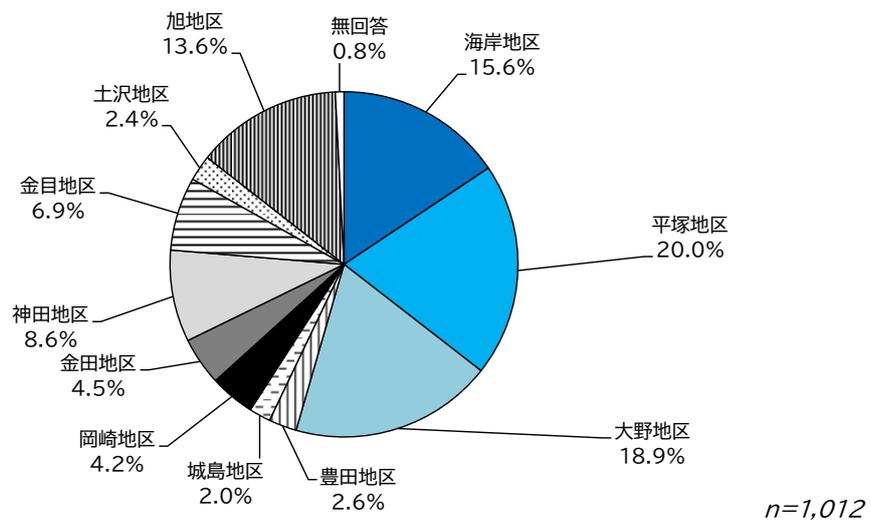
- 回答者の住居所有関係は、持ち家(建物)が8割近くとなっている。



n=1,012

(8) 居住地区

- 回答者の居住地区は、平塚地区が最多、次いで大野地区、海岸地区となっている。



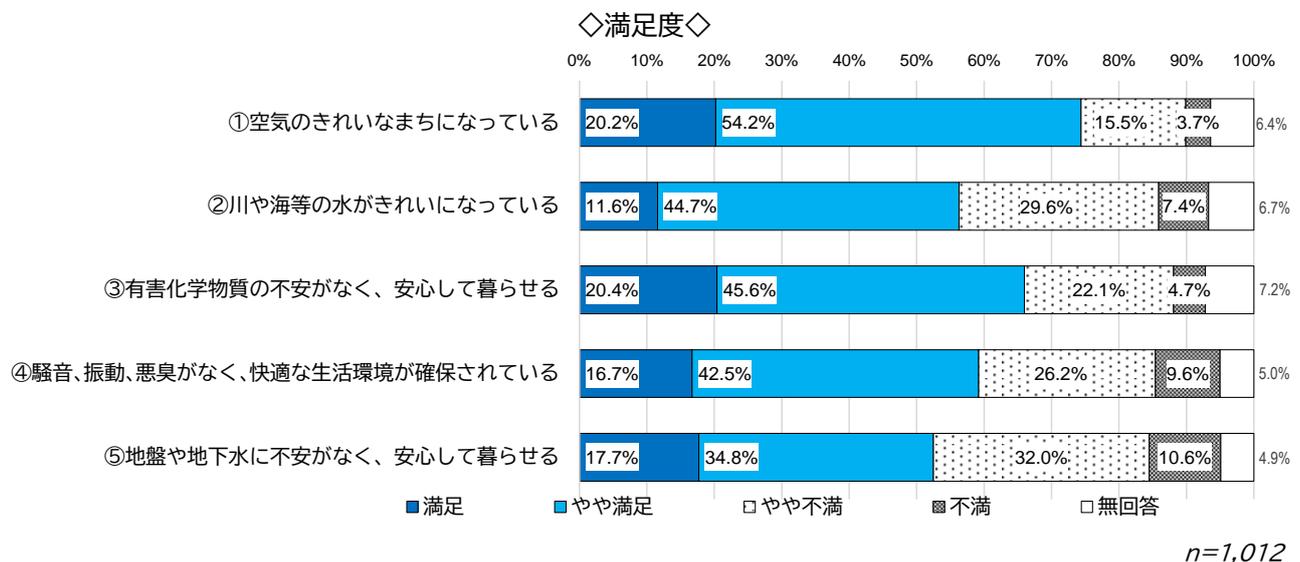
2 住まい近くの環境に対する評価（満足度、過去 10 年の変化）

回答者の住まい近くの環境に対する評価を、満足度と、過去 10 年間の変化について、それぞれ 4 段階で回答を求めた。

なお、過去 10 年間の変化については、居住年数が 10 年に満たない場合は無回答でよいとした。

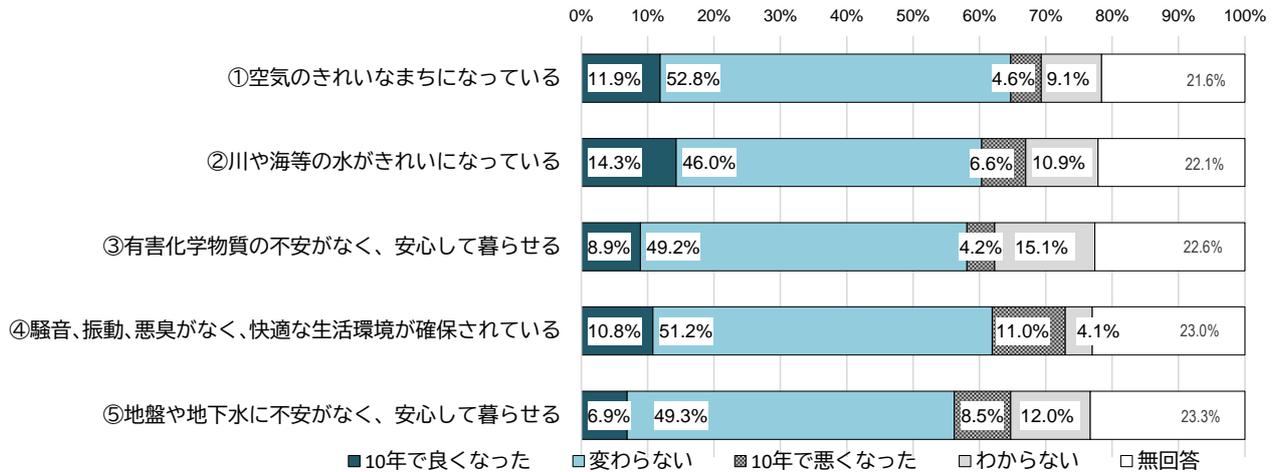
(1) 生活環境について

- 生活環境に関する各項目について、「満足」「やや満足」を合わせた満足度を見ると、「①空気のきれいなまちになっている」が最も高く 7 割台半ばとなっている。
- また、全項目の「満足」「やや満足」を合わせた満足度が 5 割を超えている。
- その一方で、「やや不満」「不満」を合わせた不満足度を見ると、「⑤地盤や地下水に不安がなく、安心して暮らせる」が最も高く 4 割を超え、次いで「②川や海等の水がきれいになっている」が 4 割近く、「④騒音、振動、悪臭がなく、快適な生活環境が確保されている」が 3 割台半ばとなっている。



- 過去 10 年間の変化については、全項目で「変わらない」が最も高く 5 割程度となっている。
- 「10 年で良くなった」を見ると、「②川や海等の水がきれいになっている」が最も高く、次いで「①空気のきれいなまちになっている」「④騒音、振動、悪臭がなく、快適な生活環境が確保されている」が、それぞれ 1 割を超えている。
- その一方で、「10 年で悪くなった」を見ると、「④騒音、振動、悪臭がなく、快適な生活環境が確保されている」が最も高く 1 割を超えている。

◇過去 10 年間の変化◇



n=1,012

- 年代別に比べると、全体的に、70歳以上で「満足」「やや満足」を合わせた満足度が高い傾向にある。
- 過去10年間の変化については、全体的に、どの年代でも「10年で良くなった」よりも「変わらない」が高くなっている。
- 16～39 歳には居住年数の短い回答者が多いため、過去10年間の変化について率が低くなっている。

◇年代別比較◇

①空気のきれいなまちになっている	n	満足	やや満足	10年で良くなった	変わらない
16～39 歳	168	16%	58%	6%	39%
40～69 歳	482	18%	54%	12%	57%
70 歳以上	352	25%	53%	15%	54%

②川や海等の水がきれいになっている	n	満足	やや満足	10年で良くなった	変わらない
16～39 歳	168	5%	38%	2%	18%
40～69 歳	482	11%	45%	10%	37%
70 歳以上	352	15%	48%	20%	43%

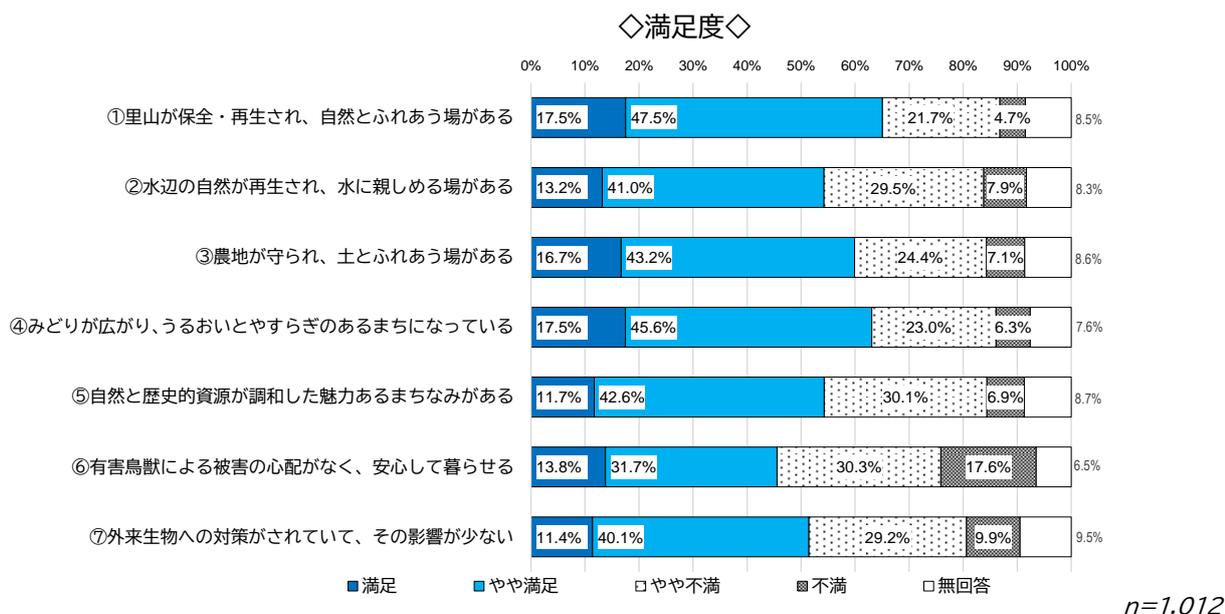
③有害化学物質の不安がなく、安心して暮らせる	n	満足	やや満足	10年で良くなった	変わらない
16～39 歳	168	20%	48%	2%	15%
40～69 歳	482	19%	46%	7%	40%
70 歳以上	352	23%	45%	10%	49%

④騒音、振動、悪臭がなく、快適な生活環境が確保されている	n	満足	やや満足	10年で良くなった	変わらない
16～39 歳	168	16%	38%	9%	34%
40～69 歳	482	14%	43%	9%	53%
70 歳以上	352	21%	44%	13%	54%

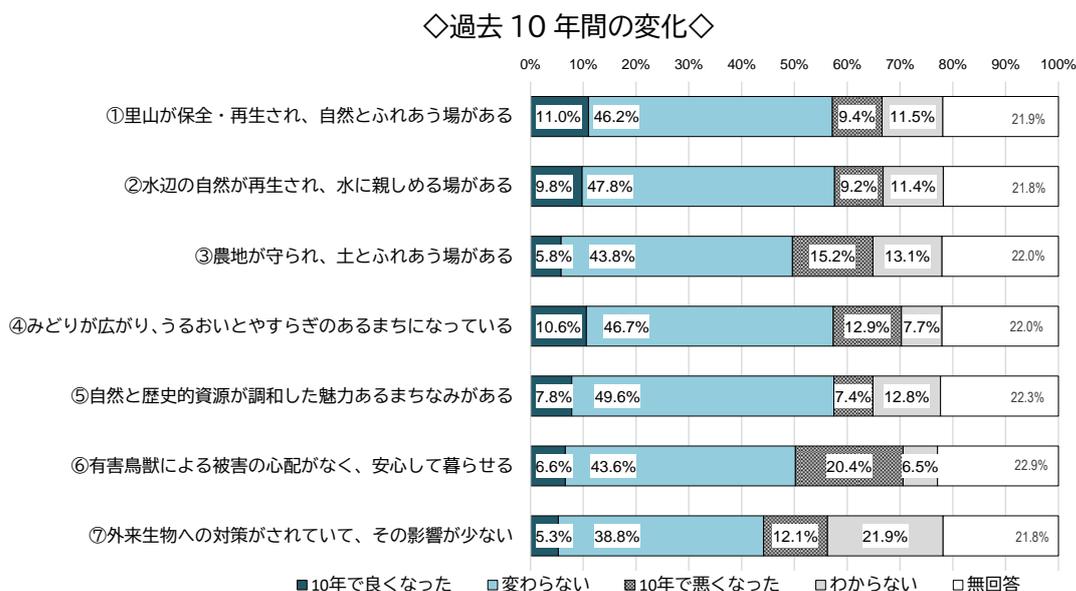
⑤地盤や地下水に不安がなく、安心して暮らせる	n	満足	やや満足	10年で良くなった	変わらない
16～39 歳	168	18%	38%	6%	38%
40～69 歳	482	16%	34%	6%	52%
70 歳以上	352	20%	35%	9%	53%

(2) 自然共生・生物多様性について

- 自然共生・生物多様性に関する各項目について、「満足」「やや満足」を合わせた満足度を見ると、「①里山が保全・再生され、自然とふれあう場がある」が最も高く 6 割台半ばとなっているほか、「⑥有害鳥獣による被害の心配がなく、安心して暮らせる」を除き 5 割を超えている。
- その一方で、「やや不満」「不満」を合わせた不満度を見ると、「⑥有害鳥獣による被害の心配がなく、安心して暮らせる」が最も高く 5 割近くで、次いで「⑦外来生物への対策がされていて、その影響が少ない」「⑤自然と歴史的資源が調和した魅力あるまちなみがある」「②水辺の自然が再生され、水に親しめる場がある」が 4 割近くとなっている。



- 過去 10 年間の変化については、全項目で「変わらない」が最も高いが、5 割未満である。
- 「10 年で良くなった」を見ると、「①里山が保全・再生され、自然とふれあう場がある」「④みどりが広がり、うるおいとやすらぎのあるまちになっている」が 1 割を超えている。
- その一方で、「10 年で悪くなった」を見ると、「⑥有害鳥獣による被害の心配がなく、安心して暮らせる」が 2 割を超え、「③農地が守られ、土とふれあう場がある」が 1 割台半ばとなっている。



- 年代別に比べると、全体的に、16～39歳で「満足」「やや満足」を合わせた満足度が高い傾向にある。
- 過去10年間の変化については、全体的に、どの年代でも「10年で良くなった」よりも「変わらない」が高くなっている。
- 16～39歳には居住年数の短い回答者が多いため、過去10年間の変化について率が低くなっている。

◇年代別比較◇

①里山が保全・再生され、自然とふれあう場がある	n	満足	やや満足	10年で良くなった	変わらない
16～39歳	168	26%	49%	7%	37%
40～69歳	482	18%	48%	10%	51%
70歳以上	352	14%	47%	13%	46%

②水辺の自然が再生され、水に親しめる場がある	n	満足	やや満足	10年で良くなった	変わらない
16～39歳	168	19%	37%	6%	37%
40～69歳	482	13%	44%	10%	52%
70歳以上	352	11%	39%	12%	47%

③農地が守られ、土とふれあう場がある	n	満足	やや満足	10年で良くなった	変わらない
16～39歳	168	29%	43%	3%	36%
40～69歳	482	16%	45%	6%	46%
70歳以上	352	12%	41%	7%	44%

④みどりが広がり、うるおいとやすらぎのあるまちになっている	n	満足	やや満足	10年で良くなった	変わらない
16～39歳	168	24%	48%	11%	33%
40～69歳	482	18%	45%	9%	52%
70歳以上	352	15%	46%	14%	46%

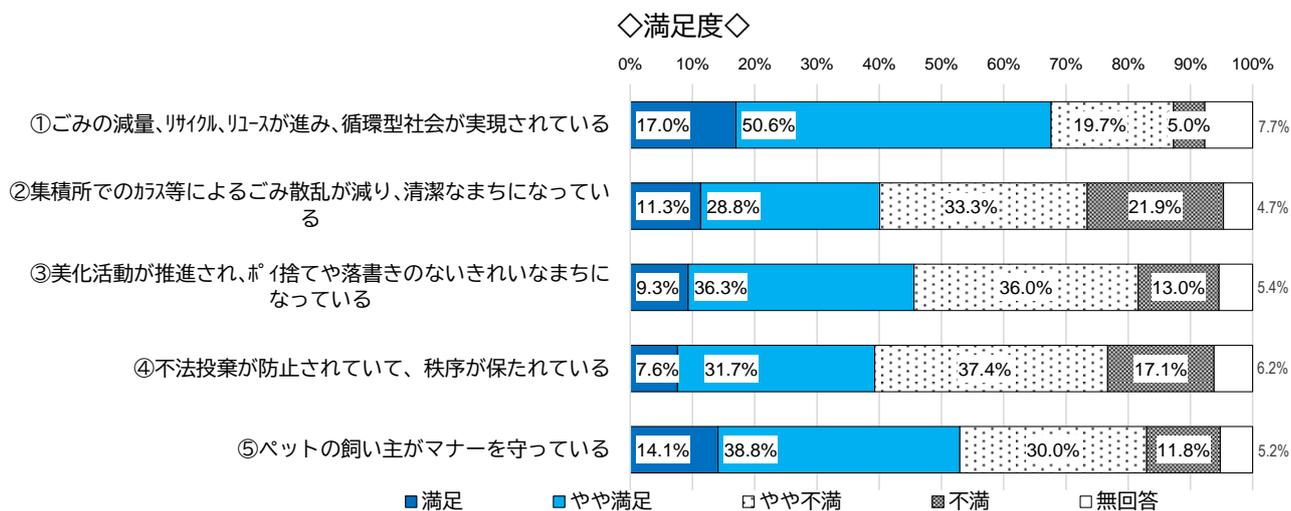
⑤自然と歴史的資源が調和した魅力あるまちなみがある	n	満足	やや満足	10年で良くなった	変わらない
16～39歳	168	17%	47%	7%	36%
40～69歳	482	11%	43%	7%	55%
70歳以上	352	10%	39%	9%	49%

⑥有害鳥獣による被害の心配がなく、安心して暮らせる	n	満足	やや満足	10年で良くなった	変わらない
16～39歳	168	15%	35%	4%	33%
40～69歳	482	12%	31%	6%	47%
70歳以上	352	16%	31%	8%	43%

⑦外来生物への対策がされていて、その影響が少ない	n	満足	やや満足	10年で良くなった	変わらない
16～39歳	168	16%	49%	4%	29%
40～69歳	482	10%	40%	5%	42%
70歳以上	352	12%	36%	7%	40%

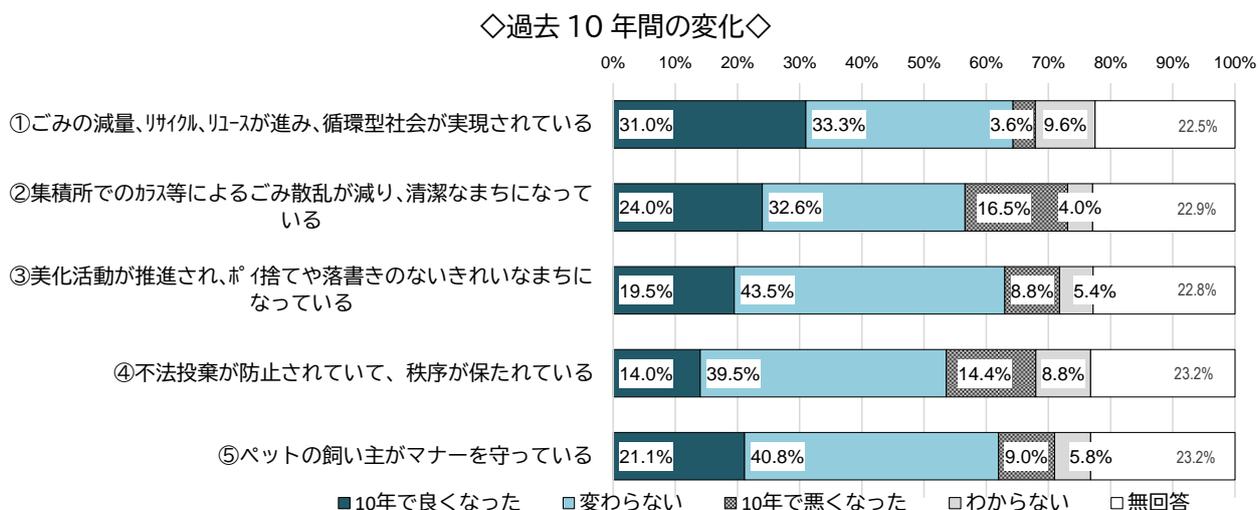
(3) 循環型社会、ごみ、環境美化について

- 循環型社会、ごみ、環境美化に関する各項目について、「満足」「やや満足」を合わせた満足度を見ると、「①ごみの減量、リサイクル、リユースが進み、循環型社会が実現されている」が最も高く 7 割近くで、次いで「⑤ペットの飼い主がマナーを守っている」が 5 割を超えている。
- その一方で、「やや不満」「不満」を合わせた不満度を見ると、「②集積所でのカラス等によるごみ散乱が減り、清潔なまちになっている」が最も高く、次いで「④不法投棄が防止されていて、秩序が保たれている」で、いずれも 5 割台半ばとなっている。



n=1,012

- 過去 10 年間の変化については、全項目で「変わらない」が最も高いが、5 割未満である。
- 「10 年で良くなった」を見ると、「①ごみの減量、リサイクル、リユースが進み、循環型社会が実現されている」が最も高く 3 割を超え、次いで「②集積所でのカラス等によるごみ散乱が減り、清潔なまちになっている」が 2 割台半ばとなっている。
- その一方で、「10 年で悪くなった」を見ると、「②集積所でのカラス等によるごみ散乱が減り、清潔なまちになっている」が最も高く、次いで「④不法投棄が防止されていて、秩序が保たれている」で、いずれも 1 割台半ばとなっている。



n=1,012

- 年代別に比べると、設問により傾向の違いがある。
- 「②集積所でのカラス等によるごみ散乱が減り、清潔なまちになっている」「③美化活動が推進され、ポイ捨てや落書きのないきれいなまちになっている」について、「満足」「やや満足」を合わせて見ると、70歳以上が高い傾向にある。
- 「⑤ペットの飼い主がマナーを守っている」について、「満足」「やや満足」を合わせて見ると、16～39歳が高い傾向にある。
- 過去10年間の変化については、「①ごみの減量、リサイクル、リユースが進み、循環型社会が実現されている」の70歳以上と「②集積所でのカラス等によるごみ散乱が減り、清潔なまちになっている」の全年代で、「10年で良くなった」が「変わらない」を上回っている。
- それらを除き、どの年代でも「変わらない」が「10年で良くなった」を上回っているが、「①ごみの減量、リサイクル、リユースが進み、循環型社会が実現されている」では差が小さい。
- 16～39歳には居住年数の短い回答者が多いため、過去10年間の変化について率が低くなっている。

◇年代別比較◇

①ごみの減量、リサイクル、リユースが進み、循環型社会が実現されている	n	満足	やや満足	10年で良くなった	変わらない
16～39歳	168	15%	55%	15%	24%
40～69歳	482	15%	50%	34%	37%
70歳以上	352	22%	50%	35%	34%

②集積所でのカラス等によるごみ散乱が減り、清潔なまちになっている	n	満足	やや満足	10年で良くなった	変わらない
16～39歳	168	15%	20%	15%	13%
40～69歳	482	7%	27%	23%	19%
70歳以上	352	15%	36%	29%	14%

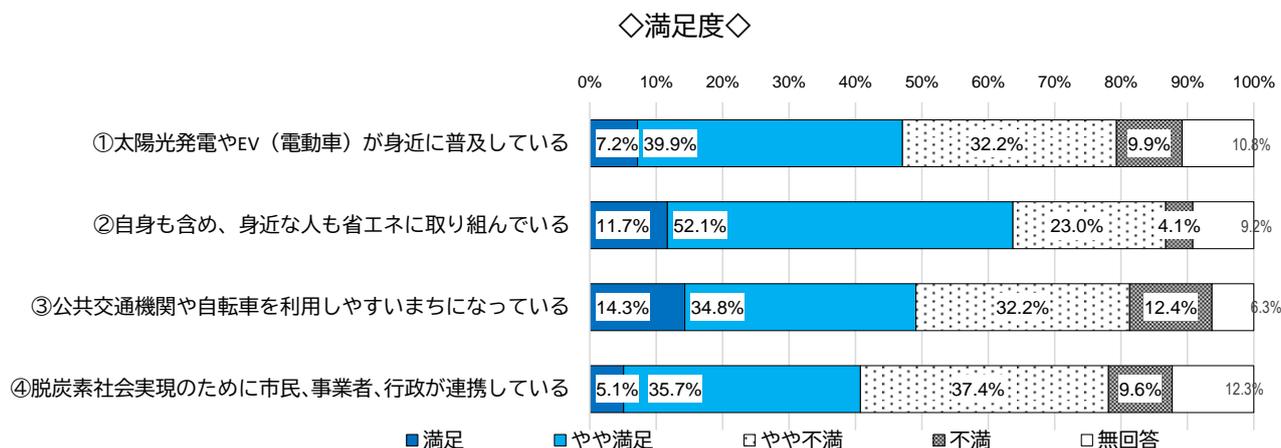
③美化活動が推進され、ポイ捨てや落書きのないきれいなまちになっている	n	満足	やや満足	10年で良くなった	変わらない
16～39歳	168	11%	29%	14%	30%
40～69歳	482	6%	38%	20%	47%
70歳以上	352	13%	38%	22%	45%

④不法投棄が防止されていて、秩序が保たれている	n	満足	やや満足	10年で良くなった	変わらない
16～39歳	168	11%	30%	13%	24%
40～69歳	482	6%	32%	15%	42%
70歳以上	352	8%	32%	14%	43%

⑤ペットの飼い主がマナーを守っている	n	満足	やや満足	10年で良くなった	変わらない
16～39歳	168	29%	35%	14%	32%
40～69歳	482	12%	42%	22%	42%
70歳以上	352	11%	37%	24%	43%

(4) 脱炭素(カーボンニュートラル)について

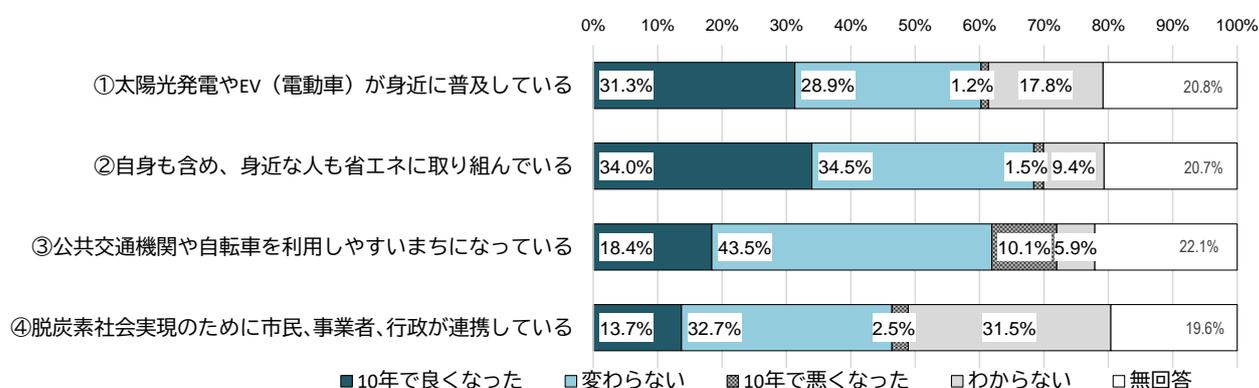
- 脱炭素(カーボンニュートラル)に関する各項目について、「満足」「やや満足」を合わせた満足度を見ると、「②自身も含め、身近な人も省エネに取り組んでいる」が最も高く6割を超えている。
- その一方で、「やや不満」「不満」を合わせた不満足度を見ると、「④脱炭素社会実現のために市民、事業者、行政が連携している」が最も高く5割近くで、次いで「③公共交通機関や自転車を利用しやすいまちになっている」「①太陽光発電やEV(電動車)が身近に普及している」が4割台となっている。



n=1,012

- 過去10年間の変化については、「③公共交通機関や自転車を利用しやすいまちになっている」「④脱炭素社会実現のために市民、事業者、行政が連携している」では「変わらない」が最も高いが、5割未満である。
- 「10年で良くなった」を見ると、「②自身も含め、身近な人も省エネに取り組んでいる」が最も高く3割台半ばで、次いで「①太陽光発電やEV(電動車)が身近に普及している」が3割を超えている。
- その一方で、「10年で悪くなった」を見ると、「③公共交通機関や自転車を利用しやすいまちになっている」が最も高く1割を超えている。
- 「わからない」を見ると、「④脱炭素社会実現のために市民、事業者、行政が連携している」が特に高く3割を超えている。

◇過去10年間の変化◇



n=1,012

- 年代別に比べると、全体的に、16～39歳で「満足」が高い傾向にある。
- 過去10年間の変化については、「①太陽光発電やEV(電動車)が身近に普及している」の16～39歳と40～69歳、「②自身も含め、身近な人も省エネに取り組んでいる」の40～69歳と70歳以上で、「10年で良くなった」が「変わらない」を上回っている。
- 16～39歳には居住年数の短い回答者が多いため、過去10年間の変化について率が低くなっている。

◇年代別比較◇

①太陽光発電やEV(電動車)が身近に普及している	n	満足	やや満足	10年で良くなった	変わらない
16～39歳	168	11%	36%	23%	20%
40～69歳	482	7%	43%	38%	29%
70歳以上	352	5%	38%	27%	32%

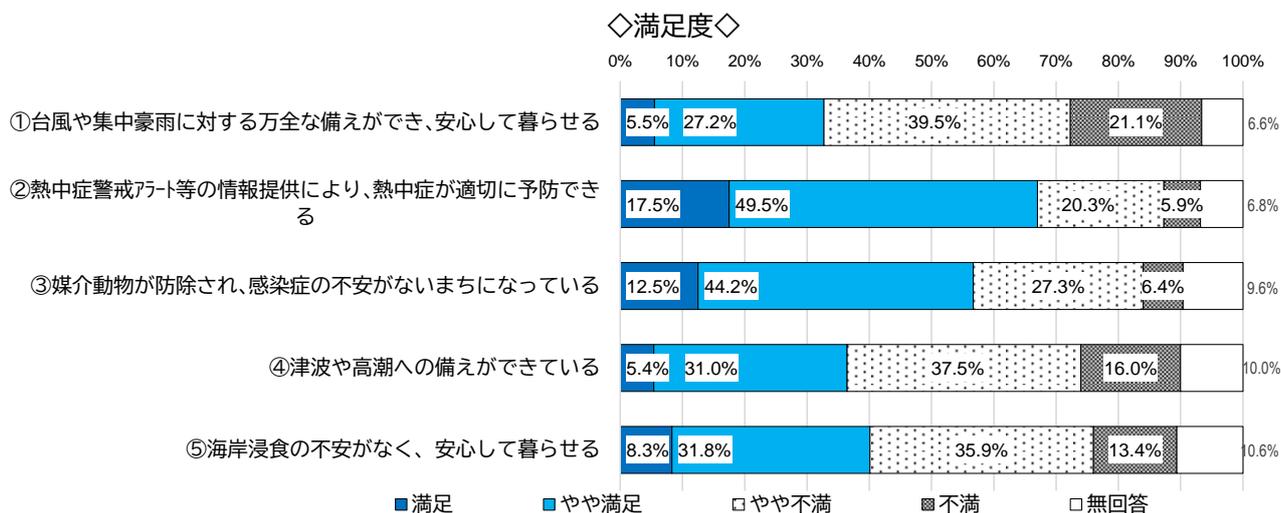
②自身も含め、身近な人も省エネに取り組んでいる	n	満足	やや満足	10年で良くなった	変わらない
16～39歳	168	18%	39%	20%	29%
40～69歳	482	10%	56%	38%	37%
70歳以上	352	11%	54%	35%	34%

③公共交通機関や自転車を利用しやすいまちになっている	n	満足	やや満足	10年で良くなった	変わらない
16～39歳	168	27%	36%	15%	32%
40～69歳	482	11%	34%	19%	45%
70歳以上	352	13%	36%	19%	46%

④脱炭素社会実現のために市民、事業者、行政が連携している	n	満足	やや満足	10年で良くなった	変わらない
16～39歳	168	10%	44%	10%	22%
40～69歳	482	4%	35%	16%	35%
70歳以上	352	5%	33%	13%	35%

(5) 気候変動の影響について

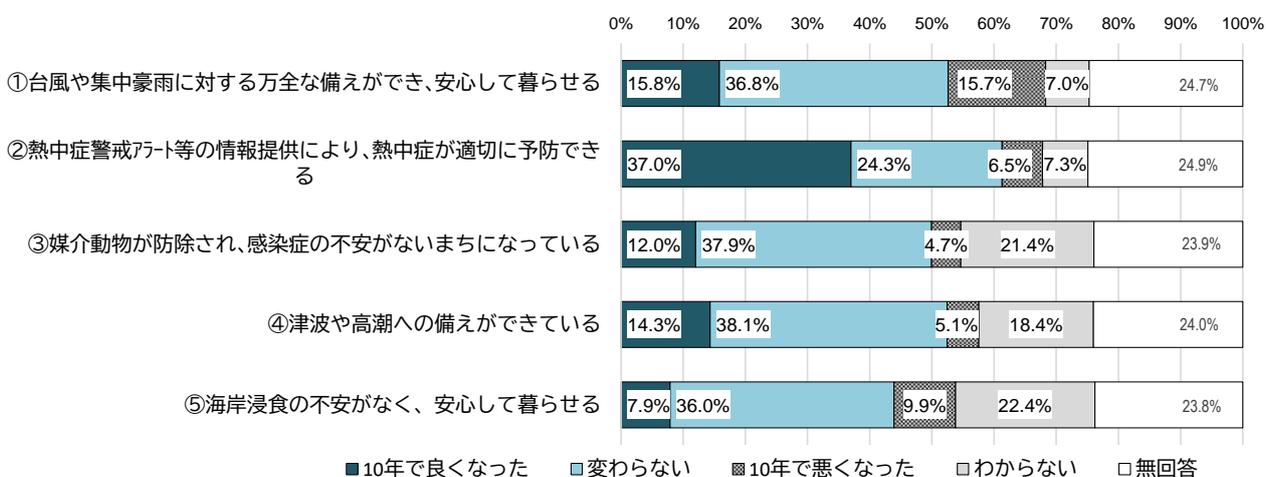
- 気候変動の影響に関する各項目について、「満足」「やや満足」を合わせた満足度を見ると、「②熱中症警戒アラート等の情報提供により、熱中症が適切に予防できる」が最も高く 7 割近くで、次いで「③媒介動物が防除され、感染症の不安がないまちになっている」が 5 割台半ばとなっている。
- その一方で、「やや不満」「不満」を合わせた不満度を見ると、「①台風や集中豪雨に対する万全な備えができ、安心して暮らせる」が最も高く 6 割で、次いで「④津波や高潮への備えができていいる」が 5 割台半ば、「⑤海岸浸食の不安がなく、安心して暮らせる」が 5 割近くとなっている。



n=1,012

- 過去 10 年間の変化については、「②熱中症警戒アラート等の情報提供により、熱中症が適切に予防できる」を除く全項目で「変わらない」が最も高いが、5 割未満である。
- 「10 年で良くなった」を見ると、「②熱中症警戒アラート等の情報提供により、熱中症が適切に予防できる」が最も高く 4 割近くとなっている。
- その一方で、「10 年で悪くなった」を見ると、「⑤海岸浸食の不安がなく、安心して暮らせる」「③媒介動物が防除され、感染症の不安がないまちになっている」が最も高く 2 割を超え、次いで「④津波や高潮への備えができていいる」が 1 割台半ばとなっている。

◇過去 10 年間の変化◇



n=1,012

- 年代別に比べると、全体的に、16～39歳で「満足」「やや満足」ともやや高い傾向にある。
- 過去10年間の変化については、「②熱中症警戒アラート等の情報提供により、熱中症が適切に予防できる」の全年代で、「10年で良くなった」が「変わらない」を上回っている。
- 16～39歳には居住年数の短い回答者が多いため、過去10年間の変化について率が低くなっている。

◇年代別比較◇

①台風や集中豪雨に対する万全な備えができ、安心して暮らせる	n	満足	やや満足	10年で良くなった	変わらない
16～39歳	168	8%	30%	11%	30%
40～69歳	482	4%	25%	15%	39%
70歳以上	352	7%	29%	19%	36%

②熱中症警戒アラート等の情報提供により、熱中症が適切に予防できる	n	満足	やや満足	10年で良くなった	変わらない
16～39歳	168	24%	50%	29%	18%
40～69歳	482	16%	50%	39%	26%
70歳以上	352	17%	49%	38%	25%

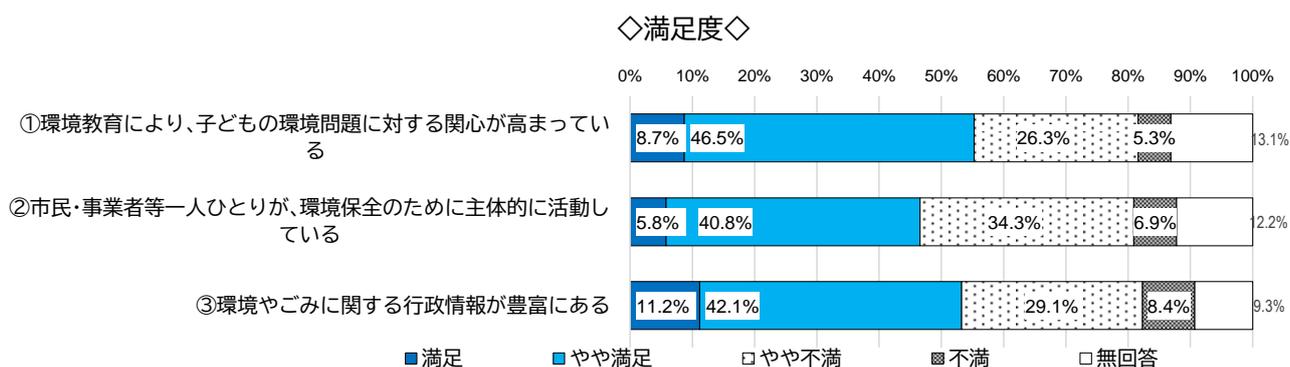
③媒介動物が防除され、感染症の不安がないまちになっている	n	満足	やや満足	10年で良くなった	変わらない
16～39歳	168	15%	51%	6%	28%
40～69歳	482	13%	44%	13%	42%
70歳以上	352	11%	42%	14%	37%

④津波や高潮への備えができています	n	満足	やや満足	10年で良くなった	変わらない
16～39歳	168	8%	33%	13%	27%
40～69歳	482	4%	30%	16%	43%
70歳以上	352	6%	31%	13%	37%

⑤海岸浸食の不安がなく、安心して暮らせる	n	満足	やや満足	10年で良くなった	変わらない
16～39歳	168	12%	40%	5%	30%
40～69歳	482	7%	29%	9%	39%
70歳以上	352	8%	32%	8%	35%

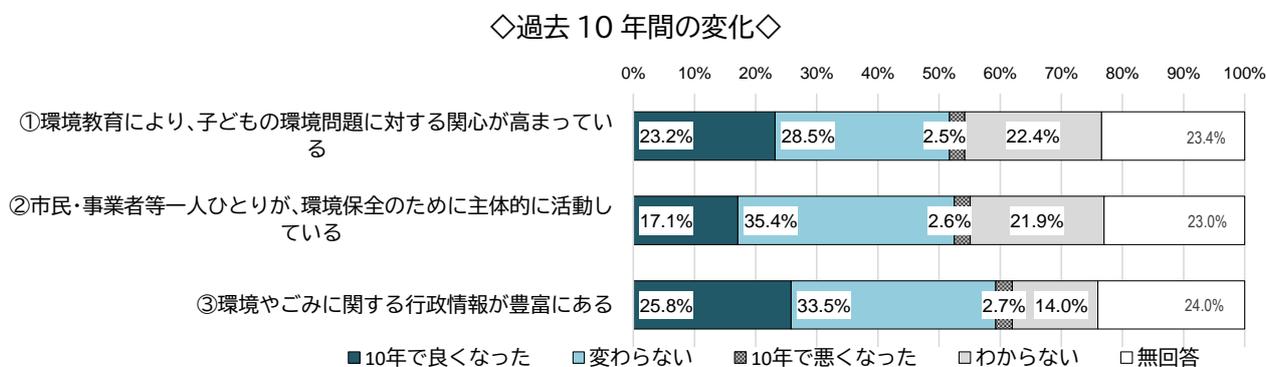
(6) 環境学習・協働について

- 環境学習・協働に関する各項目について、「満足」「やや満足」を合わせた満足度を見ると、「①環境教育により、子どもの環境問題に対する関心が高まっている」「③環境やごみに関する行政情報が豊富にある」がいずれも 5 割台半ばであるほか、「②市民・事業者等一人ひとりが、環境保全のために主体的に活動している」も 4 割台半ばとなっている。
- その一方で、「やや不満」「不満」を合わせた不満足度を見ると、「②市民・事業者等一人ひとりが、環境保全のために主体的に活動している」が最も高く 4 割を超え、次いで「③環境やごみに関する行政情報が豊富にある」が 4 割近くとなっている。



n=1,012

- 過去 10 年間の変化については、全項目で「変わらない」が最も高いが、5 割未満である。
- 「10 年で良くなった」を見ると、「③環境やごみに関する行政情報が豊富にある」「①環境教育により、子どもの環境問題に対する関心が高まっている」が 2 割台半ばとなっている。
- その一方で、「10 年で悪くなった」を見ると、全項目が 3%未満である。



n=1,012

- 年代別に比べると、「満足」「やや満足」を合わせて見て、全体的に、16～39歳が高い傾向にある。
- 過去10年間の変化については、全体的に、どの年代でも「10年で良くなった」よりも「変わらない」が高いが、差が比較的小さい。
- 16～39歳には居住年数の短い回答者が多いため、過去10年間の変化について率が低くなっている。

◇年代別比較◇

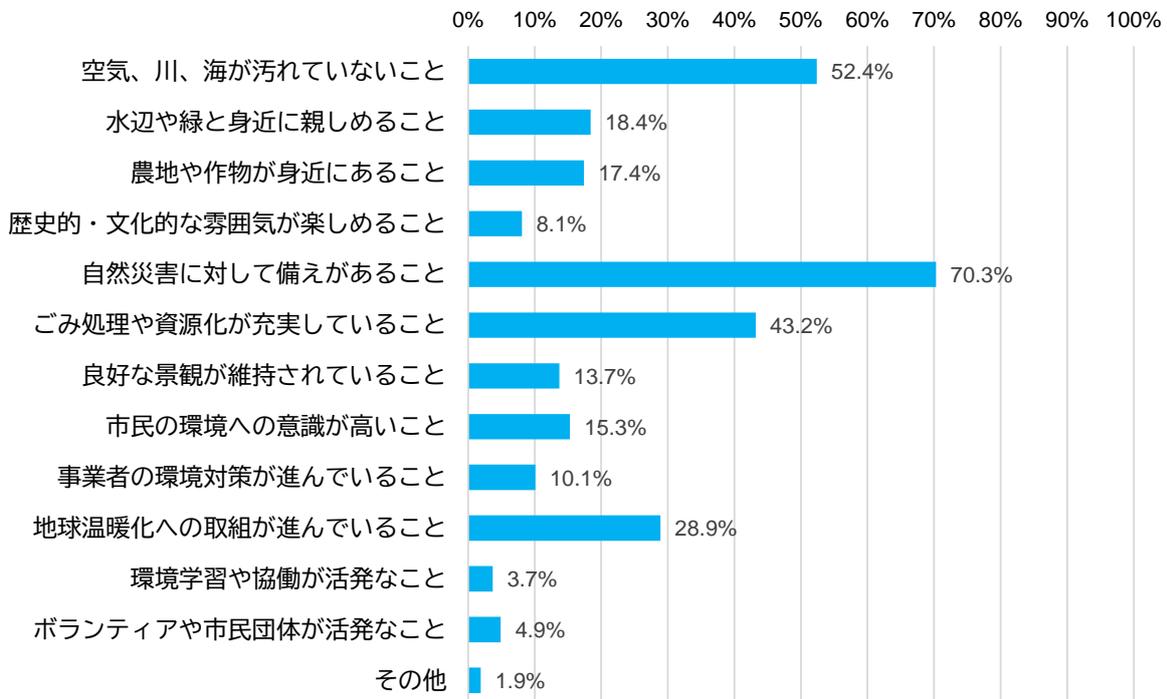
①環境教育により、子どもの環境問題に対する関心が高まっている	n	満足	やや満足	10年で良くなった	変わらない
16～39歳	168	12%	50%	20%	22%
40～69歳	482	8%	48%	24%	32%
70歳以上	352	8%	43%	24%	28%

②市民・事業者等一人ひとりが、環境保全のために主体的に活動している	n	満足	やや満足	10年で良くなった	変わらない
16～39歳	168	11%	42%	13%	30%
40～69歳	482	4%	43%	18%	39%
70歳以上	352	7%	38%	19%	34%

③環境やごみに関する行政情報が豊富にある	n	満足	やや満足	10年で良くなった	変わらない
16～39歳	168	17%	46%	17%	26%
40～69歳	482	8%	41%	27%	37%
70歳以上	352	13%	42%	29%	32%

3 平塚市が環境に取り組む中で、特に将来に向けて大事だと思うもの（3つまで）

- 将来に向けて重要なこととして、「自然災害に対して備えがあること」が最も高く7割で、次いで「空気、川、海が汚れていないこと」が5割を超え、「ごみ処理や資源化が充実していること」が4割台半ばとなっている。



n=1,012

その他(自由記載欄)

- ・ 海・川が近く高台も避難ビルも少ないので、津波対策と避難訓練。
- ・ 川の洪水対策に関しては緊急性が必要です。
- ・ 地震対策。
- ・ 災害に対して河川整備等に力を入れて欲しい。
- ・ 住民の命と暮らしを守る環境整備をすること。
- ・ 海岸樹林帯を維持し、植林を行うこと。そのため行政は開発を控えること。
- ・ ウミガメが毎年来れる海岸を守り続けてほしい。
- ・ 鳥のフン害。
- ・ ハクビシンなどによる被害がないこと。
- ・ 岡崎小学校のイチヨウの落ち葉に悩まされている。
- ・ 野焼きを止めさせる。
- ・ 歩きタバコや子供が多い地域での喫煙を控えるように働きかけてほしい。
- ・ タバコのポイ捨て路上喫煙が悪くなってきている。
- ・ カラス対策でゴミ収集を夜間に行う。
- ・ 自然環境をよくするボランティア活動。
- ・ 将来を担う世代(子どもや学生)が地域での楽しみを見つけ親しむ中で、将来に向けて考えること、そのきっかけ。

- ・ これらの選択肢はどれもつながっていますが、将来に向けてやるなら子どもの教育が近道と思います。
 - ・ 幼稚園から小中学校へつないでいく教育の充実。
 - ・ 川崎市のジモティ関連の事業は有益だと思う。
 - ・ 地産地消、特に海産物。
 - ・ 無駄な環境対策をしない事(EV 化や脱炭素、SDGs、地球温暖化対策など)。
 - ・ 猛暑による外出自粛で成り立たなくなる事業者に寄り添うこと。
 - ・ 市のホームページのごみの分別のリストが古い。以前はなかった新しいものがリストに載っていないことがある。
 - ・ 上記はすべて将来に向けて重要なことなので 3 つだけ選ぶのは難しい。
- 年代別に比べると、項目によって傾向に違いが見られる。
 - 「空気、川、海が汚れていないこと」「水辺や緑と身近に親しめること」「良好な景観が維持されていること」では、16～39 歳が高くなっている。
 - 「地球温暖化への取組が進んでいること」では、70歳以上が高くなっている。
 - 「自然災害に対して備えがあること」では、16～39 歳と 40～69 歳が高くなっている。
 - 「市民の環境への意識が高いこと」「ごみ処理や資源化が充実していること」では、40～69 歳と70歳以上が高くなっている。

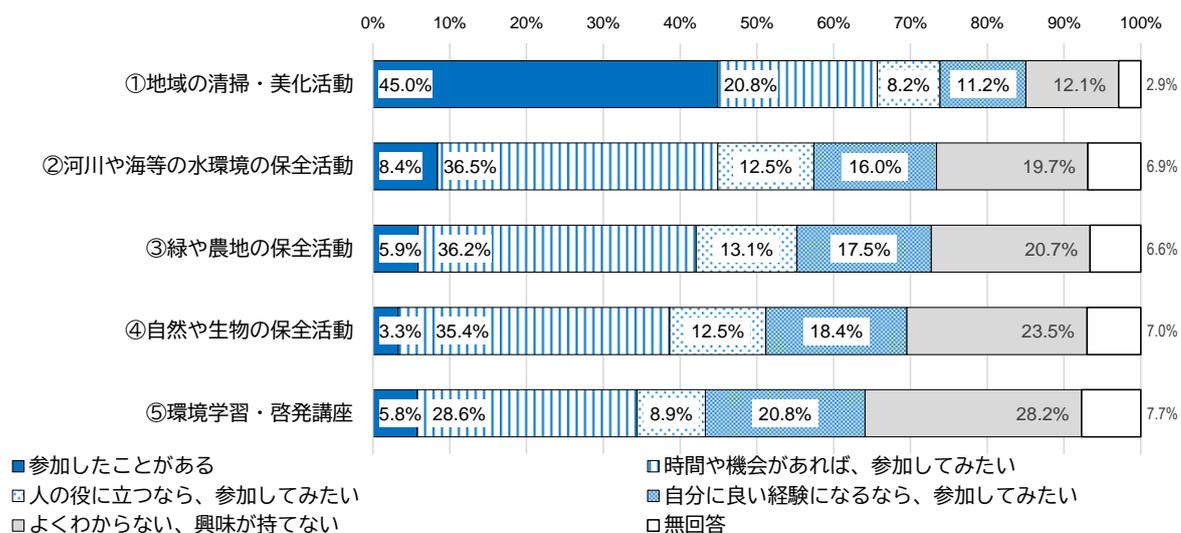
◇年代別比較◇

	n	空気、川、海が汚れていないこと	水辺や緑と身近に親しめること	農地や作物が身近にあること	歴史的・文化的な雰囲気を楽しめること	自然災害に対して備えがあること	ごみ処理や資源化が充実していること	良好な景観が維持されていること	市民の環境への意識が高いこと	事業者の環境対策が進んでいること	地球温暖化への取組が進んでいること	環境学習や協働が活発なこと	ボランティアや市民団体が活発なこと
16～39 歳	168	67%	27%	15%	5%	72%	36%	23%	8%	8%	19%	7%	5%
40～69 歳	482	53%	18%	17%	9%	74%	43%	12%	17%	11%	26%	3%	4%
70 歳以上	352	45%	16%	18%	9%	64%	48%	12%	16%	10%	37%	3%	7%

4 自身の行動や、環境保全活動への参加について

(1) 環境保全活動への参加について

- 環境保全活動に関する各項目について、「参加したことがある」を見ると、「①地域の清掃・美化活動」が最も高く4割台半ばとなっている。
- 他の項目は「参加したことがある」は1割未満であるが、「時間や機会があれば、参加してみたい」は3割近くから3割台半ばとなっている。
- その一方で、「よくわからない、興味が持てない」を見ると、「①地域の清掃・美化活動」を除いて2割から3割近くとなっている。



n=1,012

- 年代別に比べると、設問により傾向の違いがある。
- 「①地域の清掃・美化活動」の「参加したことがある」では、70歳以上が5割を超え、次いで40～69歳が4割台半ばとなっている。
- 「②河川や海等の水環境の保全活動」「③緑や農地の保全活動」「④自然や生物の保全活動」「⑤環境学習・啓発講座」の「時間や機会があれば、参加してみたい」では、40～69歳が特に高くなっている。

◇年代別比較◇

①地域の清掃・美化活動	n	参加したことがある	時間や機会があれば、参加してみたい	人の役に立つなら、参加してみたい	自分に良い経験になるなら、参加してみたい
16～39歳	168	29%	24%	14%	16%
40～69歳	482	44%	24%	6%	11%
70歳以上	352	54%	15%	9%	10%

②河川や海等の水環境の保全活動	n	参加したことがある	時間や機会があれば、参加してみたい	人の役に立つなら、参加してみたい	自分に良い経験になるなら、参加してみたい
16～39歳	168	10%	34%	18%	17%
40～69歳	482	9%	42%	10%	17%
70歳以上	352	7%	30%	14%	14%

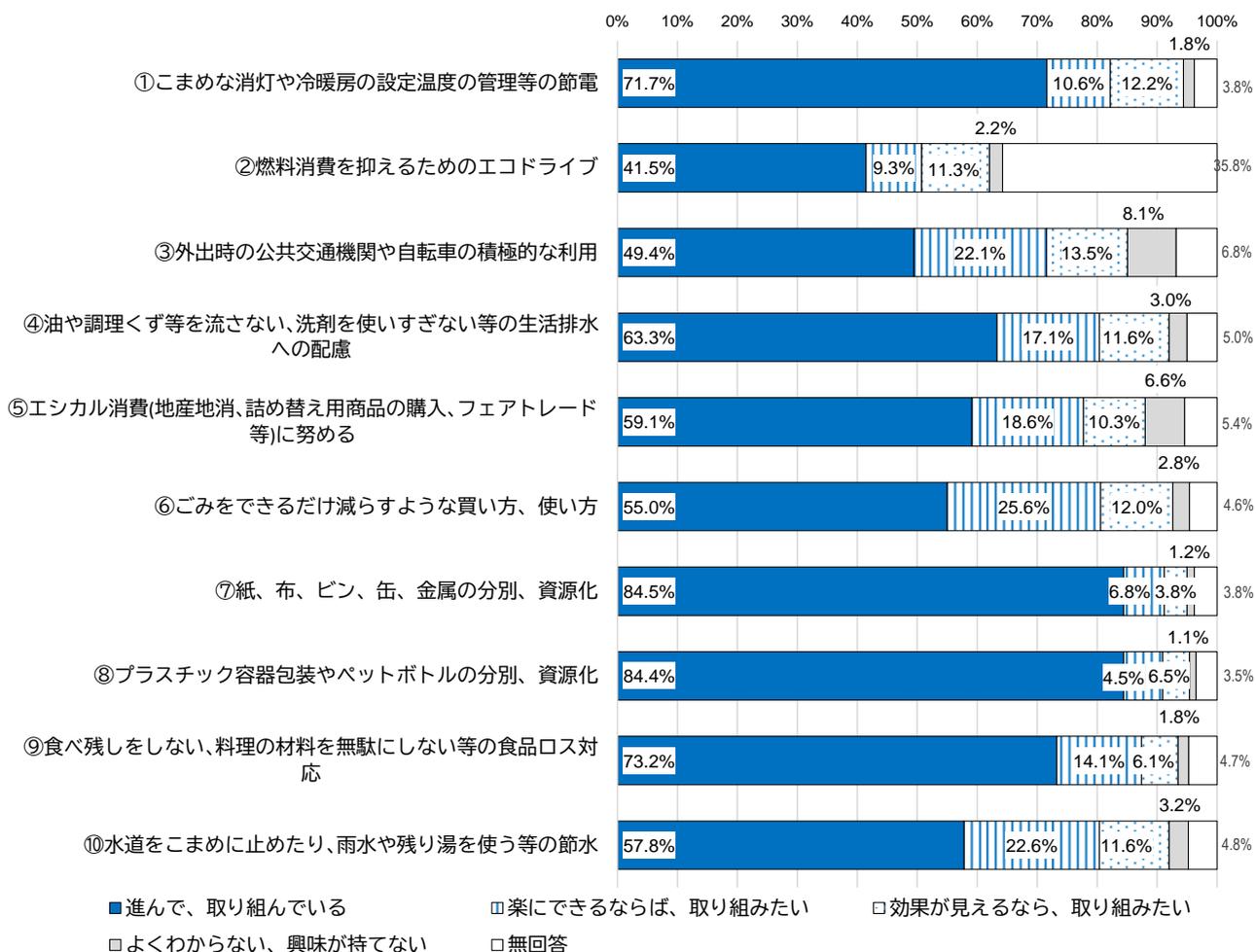
③緑や農地の保全活動	n	参加したことがある	時間や機会があれば、参加してみたい	人の役に立つなら、参加してみたい	自分に良い経験になるなら、参加してみたい
16～39歳	168	6%	34%	18%	19%
40～69歳	482	5%	42%	12%	18%
70歳以上	352	7%	30%	13%	17%

④自然や生物の保全活動	n	参加したことがある	時間や機会があれば、参加してみたい	人の役に立つなら、参加してみたい	自分に良い経験になるなら、参加してみたい
16～39歳	168	4%	33%	19%	21%
40～69歳	482	3%	40%	12%	20%
70歳以上	352	4%	29%	11%	15%

⑤環境学習・啓発講座	n	参加したことがある	時間や機会があれば、参加してみたい	人の役に立つなら、参加してみたい	自分に良い経験になるなら、参加してみたい
16～39歳	168	10%	24%	13%	21%
40～69歳	482	5%	31%	9%	23%
70歳以上	352	5%	27%	7%	19%

(2) 日常的な行動について

- 日常的な行動に関する各項目について、「進んで、取り組んでいる」を見ると、「⑦紙、布、ビン、缶、金属の分別、資源化」「⑧プラスチック容器包装やペットボトルの分別、資源化」が最も高く 8 割を超えている。次いで「⑨食べ残しをしない、料理の材料を無駄にしない等の食品ロス対応」「①こまめな消灯や冷暖房の設定温度の管理等の節電」が 7 割を超え、他の項目もほぼ 5 割を超えている。なお「②燃料消費を抑えるためのエコドライブ」については、車を運転しない場合があるため無回答が多くなっている。
- 全般に「進んで、取り組んでいる」に次いで「楽にできるならば、取り組みたい」「効果が見えるなら、取り組みたい」が高い傾向にある。



n=1,012

- 年代別に比べると、設問により傾向の違いがある。
- 「①こまめな消灯や冷暖房の設定温度の管理等の節電」「④油や調理くず等を流さない、洗剤を使いすぎない等の生活排水への配慮」「⑥ごみをできるだけ減らすような買い方、使い方」「⑦紙、布、ビン、缶、金属の分別、資源化」「⑧プラスチック容器包装やペットボトルの分別、資源化」「⑩水道をこまめに止めたり、雨水や残り湯を使う等の節水」では、年代が上のほうが「進んで、取り組んでいる」が高くなっている。
- 「⑤エシカル消費(地産地消、詰め替え用商品の購入、フェアトレード等)に努める」「⑥ごみをできるだけ減らすような買い方、使い方」では、16～39歳の「楽にできるならば、取り組みたい」が特に高くなっている。

◇年代別比較◇

①こまめな消灯や冷暖房の設定温度の管理等の節電	n	進んで、取り組んでいる	楽にできるならば、取り組みたい	効果が見えるなら、取り組みたい
16～39歳	168	59%	16%	20%
40～69歳	482	72%	11%	13%
70歳以上	352	77%	8%	8%

②燃料消費を抑えるためのエコドライブ	n	進んで、取り組んでいる	楽にできるならば、取り組みたい	効果が見えるなら、取り組みたい
16～39歳	168	30%	13%	17%
40～69歳	482	49%	10%	15%
70歳以上	352	37%	7%	4%

③外出時の公共交通機関や自転車の積極的な利用	n	進んで、取り組んでいる	楽にできるならば、取り組みたい	効果が見えるなら、取り組みたい
16～39歳	168	53%	22%	13%
40～69歳	482	48%	24%	16%
70歳以上	352	51%	20%	10%

④油や調理くず等を流さない、洗剤を使いすぎない等の生活排水への配慮	n	進んで、取り組んでいる	楽にできるならば、取り組みたい	効果が見えるなら、取り組みたい
16～39歳	168	52%	24%	19%
40～69歳	482	63%	18%	12%
70歳以上	352	70%	12%	8%

⑤エンカド消費(地産地消、詰め替え用商品の購入、フェアトレード等)に努める	n	進んで、取り組んでいる	楽にできるならば、取り組みたい	効果が見えるなら、取り組みたい
16～39歳	168	49%	30%	14%
40～69歳	482	62%	16%	12%
70歳以上	352	60%	17%	6%

⑥ごみをできるだけ減らすような買い方、使い方	n	進んで、取り組んでいる	楽にできるならば、取り組みたい	効果が見えるなら、取り組みたい
16～39歳	168	39%	37%	18%
40～69歳	482	58%	24%	14%
70歳以上	352	60%	23%	7%

⑦紙、布、ビン、缶、金属の分別、資源化	n	進んで、取り組んでいる	楽にできるならば、取り組みたい	効果が見えるなら、取り組みたい
16～39歳	168	74%	14%	10%
40～69歳	482	87%	6%	4%
70歳以上	352	88%	5%	1%

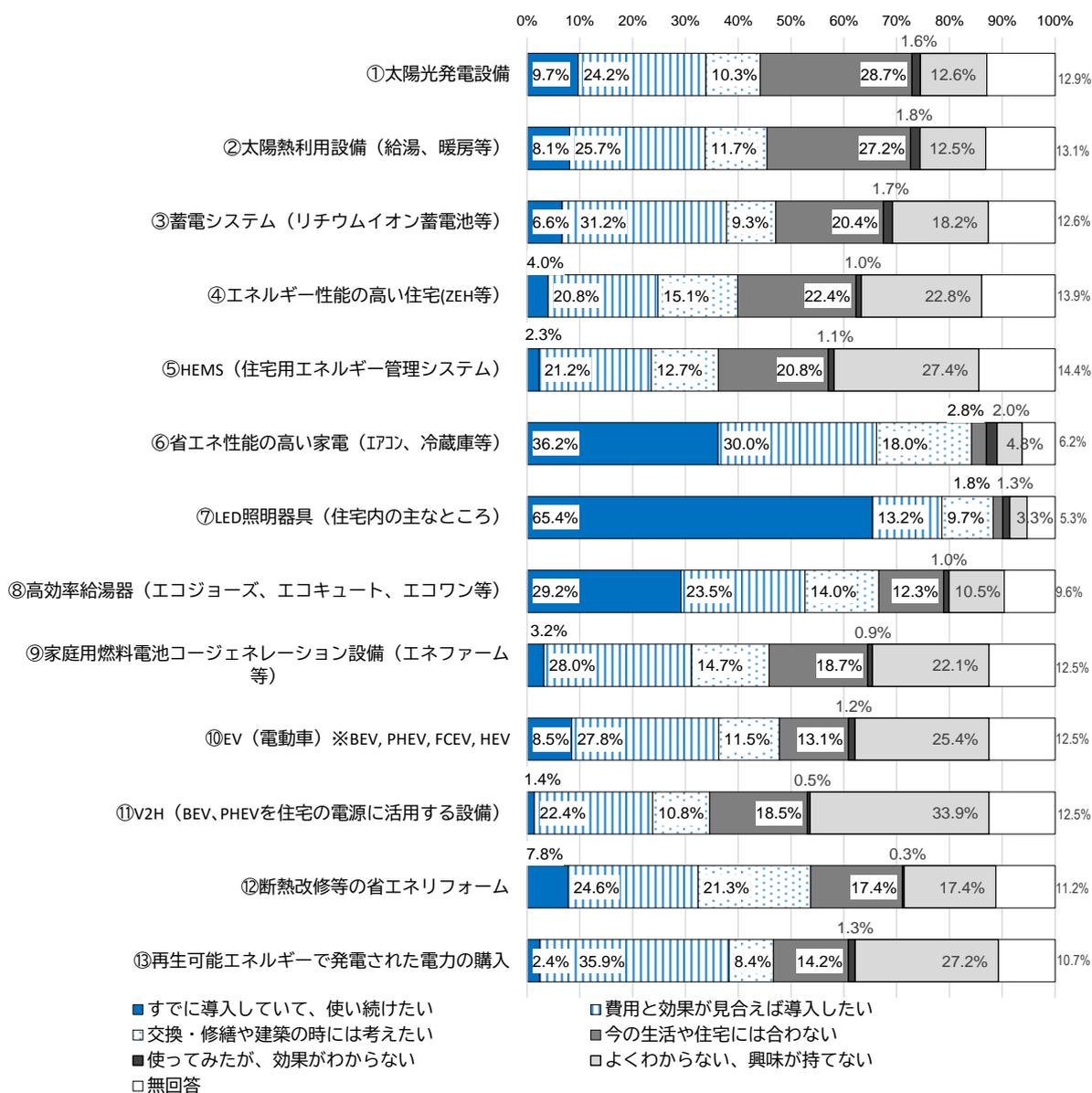
⑧プラスチック容器包装やペットボトルの分別、資源化	n	進んで、取り組んでいる	楽にできるならば、取り組みたい	効果が見えるなら、取り組みたい
16～39歳	168	77%	14%	8%
40～69歳	482	85%	6%	5%
70歳以上	352	88%	4%	2%

⑨食べ残しをしない、料理の材料を無駄にしない等の食品ロス対応	n	進んで、取り組んでいる	楽にできるならば、取り組みたい	効果が見えるなら、取り組みたい
16～39歳	168	74%	15%	10%
40～69歳	482	76%	12%	7%
70歳以上	352	70%	16%	3%

⑩水道をこまめに止めたり、雨水や残り湯を使う等の節水	n	進んで、取り組んでいる	楽にできるならば、取り組みたい	効果が見えるなら、取り組みたい
16～39歳	168	50%	29%	15%
40～69歳	482	58%	22%	14%
70歳以上	352	62%	21%	7%

(3) エネルギー対策の設備や車等の導入について

- エネルギー対策の設備や車等の導入に関する各項目について、「すでに導入していて、使い続けたい」を見ると、「⑦LED照明器具」が最も高く6割台半ばで、次いで「⑥省エネ性能の高い家電」が3割台半ば、「⑧高効率給湯器」が3割近くとなっている。
- 「⑦LED照明器具」を除いて、全般に「費用と効果が見合えば導入したい」が高い傾向にある。
- その一方で、「今の生活や住宅には合わない」を見ると、「①太陽光発電設備」を筆頭に、「②太陽熱利用設備」「④エネルギー性能の高い住宅」「③蓄電システム」「⑤HEMS」「⑨家庭用燃料電池コージェネレーション設備」、「⑪V2H」「⑫断熱改修等の省エネリフォーム」が2割近くから3割近くとなっている。
- さらに、「よくわからない、興味が持てない」を見ると、「⑪V2H」を筆頭に「⑤HEMS」「⑬再生可能エネルギーで発電された電力の購入」「⑩EV(電動車)」「④エネルギー性能の高い住宅」「⑨家庭用燃料電池コージェネレーション設備」「③蓄電システム」「⑫断熱改修等の省エネリフォーム」が2割近くから3割台半ばとなっている。



n=1,012

- 設備機器や車両についての設問のため、住宅の形態や所有の別に比べている。それらの区別により大きな傾向の違いがある。
- 「すでに導入していて、使い続けたい」は、全体的に、住宅形態の別では一戸建て(住居専用)もしくは一戸建て(事業所併設)で、所有の別では持ち家(建物)で、それぞれ高くなっているが、「⑥省エネ性能の高い家電(エアコン、冷蔵庫等)」「⑦LED 照明器具(住宅内の主なところ)」では差が小さい。
- 「費用と効果が見合えば導入したい」は、全体的に、一戸建て(事業所併設)で特に高くなっているが、「⑦LED 照明器具(住宅内の主なところ)」については導入済みが多いため低くなっている。

◇住宅別比較◇

①太陽光発電設備	n	すでに導入していて、 使い続けたい	費用と効果が見合えば 導入したい	交換・修繕や建築の時 には考えたい
一戸建て(住居専用)	658	14%	29%	13%
一戸建て(事業所併設)	23	4%	52%	9%
集合住宅	291	1%	12%	5%
持ち家(建物)	791	12%	27%	11%
賃貸(建物)	196	2%	12%	6%

②太陽熱利用設備(給湯、暖房等)	n	すでに導入していて、 使い続けたい	費用と効果が見合えば 導入したい	交換・修繕や建築の時 には考えたい
一戸建て(住居専用)	658	11%	30%	15%
一戸建て(事業所併設)	23	9%	43%	13%
集合住宅	291	2%	15%	6%
持ち家(建物)	791	10%	28%	13%
賃貸(建物)	196	3%	16%	8%

③蓄電システム(リチウムイオン蓄電池等)	n	すでに導入していて、 使い続けたい	費用と効果が見合えば 導入したい	交換・修繕や建築の時 には考えたい
一戸建て(住居専用)	658	9%	37%	12%
一戸建て(事業所併設)	23	0%	57%	22%
集合住宅	291	3%	17%	3%
持ち家(建物)	791	7%	36%	10%
賃貸(建物)	196	5%	17%	4%

④エネルギー性能の高い住宅(ZEH等)	n	すでに導入していて、 使い続けたい	費用と効果が見合えば 導入したい	交換・修繕や建築の時 には考えたい
一戸建て(住居専用)	658	5%	26%	19%
一戸建て(事業所併設)	23	0%	35%	17%
集合住宅	291	1%	10%	7%
持ち家(建物)	791	5%	24%	17%
賃貸(建物)	196	1%	12%	7%

⑤HEMS(住宅用エネルギー管理システム)	n	すでに導入していて、 使い続けたい	費用と効果が見合えば 導入したい	交換・修繕や建築の時 には考えたい
一戸建て(住居専用)	658	3%	26%	16%
一戸建て(事業所併設)	23	0%	30%	22%
集合住宅	291	1%	9%	5%
持ち家(建物)	791	3%	25%	14%
賃貸(建物)	196	1%	10%	7%

⑥省エネ性能の高い家電(エアコン、冷蔵庫等)	n	すでに導入していて、 使い続けたい	費用と効果が見合えば 導入したい	交換・修繕や建築の時 には考えたい
一戸建て(住居専用)	658	40%	31%	17%
一戸建て(事業所併設)	23	30%	39%	13%
集合住宅	291	30%	28%	22%
持ち家(建物)	791	40%	30%	18%
賃貸(建物)	196	22%	31%	20%

⑦LED 照明器具(住宅内の主なところ)	n	すでに導入していて、 使い続けたい	費用と効果が見合えば 導入したい	交換・修繕や建築の時 には考えたい
一戸建て(住居専用)	658	69%	13%	9%
一戸建て(事業所併設)	23	74%	9%	4%
集合住宅	291	60%	15%	12%
持ち家(建物)	791	69%	13%	9%
賃貸(建物)	196	54%	17%	12%

⑧高効率給湯器(エコジョーズ、エコキュー ト、エコワン等)	n	すでに導入していて、 使い続けたい	費用と効果が見合えば 導入したい	交換・修繕や建築の時 には考えたい
一戸建て(住居専用)	658	37%	25%	14%
一戸建て(事業所併設)	23	26%	39%	13%
集合住宅	291	14%	20%	14%
持ち家(建物)	791	36%	25%	15%
賃貸(建物)	196	6%	20%	10%

⑨家庭用燃料電池コージェネレーション設備 (エネファーム等)	n	すでに導入していて、 使い続けたい	費用と効果が見合えば 導入したい	交換・修繕や建築の時 には考えたい
一戸建て(住居専用)	658	4%	33%	17%
一戸建て(事業所併設)	23	4%	48%	17%
集合住宅	291	1%	17%	9%
持ち家(建物)	791	4%	31%	16%
賃貸(建物)	196	1%	16%	9%

⑩EV(電動車)※BEV,PHEV,FCEV,HEV	n	すでに導入していて、 使い続けたい	費用と効果が見合えば 導入したい	交換・修繕や建築の時 には考えたい
一戸建て(住居専用)	658	10%	31%	13%
一戸建て(事業所併設)	23	4%	39%	13%
集合住宅	291	4%	20%	9%
持ち家(建物)	791	10%	30%	12%
賃貸(建物)	196	4%	21%	8%

⑪V2H(BEV、PHEV を住宅の電源に活用 する設備)	n	すでに導入していて、 使い続けたい	費用と効果が見合えば 導入したい	交換・修繕や建築の時 には考えたい
一戸建て(住居専用)	658	2%	27%	13%
一戸建て(事業所併設)	23	0%	30%	13%
集合住宅	291	0%	11%	6%
持ち家(建物)	791	2%	26%	12%
賃貸(建物)	196	0%	11%	6%

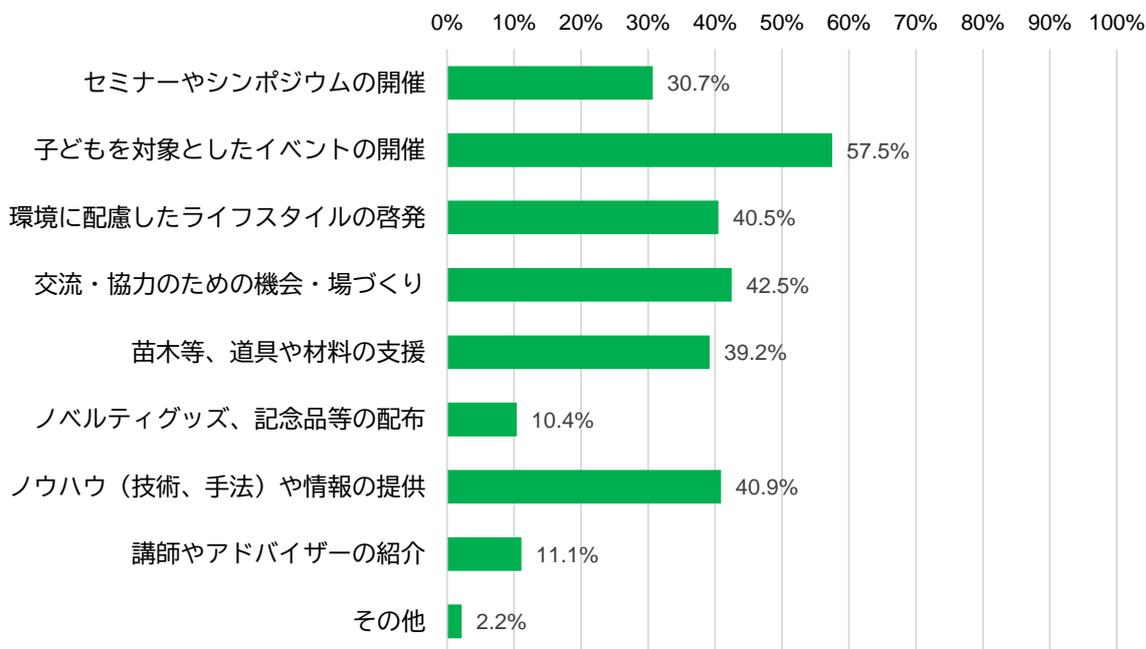
⑫断熱改修等の省エネリフォーム	n	すでに導入していて、 使い続けたい	費用と効果が見合えば 導入したい	交換・修繕や建築の時 には考えたい
一戸建て(住居専用)	658	10%	28%	26%
一戸建て(事業所併設)	23	9%	57%	17%
集合住宅	291	3%	15%	13%
持ち家(建物)	791	10%	28%	24%
賃貸(建物)	196	1%	13%	12%

⑬再生可能エネルギーで発電された電力の 購入	n	すでに導入していて、 使い続けたい	費用と効果が見合えば 導入したい	交換・修繕や建築の時 には考えたい
一戸建て(住居専用)	658	3%	39%	11%
一戸建て(事業所併設)	23	4%	43%	4%
集合住宅	291	1%	29%	4%
持ち家(建物)	791	3%	39%	10%
賃貸(建物)	196	0%	24%	3%

5 環境保全の取組を進めるための、市の支援や発信の方法について

(1) 環境学習や体験等への支援として、効果があると思うもの(制限なし)

- 環境学習や体験等への支援で効果的なこととして、「子どもを対象としたイベントの開催」が最も高く6割近くで、次いで「交流・協力のための機会・場づくり」「ノウハウ(技術、手法)や情報の提供」「環境に配慮したライフスタイルの啓発」「苗木等、道具や材料の支援」が4割程度となっている。



n=1,012

その他(自由記載欄)

- ・ 緑化まつりのイベントにあると寄りやすい。
- ・ 商業施設でのイベント開催や、スポーツ等他のイベントとの抱き合せ開催。
- ・ 大規模な祭りで行うイベント系アトラクション。
- ・ APバンクフェス。
- ・ Youtube 利用。
- ・ SNS を利用して環境が良くないと起こる事を説明し不安を煽る。
- ・ SNS、ホームページの作成。
- ・ 環境問題に対する正しい情報の提供、大量消費社会からの脱却。
- ・ 専門家を派遣して実際に自宅訪問でエコ診断。
- ・ 参加者をまきこんだ体験学習が効果的だと思います。
- ・ ビジネスと協力して環境に配慮した店を増やし、同時に地域の魅力向上を図る。
- ・ 学校教育をもっと充実させる。
- ・ 自然環境を破壊するとどうなるか、子どもたちに説明する。
- ・ 神奈川県、特に環境科学センターとの連携、公民館等を活用した出前講座(子ども向けでないもの)
- ・ 目で見て実感できる継続的な実験施設が必要。
- ・ 市が植えた木や花が若者の興味をひく種類ではないと感じるので変えたほうがよいと思う。
- ・ 駅前等のスペースの植樹を、市民にも機会を開放する。

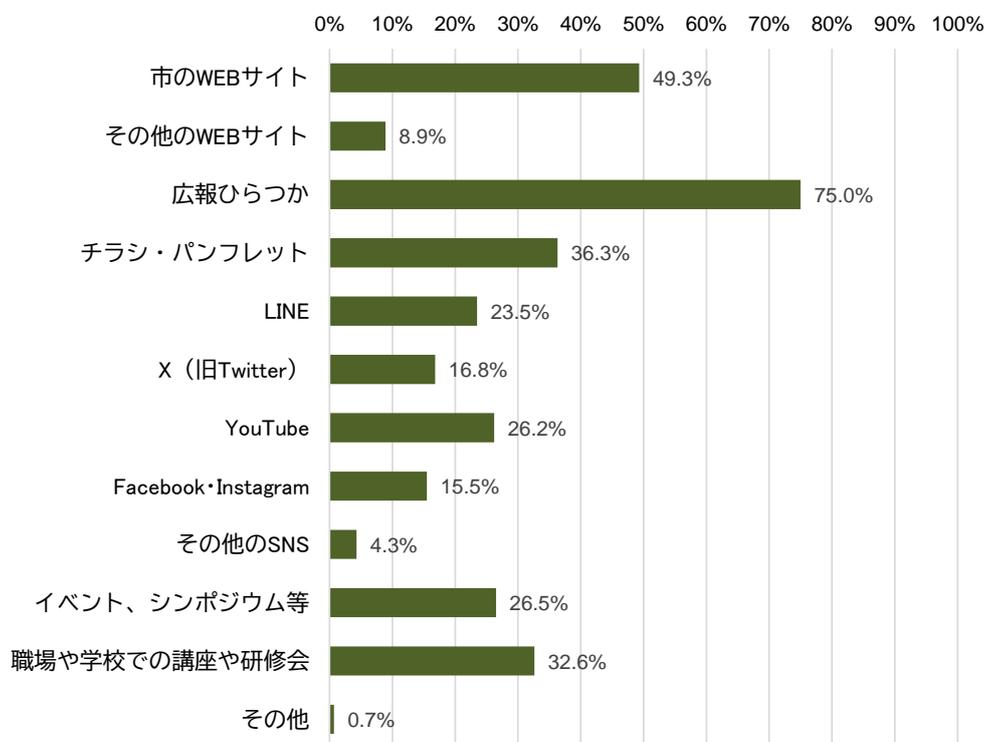
- ・ 他の地域の自然に触れてみるのも良いかと思います。
 - ・ 交通渋滞について真剣に取り組んでほしい。
 - ・ 基本的に何をやっても意識の高い人しか集まらない、強制力があるなら別だが。
 - ・ 高齢なのでよくわからない。
 - ・ 効果ないと思う。
- 年代別に比べると、項目によって傾向に違いが見られる。
 - 「セミナーやシンポジウムの開催」「環境に配慮したライフスタイルの啓発」「交流・協力のための機会・場づくり」では、年代が上のほうが高くなっている。特に、「セミナーやシンポジウムの開催」では70歳以上が高い。
 - 「子どもを対象としたイベントの開催」「ノベルティグッズ、記念品等の配布」「苗木等、道具や材料の支援」では、年代が下のほうが高く、特に「子どもを対象としたイベントの開催」「ノベルティグッズ、記念品等の配布」では16～39歳が高い。
 - 「ノウハウ(技術、手法)や情報の提供」「講師やアドバイザーの紹介」では、40～69歳と70歳以上が高くなっている。

◇年代別比較◇

	n	セミナーやシンポジウムの開催	子どもを対象としたイベントの開催	環境に配慮したライフスタイルの啓発	交流・協力のための機会・場づくり	苗木等、道具や材料の支援	ノベルティグッズ、記念品等の配布	ノウハウ(技術、手法)や情報の提供	講師やアドバイザーの紹介
16～39歳	168	15%	74%	33%	39%	45%	24%	39%	7%
40～69歳	482	29%	59%	42%	41%	38%	9%	56%	12%
70歳以上	352	40%	47%	43%	46%	38%	5%	51%	13%

(2) 環境情報の発信・入手について、望ましく思う手段、方法(制限なし)

- 環境情報の発信・入手で望ましい方法等として、「広報ひらつか」が最も高く 7 割台半ばで、次いで「市の WEB サイト」が 5 割近くとなっている。
- SNS に類するもの(LINE、X、YouTube、FaceBook、その他 SNS)の中は、YouTube と LINE が高く、また、これら SNS に類するものの合計は、広報ひらつかと市 WEB サイトの合計を上回っている。



n=1,012

その他(自由記載欄)

- ・ 継続性のある講習。
- ・ ダイレクトメール。
- ・ TVK 局で CM を放送する。
- ・ スターライトポイントアプリの活用。
- ・ 論文サイト、本。
- ・ 自治会、近所での話し合い
- ・ 自治体や各団体からの紹介。
- ・ 若い世代の興味をひくこと。
- ・ 無駄な金。
- ・ 望ましく思わない。

- 年代別に比べると、項目によって傾向に違いが見られる。
- インターネット上に公開される「市のWEBサイト」「その他のWEBサイト」では、40～69歳が高くなっている。
- 紙媒体を基本とする「広報ひらつか」「チラシ・パンフレット」では、年代が上のほうが高くなっている。
- ソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)の「LINE」「X(旧Twitter)」「YouTube」「Facebook・Instagram」「その他のSNS」では、年代が下のほうが高くなっている。16～39歳においては、これらSNSのうち「X(旧Twitter)」「YouTube」が最も高く、WEBサイトとほぼ同等となっている。

◇年代別比較◇

	n	市のWEB サイト	その他の WEBサイ ト	広報ひら つか	チラシ・ パンフレ ット	LINE	X(旧 Twitter)	YouTube	Facebook・ Instagram	その他の SNS	イベント、 シンポジ ウム等	職場や学 校での講 座や研修 会
16～39歳	168	47%	8%	48%	24%	33%	45%	45%	38%	13%	22%	46%
40～69歳	482	55%	12%	76%	31%	25%	17%	30%	16%	2%	25%	33%
70歳以上	352	43%	4%	87%	49%	18%	4%	13%	4%	3%	30%	25%

6 市民アンケートに見る方向性（総括）

(1) 回答者について

- 40 歳以上の中高年層が多い。
- 職業面では、無職やパートタイマー・アルバイトが多い。
- 世帯構成は、親子 2 世代と夫婦が多い。
- 居住年数は 30 年以上が多い。
- 住居は、一戸建て、持ち家が多く、居住地区は平塚地区、大野地区、海岸地区が多い。

(2) 住まい近く的环境への評価

- 大きな分類を相対的に見ると、生活環境と自然共生・生物多様性への満足度が比較的高く、過去 10 年の変化がないとされている。
- 循環型社会・ごみ・環境美化、脱炭素(カーボンニュートラル)、気候変動の影響については、満足度が低い項目が部分的に見られるが、その一方で、過去 10 年で良くなったとされる項目も見られる。
- 生活環境の項目では、評価は概ね良好であるが、地盤や地下水、水質、騒音・振動・悪臭が比較的低評価となっている。
- 自然共生・生物多様性の項目では、有害鳥獣、外来生物、自然・歴史のまちなみが比較的低評価となっている。
- 循環型社会・ごみ・環境美化の項目では集積所の美化、まちの美化、不法投棄防止が比較的低評価となっている。
- 脱炭素(カーボンニュートラル)の項目では、太陽光発電・EV、公共交通・自転車利用、市民・事業者・市の連携が比較的低評価となっているが、太陽光発電・EVは過去 10 年の変化への評価が高い。
- 気候変動の影響の項目では、自然災害関連が比較的低評価となっている。また、熱中症に関する情報については、満足度も過去 10 年の変化も高評価である。
- 環境学習・協働については、全体的に過去 10 年の変化が高評価となっている。
- 以上の市民による評価を踏まえると、生活環境や自然については概ね良好に保たれているが、地盤や地下水、水質、騒音・振動・悪臭、生物による被害、散乱ごみ、ペット飼育といった面で改善が求められていることに加え、気候変動の影響として災害対策も重視されている。
- また、脱炭素(カーボンニュートラル)に必要な太陽光発電や EV の普及については、進展はあったものの、乗り越えるべき課題が少なくないと考えられる。

(3) 市の取組で大事に思うこと

- 将来に向けて、自然災害への備え、大気や水の保全、ごみ処理・資源化への要望が比較的高くなっている。また、70 歳以上では地球温暖化対策への要望も強くなっている。
- 以上の市民からの要望を踏まえ、市民生活と直結する取組や、身近に感じられる将来像が重要と考えられる。

(4) 個人の行動について

- 環境保全活動への参加について、清掃・美化活動を除いて参加実績は低調であるが、時間や機会

や、自身に良い経験となることが動機付けになり得ることが伺える。

- 日常的な行動は全体的に定着しつつある。それらの中では、公共交通・自転車の利用、エネルギー消費、ごみの発生抑制、節水が、実践の度合いが比較的低くなっている。案にできる、効果が見えることが動機付けになり得ることが伺える。
- エネルギー対策の設備や車について、LED照明と省エネ性能の高い家電は意欲・普及度が高いが、他の項目は理解や導入が困難な傾向が見える。費用と効果が動機付けになり得ることが伺える。
- 以上の市民生活の状況や意欲を踏まえ、環境保全活動への参加機会や参加者にプラスになる経験、環境配慮行動の実感や始めやすさ、エネルギー対策の費用対効果といった点で、動機付けが重要と考えられる。

(5) 市による支援や発信について

- 市が行う支援策として、子ども対象のイベントを筆頭に、交流・協力の機会、情報提供、ライフスタイル啓発、道具・材料等提供への要望が高くなっている。
- 環境情報の手段について、広報ひらつかと、WEB サイトや SNS の活用への要望が高くなっている。
- 以上の市民からの要望を踏まえ、支援や発信においてより効果的な方法を使うことが重要である。また、広報ひらつかについては 40 歳以上の支持が、SNSについては 16～39 歳の支持が、それぞれ大きくなっていることなどを考慮し、対象とする層を意識した発信が重要である。

(6) 10 年後、20 年後を見すえて、未来の平塚市の環境に望むことなどの自由記載について

- 自由記載の意見は、統計的な処理の対象ではないため、目安や気づきとして見ていくものである。
- 住みやすさや環境の良さを肯定的に捉えた意見が多い一方で、活気の衰えへの懸念、都市施設や交通の充実を求める意見も多い。
- 散乱ごみの問題など、まちの清潔さ、きれいさについての指摘や要望も多い。
- 自然環境を大切に考える意見が多く、市の環境の多様さを反映して、水辺、海岸、山、農地、生物、樹木など様々な部分に言及されている。
- 地形の特性や気候変動の影響を反映して、自然災害を懸念する意見が多くなっている。

8 10年後、20年後を見ずえて、未来の平塚市の環境に望むことなど（自由記載）

※分類は、文章の書きだし等から判断したもので、おおまかな目安である。

※意見の末尾には、括弧内に性別と年代を記載している。

生活環境関連

- ・ 空気がきれい。【女性、80 歳代】
- ・ 空気が綺麗な平塚市になってほしいです。歩きタバコ、自転車のながらタバコの煙で不愉快になることが多々あります。特に平塚駅西口の喫煙所付近の空気環境は最悪です。毎朝晩の通勤で受動喫煙をしている状況です。学生など多くの人が頻繁に行き来する場所に喫煙所があるのはどうかと。せめて電子タバコのみにするなど改善して欲しいです。【女性、20 歳代】
- ・ 空気や水がきれいなまち。【男性、50 歳代】
- ・ 水、空気のきれいな環境の整備。【男性、50 歳代】
- ・ 神田地域の旧道沿いに住んでいますが、この 10 年でらぼーとやアウトレットなど相模川沿方面に商業施設が出来たが車の往来が増え、国道が混雑するためか旧道のダンプカーの往来がとても増えました。車の往来で家の振動も酷くなり、窓ガラスを拭くと白いです(排ガス)。【女性、50 歳代】
- ・ 野焼きに困っている、大気汚染や温暖化が進み、現代には合っていない。年一回の害虫駆除の大々的な野焼きはカスが飛んできて迷惑すぎる。【男性、50 歳代】
- ・ 近くに田が多く秋の時期になると野焼きをすることが多く、涼しくなっても煙臭くて窓が開けられない。大気汚染としてどうなのか。【女性、未回答】
- ・ せっかく海風が心地よい地域に住んでいるので、夏は極力窓を全開にしてエアコンのいらぬ自然の風で生活したいものの、集合住宅のためタバコの匂いが流れてきて泣く泣く窓を閉めてエアコンと換気扇を全力で回す生活をしています。私自身アイデアや打つ手が無いのでただの我儘であるのは承知なのですが喫煙者が減らずとも匂いに困らない生活がしたいです。【男性、20 歳代】
- ・ 汚水処理の臭い、車やバイクの騒音などがなくなれば住みやすいと思う。【女性、60 歳代】
- ・ 海や川が保たれるように。家庭から出る油分をきれいにするものを発明する。【男性、60 歳代】
- ・ デジタル化と環境モニタリング。デジタル技術を活用して、環境モニタリングを強化することも重要です。センサーや IoT 技術を活用して、大気質や水質をリアルタイムで監視し、早期に問題を発見・対策する仕組みを整えることで、住民の健康と安全を守ることができます。【男性、10 歳代】
- ・ 夜の交差点で待つバイク騒音がないこと、交差点で騒音を取り締まってほしい。カラスがゴミをあさらないこと、ムクドリが落ちていないこと、鳥が近づきにくくする工夫を。自転車が利用できる横断橋にすること、もう少し利用者の目線を大事に。【男性、50 歳代】
- ・ 公園が多い、やかましく生活に支障がでて住みにくくなった、もっと静かな市になってほしい。【男性、60 歳代】
- ・ 歩行時や自転車運転時の喫煙をやめるようになってもらいたい。【男性、70 歳代】

- ・ 集合住宅の建築基準で換気口の設置場所、近所への思いやりを、最悪なかぎたくない臭いを年中かがされることのないようにしてほしい。【男性、60 歳代】
- ・ 愛煙家にはなかなか理解してもらえないでしょうが、受動喫煙はつらいものです。煙が流れてくるのがわかっているときはあらゆる手段で回避しますが、知らずに吸い込んでしまったときはひどく咳き込んでしまいます。駅前の喫煙エリアではこのあたりで吸うのならよいという感じの方々が多く見られます。人通りの多いところではもっとしっかり囲いをしてください。【女性、80 歳代】
- ・ 歩きタバコを禁止すべき。まちの中心の喫煙所を撤去。環境美化に力を入れる。【男性、60 歳代】

自然環境関連

- ・ 自然豊かなまちづくりを望みたい。【男性、70 歳代】
- ・ 自然が多い。【男性、70 歳代】
- ・ 自然の多いまちづくり。動物の保護。【女性、70 歳代】
- ・ 自然豊かなまち。【女性、40 歳代】
- ・ 自然豊かな住みやすいまち。【女性、50 歳代】
- ・ 自然は宝だし便利さは自然をなくすようできりがない。【女性、60 歳代】
- ・ 自然豊かでみどりの多いまち。【女性、20 歳代】
- ・ 自然とまちが融合し、空気がきれいでみどりや花があふれているような未来。一人一人の環境に対する意識が高く、協力しあうような人間関係がある。【男性、50 歳代】
- ・ 自然豊かな市としてほしい。花水川にシジミを育ててみたい。【男性、70 歳代】
- ・ 自然は残してほしい。【女性、20 歳代】
- ・ 自然豊かで、自然災害にも対応できる街づくりを期待します。【女性、10 歳代】
- ・ 自然が豊かなまち。【男性、50 歳代】
- ・ 自然に触れ合える場所を増やすこと。【女性、40 歳代】
- ・ 豊かな自然を保ち歴史や文化が共存するまちであってほしい。きれいな空気や水と、古代から続く平塚の歴史を大切に、文化都市として発展していくように、教育を大切にしてほしい。【女性、80 歳代】
- ・ 平塚市は自然もあり、でも便利で住みやすいまちです。今の姿勢を維持しながらも自然を守り、どの世代でも小さなエコが始められるようにしたい。【女性、50 歳代】
- ・ 丘陵地の自然環境がこれ以上減少しないようにしてほしい。丘陵地に散策道を整備して、自然の大切さを学べるようにするのも一つの方策ではないか。【男性、70 歳代】
- ・ 空気がよく自然と共存できる社会。【未回答、30 歳代】
- ・ 総合公園や湘南平、西部地域の豊かな自然環境を活かした魅力あるまちづくりを継続してほしい。子どもや孫たちにも住み続けてもらえるような平塚市であってほしいと思います。【男性、50 歳代】

- ・ 過去には戻れませんが、これからは自然環境を第一に考え、市民も役所も行動したらよいと思う。昭和 30 年前半くらいの生活がベストだと 30 年前からずっと言われています。【男性、70 歳代】
- ・ 生活環境は数年前より便利になったが、自然環境がだめになってきているのもっと自然を考えてほしい。【男性、60 歳代】
- ・ 住民が平穏に暮らせ、変わる環境においても自然を大事に保とうと取り組めるような地域。【女性、70 歳代】
- ・ 単に経済効果のみを考えた開発だけでなく、自然と調和がとれた自然破壊のない開発を行っていき、10 年 20 年後も憩いの場がある未来の平塚市の環境であってほしい。【男性、50 歳代】
- ・ 駅周辺を始めとした市街地への移住を強化し、僻地を自然に返却していく取り組みをすることが、ゆくゆく環境問題だけでなく、インフラコストや輸送コストを鑑みたときにも、有益に働くと考えます。【男性、30 歳代】
- ・ 私はあと何年平塚市にお世話になるかわかりませんが、このまま自然が守られ子どもや年寄りでも楽しく過ごせる平塚市であってほしいです。【女性、60 歳代】
- ・ 自分が住んでいる場所は駅に近いので、生活をするにはとても便利である。少し離れたところに行けば自然が残っていて、田舎に来た感じがして嬉しい。10 年 20 年たっても多くの自然が残っている、気持ちが休まる環境があってほしいです。【女性、70 歳代】
- ・ みどり豊かな環境であってほしいと思います。【女性、60 歳代】
- ・ みどりがたくさんあり、きれいな川が流れるまち。ただみどりといってもデザインが必要で、素敵に思えるデザイン力を。【女性、40 歳代】
- ・ みどり豊かなまちになってほしい。家庭での鉢植えの植物の土を捨てるのに、ごみに少しずつ入れてくださいといわれたが、土も資源だと思うのでよい回収方法があるといいと思います。【女性、70 歳代】
- ・ 今もそうですが、みどりの多いまちを続けてください。【男性、70 歳代】
- ・ みどりの多い空気にきれいなまちとして、今から植樹の方向に進んでほしい。しかしながら落ち葉のことも考慮し、常緑樹を利用したほうがよいのではと思います。【女性、70 歳代】
- ・ きれいな空気が維持されて、まちと緑が共存した環境であってほしい。【女性、20 歳代】
- ・ 緑の多い平塚。【女性、60 歳代】
- ・ 平塚在住 70 年を過ぎ、時代を追って変わりつつある平塚ですが、あまり大きな変化とは感じておりません。次世代の子どもたちのために、今日の平塚を維持、発展させてほしいと願います。いつまでも自然と調和した生活のできる環境を大切に残してほしい。【男性、70 歳代】
- ・ 現状を維持していけることを望みます。【男性、60 歳代】
- ・ 現状維持であってほしい。【男性、20 歳代】
- ・ これ以上悪くならないよう、現状維持が好ましいです。【女性、50 歳代】
- ・ 現在の環境維持に期待したい。【男性、70 歳代】
- ・ 環境は壊してもらいたくない。【女性、70 歳代】

- ・ 今ある緑を無くさないで欲しい。周辺環境に合った施設や店舗ができるように許可を出して欲しい。【女性、50 歳代】
- ・ 市内の放置された竹林は、一部で立ち枯れや斜面崩壊、竹の根の表面部分からの劣化(竹林は他の樹木より根が浅い場合が多い)、それによる有害生物(外来生物)の繁殖、違法廃棄物の投棄先になるなど問題が多い。照葉樹の林が孟宗竹に浸食される場合もある、まずは地権者の表記から始めたらどうか。【男性、60 歳代】
- ・ 湘南平へ上ってみよう。湘南平の表示の入り口から 500~600m 上がったところで別世界にいる自分を感じる。木々の静けさ、虫の音、鳥のさえずり、日常の生活や仕事では絶対に味わえることができないものである。今までに長年にもわたって改良維持を繰り返してきた結果だと思われる。健康にも良いし病気にかからないからだを作ろう。【男性、80 歳代】
- ・ 平塚市の田んぼで野鳥を見なくなった。金目川でもカワセミを見なくなった。環境破壊をやめてほしい。自然との共存を考えた開発をしてください。【女性、70 歳代】
- ・ きれいな川と水田を残してほしいと思います。【女性、50 歳代】
- ・ 相模川、相模湾、大磯丘陵、広大な水田地帯と当市の持つポテンシャルを最大限発揮しつつ、環境配慮、エシカルな自治体として全国的に名が通る様な政策を実施していただきたい。また、浜ゴムさんや神奈中さん、日産車体さん等当市に本社、事業所がある企業とのコラボレーション活動、官民連携を深化させ、住民、在勤者が暮らしやすい、環境配慮した街づくりを行なって欲しい。【男性、50 歳代】
- ・ 50 年前、60 年前の平塚に戻すべき。渋田川など水が澄んできれいでした。個人のみならず企業も交えて環境問題に取り組んでほしい。【男性、60 歳代】
- ・ 緑をこれ以上減らして欲しくない。大神地区の景観が変わり(田んぼの埋め立てが進み大きな建物が建ってきて)寂しい。都市化を進めて若い子育て世帯に住んで欲しいという部分もあるので難しいかもしれないが…。緑を減らし多額の公費を使う新規の大型施設は望まない。【男性、40 歳代】
- ・ 山も海もあるので人工的な手を加えずに海岸を守ってほしい。駅北側から南へぬける地下道等、少しきれいにして市外などから海へくる人たちが増えるような環境にしてほしい。【男性、60 歳代】
- ・ 山・川・海・水田等、自然豊かな環境を保ちつつ、災害時への取組や、子どもから老人までが心身ともに健やかに生活できるまちづくり。【女性、60 歳代】
- ・ 山と川の再生化、植林と魚の放流で自然環境整備の推進を進めて行きたい。また、農地の再利用(荒地)の検討をお願いします。【男性、50 歳代】
- ・ 里山などの風景が残っている。生き物がたくさんいる多様性。開発行為の制限。【男性、30 歳代】
- ・ 海・山・川の自然の維持で汚染されていないこと。【男性、80 歳代】
- ・ 海、山、川、農地がきれいで豊かなままでいてほしい。【女性、30 歳代】
- ・ 海や山の資源が豊かなので、それらを守ってほしい。海岸の開発でウミガメの産卵場所が侵略されている件を憂慮している。【女性、30 歳代】

- ・ 海もあり山もあり自然環境はとてよよいと思うので、これ以上みどりが減らされることなく汚染のない市であってほしいです。そのために建物には有害物質を出すものを使わない。みどりを増やし地球温暖化を防止。【女性、50 歳代】
- ・ 海、川、山が綺麗で自然がもっと豊かな街であってほしい。こういったアンケートがあるにも関わらず海岸通りの再開発(施設をつくる)によって松の木が大量に伐採されているのはどうかと思う。まず、そういった今ある自然を壊さないことから始めるべきだと思う。【女性、20 歳代】
- ・ 平塚は海、山、川と自然に恵まれている。それらを活かし総合公園のようにいろいろな年代が楽しめる場を整備してほしい。【男性、60 歳代】
- ・ 未来も川・山・海が美しい平塚であってほしい。そのためには一人一人がごみ、災害への備えなどを意識して生活できたらよいと思う。【女性、60 歳代】
- ・ 平塚市は海あり山ありと自然豊かな場所であり、少し山側に行けば懐かしい風景ときれいな川、広大な畑などの緑や自然を感じられる素敵な市だと思います。また県下最大級の米どころで夏の田んぼの緑、秋の黄金色の稲が風になびいている様子を見ると心がとても癒されます。しかし今少しづつ畑も消えていき、その風景が変わりつつあります。この素晴らしい緑と風景、そして農地が変わらず未来に残されていって欲しいと思っています。【女性、50 歳代】
- ・ 今ある農地や里山が減少しないようにする。平塚市で農業を守る、個人ではなくみなで守る。海岸に入れる砂はちゃんとした砂を入れてほしい。【女性、70 歳代】
- ・ 豊かな自然(海、山、川)を活かしたまちづくり。駅前の商業施設とバランスよく。住みやすいまちをアピールしていくとよい。ウミガメの来るまち、海の駅のようなビーチやショッピングが楽しめる場所を。【女性、40 歳代】
- ・ 平塚市は川や海、山など自然が豊かで、花がたくさん咲いているところが魅力だと思っています。先日、近所の桜が伐採されており、ショックを受けました。ぜひそういった自然が保たれているといいなと思います。これを実現するためにイベント化して、草むしりをするとか、皆で取り組むのはどうでしょうか。【女性、30 歳代】
- ・ 今までどおり、海と山に囲まれた、素晴らしい平塚であって欲しいです。【女性、50 歳代】
- ・ 水がきれいなまち。里山保全。【男性、40 歳代】
- ・ 農地も多いので農地や里山を残してほしい。農家が続けられるよう優遇措置も平塚市民の税金から使っていただいてもよいと思います。小学生中学生単位で農業体験があると(すでにされているかもしれませんが)将来の職の選択肢の一つになるかなと思いました。【女性、30 歳代】
- ・ 20 年前に比べて住みやすくなったりしていますが、田にドジョウやタガメなど生き物は少なくなりました。子どもたちにもっと自然に触れていろいろな生き物に触れさせてあげたかったです。山側だけでなく、他の地域でも子どもたちが自由に虫取りや遊びができる場所があるといいです。【女性、30 歳代】
- ・ みどりの多い環境の保全のため、農地をこれ以上減らさないで活用する方法を行政で進めてほしい。いつまでも子どもが虫取りに夢中になれ、野鳥の鳴き声が聞こえる岡崎であってほしい。住宅地はこれ以上いりません。今ある里山、田畑を大切にしてください。私は田畑を持っていませんが、高齢の方が継続のために困っているならお手伝いしたいです。【女性、60 歳代】

- ・ 自然と都市の調和。平塚市は、自然環境が豊かな地域ですが、都市化も進んでいます。10年後、20年後には、自然環境と都市開発が調和する街であってほしいです。例えば、都市部には緑地や公園を増やし、住民が自然に触れ合える場所を確保することが重要です。また、農業地域の保護や、里山の再生にも力を入れてほしいと思います。【男性、10歳代】
- ・ 海岸の樹木を大事にしてほしい。【女性、80歳代】
- ・ 海の砂浜を昔のようにしていただきたい。広くてきれいな砂浜に、道の駅はいらない。商業施設は駅の近くで田畑や景観を残すように。【女性、40歳代】
- ・ 海がきれい。【男性、10歳代】
- ・ 海岸の松林等はずっと開発しないで保存を希望します。現在の海岸線が平塚のすばらしいところだと思います。【女性、70歳代】
- ・ 海岸エリアに公園は湘南海岸公園で十分。龍城ヶ丘プール跡地に公園や商業施設ができれば車が多く集まり、環境が悪くなるので反対です。防砂林をもっと整備して子どもたちが木々や虫に触れられる安全で自然豊かな林であってほしいと思います。【女性、50歳代】
- ・ 海、川、空気、自然な景色が残るきれいな平塚であってほしいと思います。マンションが次から次へとできていますが、まだ必要なのかとってしまいます。【女性、40歳代】
- ・ 海や川がもっと綺麗になって有名地になって欲しい。【女性、20歳代】
- ・ 海浜公園を作ってウミガメの産卵場を確保してほしい。各河川に魚道施設を作る。放置された田畑の市民による再利用。【男性、50歳代】
- ・ 平塚海岸の松の木の伐採を止めるべき。樹齢70年以上の立派な木々を守れずに、未来のまちづくりはできないと思います。新しいことをするよりも、まず平塚市の文化を守ることが先ではないでしょうか。【女性、60歳代】
- ・ 水・農・海的环境に資金を使用し保全と教育を行う。【未回答、60歳代】
- ・ 空気、川、海、汚れていない美しい明るい平塚市。自然災害やごみ処理問題にも強い平塚市、できることには協力してこの先に残したい。【女性、50歳代】
- ・ 松林の存続ときれいな海岸。【女性、60歳代】
- ・ 緑が生い茂り、空気や水、川や海がきれいに流れ、人々がいつまでも住みやすいような環境が望ましいと思う。【女性、40歳代】
- ・ 湘南と呼ばれる地で他県の方からのイメージは海が綺麗なところと言われることが多いため、海の綺麗な市であってほしいです。【女性、20歳代】
- ・ 40年ほど前、134号をドライブしたときにとっても素晴らしい海岸だと思い、それが平塚に住む理由の一つになった。今では海岸の樹林が手入れされることもなく、それどころか切り払われてしまった。新たに開発するのではなく、せめて今ある自然を保全することを若い世代とともに考えるべき。そのほうが経済的だと思う。【男性、60歳代】
- ・ 将来の平塚市が今よりも緑豊かで自然災害に強い都市となってほしい。遊泳可能な海水浴場がある海岸や湘南平等の自然環境を守り育てながら、住み続けたいと思える市に発展してもらいたい。【女性、90歳代】

- ・ まず川。処理水が厚木伊勢原秦野で川に流すのをやめてもらう代わりに、平塚で引込み海に流す、そうすれば川の水温も2度位下がり、田んぼに引込む水も水温が下がりそう。そうすればジャンボタニシも活動量下がり少なくなるかも。農薬も減らせるかもしれない。呑みたくならない川の水で作った米ハルミ！食べたいと思いません。【男性、50歳代】
- ・ ウミガメが産卵に来ている貴重な浜だと最近知った。都市化したり産業化を進めるより、この財産をうまく活用して海外の研究団体を招待したり、地域の教育活動を行ったり、江ノ島水族館と協力するなどとして売り込んでほしい。他市にはない、人間が作れない魅力なのだから。観光地は茅ヶ崎までで良くて、川を超えた平塚からは、自然や田舎を売りにした方が個別化されて良いと思う。実際、北側にできた大型の商業施設もなんだか中途半端だし。地震が来て、津波が来て、液状化して、川が氾濫して、安心して暮らせる場所ではない、地価が安くて仕方なく選んだ土地で、益々選んだ後悔する街になってほしくない。【女性、40歳代】
- ・ 人が安心して住める街であり、みどり豊かなまちであってほしい。河川や下水道の整備は近年の異常気象を見ても、力をいれていただきたい。海岸もみどりの保全、ウミガメが卵を産みに来る環境を残してほしい。【女性、60歳代】
- ・ マンション、商業施設が多すぎる。脱炭素とは真逆になっているのではないか。そのスペースを自然豊かな場所にすれば市民の憩いの場になると思う。特に南側は湘南海岸公園くらいしかないのでJTの跡地の開発は残念だった。【男性、50歳代】
- ・ 街づくりに市民が参画できる・参画したいと思えるまち。街で住み、働き、遊び、学ぶ人間の目線から、合点のいく街づくり。市民が木を切らないで欲しいと訴えたにも関わらず、説得力のない「経済効果」を理由に砂防林を分断する工事を押し切った市政は、市民の頼を裏切る行為だと認識しています。砂浜では、砂の混じった強風が吹き荒れていても、一歩砂防林に踏み入ると途端に木々に風から守られてホッとした体験はありませんか？先人たちが、苦労してまでどうして砂防林を植林したか、それを身をもって知る市民としては、「海岸線の自然環境をより豊かにしていこう」と計画的に行動できる街にしていきたいと思います。【未回答、30歳代】
- ・ 松林をなくしてどうしたいのかわからない。【女性、40歳代】
- ・ 袖ヶ浜地区や壘平地区を見ると、アルミやステンレスも塩害による腐食に耐えられず、住宅資産の劣化が激しい。高齢化の住宅改修と合わせ、人口減少時代の都市計画には、現在の保全林の北側部分へのさらなる樹林帯の確保が重要と思われる。【男性、60歳代】
- ・ 龍城ヶ丘プールの跡地にみどりに戻るように、利便性ばかりを重視するのではなく、自然と共存するまちであってほしいです。自給自足の普及に、農家さんをもっと市がバックアップしてほしい。【女性、50歳代】
- ・ なぜ龍城ヶ丘プールの再開発が着工する前にこのアンケートをとらなかったのか。壊れた自然は戻らない。自然の脅威も増した。住民の安全、自然保護と共生を目指す行政になってほしい。【男性、60歳代】
- ・ 龍城ヶ丘プール跡地の整備計画が問題を残したまま着工された。樹林帯伐採を今後計画以上に広げないことを約束願います。【女性、60歳代】
- ・ 自然環境を維持してもらいたい。昭和生まれから見ると現代の子どもは自然との接触が少ない、例えば昔のボーイスカウトのように。【男性、70歳代】
- ・ 自然環境を守るため、水辺やみどりと身近に親しめる環境を整えてほしい。そのためにビオトープの整備や昆虫採集のイベント企画をお願いしたい。【男性、30歳代】

- ・ 20年前と比較すると、畑や果樹園がかなり減りました。住宅地とどう共存させていくか、市政で決めていってほしいと思います。【男性、50歳代】
- ・ 保育園の送迎時にいくつかの畑の横を通り、子どもと「なんの野菜かな」「虫がいる」など話をしながら歩くのがとても楽しい時間になっています。10年後20年後も四季を感じられる平塚市であってほしいです。【女性、30歳代】
- ・ 田畑が良好な状態で続いて行ってほしい。【女性、60歳代】
- ・ 最近、畑や田の中に除草剤をまく姿をよく見かけます。特に田のは環境汚染の根源だと思うので、止めてほしいと思います。【女性、70歳代】
- ・ 鳥獣被害が年々拡大しているので、対策をしてほしい。【女性、30歳代】
- ・ 農家の方に頑張ってもらって多種の野菜を作ってもらっていただき平塚市民が健康長寿となればよいと思います。【女性、50歳代】
- ・ 農業の後継者がなく農地が宅地化されてしまうのが残念。【女性、70歳代】
- ・ 農地の保全を、税制のことも考えて。【男性、50歳代】
- ・ 農地は生活の中にあるべきものですが、宅地化に伴い、農業生産が難しくなっています。そのため、理解者もいますが、市はもっと子どもへの教育に力を入れるべきだと思います。住宅建築の際は壁面後退距離の制約を強化したり、建ぺい率の強化などで住民同士の距離を空けることでトラブル防止に取り組んではどうでしょうか。【男性、40歳代】
- ・ みどり・農地がすぐ傍らにあり、自然を感じられる住環境であってほしい。【女性、50歳代】
- ・ 県や市は、都市農業としての平塚の農政の考え方をもち、発信してもらいたい。市内事業者の環境への先進的な取り組みをアピールする場所があると良い。【男性、60歳代】
- ・ みどりが多い。農業が盛ん。【女性、20歳代】
- ・ 有害鳥獣による生活被害及び農作物等の被害がない環境を望みます。対策として、他の市町村が実施しているような狩猟免許の助成金等の導入をして頂きたい。【女性、40歳代】
- ・ 有事や災害、気候変動による食料不足に備えて農地を確保し、地産地消を。【女性、60歳代】
- ・ 気候変動によって食糧不足、高騰が予想される。農地等の耕作地も減少傾向となっている。農業法人等の設立、活動に行政が積極的に取り組んでほしい。【男性、80歳代】
- ・ 第一次産業の就労者確保のため、小学校中学校等からセミナーや課外授業等で触れる機会を作るとともに、農家の法人化等を市でバックアップする。【男性、40歳代】
- ・ 時代が進むにつれてどんどん文明が発達していき、自然との調和が重要になってくると思うが、今自分が住んでいる地域のような一面の田園風景などの景色がいつまでも残って欲しいと思う。そのためには、自分が子供の頃に学校で体験した田植えや稲刈り等を地域の農家の方から習うといった子供が「自然」や「食」と触れ合う体験を絶やすことなく続けていくことが重要であると感じる。【男性、20歳代】

都市環境関連

- ・ みどりと街並みが調和した市であってほしいと思う。地震や津波に強くする建物強化、海岸の整備、台風に対応した河川の整備などに取り組んでほしい。【女性、70歳代】

- ・ みどりが身近にあるまちであってほしいです。あと治安のよいまちであってほしいので、一人一人がそう願ひ、行動できる環境とする方法がずっとあるといいと思います。【女性、40 歳代】
- ・ みどりや四季折々の花などが豊かに咲いているような自然豊かな平塚市であってほしい。駅にはみどりが少ないと思うので、休憩所のような広場を作ったりして、そこで自然についてのイベントがあったりすると面白いと思う。【女性、40 歳代】
- ・ みどり豊かで文化的なまち。駅西口周辺がもう少しきれいでおしゃれになってほしい。【女性、60 歳代】
- ・ 平塚市のまちづくりに問題があると思う。郊外型で車の足がない老人にやさしくない。駅前にあるのはドラッグストアとマンションで買い物が容易でない。駅前に高齢者が集えるみどり豊かな施設。20 年度にどうあってほしいかといえば、40 歳も 60 歳になることを忘れずに、かっこいいまちではなくやさしいまち、あたたかく老人も子どもも安心できるまちを作ってください。【女性、70 歳代】
- ・ 緑豊かな。電線地下式。公共バス老人無料化。公共バス EV 化。駅周辺の緑地開発。苗木植林に市民参加。【女性、70 歳代】
- ・ 緑を増やし、運動や散歩のできる公園を増やす。各地域に 1 つずつ。【男性、80 歳代】
- ・ 今更緑を増やすのは無理なのである程度の大きさの建物を建てる際は緑地の確保を徹底させてほしい。渋滞箇所がとても多い、幹線道路の騒音もひどい。大きな施設(ビバホームやららぼーと、アウトレット等)の誘致も市が潤っているのだろうが、それに伴う道路の混雑や騒音なども充分配慮してほしい。【男性、50 歳代】
- ・ 他市に比べて道路緑化が遅れていると考えられる。【男性、60 歳代】
- ・ 東京 23 区から引っ越してきて 16 年になります。空が狭く、空気も悪く、作り物の自然が多い都内と比較すると、平塚市の海と川と山が身近にある環境は非常に魅力的だと思います。特に、平塚駅南口から海まで直線で続くなぎさプロムナードは、電線が地中化されて歩道も非常に広く、車で渋滞することも全く無く、初めて南口に降りた際空の広さと開放感に驚いた記憶があります。また、商業施設についてもショッピングモールや大型スーパーなどの出店もあり、それなりに便利な生活が可能です。また、都心の主要駅まで約 1 時間で、それなりの本数もあり、グリーン車に乗らなくとも座って通勤できるというのは、東海道線では平塚駅のみです。このように、海や川や山などの自然に恵まれて、商業施設の利便性も高く、都心への通勤は座って 1 時間という、3 拍子が揃う駅はそれだけでも価値があります。この 3 拍子を活かしながら、子育て世代を継続的に呼び込むことができないと、益々高齢化が加速して衰退していきます。選ばれる平塚市になるには、何が必要なのか。湘南ブランドを求める方々は、藤沢や茅ヶ崎を選択しますが、そこに平塚が湘南をアピールして割って入っていくというのは無理がありません。【男性、50 歳代】
- ・ 商業施設が充実して緑と共存する、アウトレットやららぼーとのように敷地に植栽が充実している施設を望む。建物と織り交ぜて植栽を配置しているのも良さそう。商業施設が多数あるが内容が似ているので内容の異なる商業施設をつくってほしい。市内に住んでいるが平塚駅が遠すぎて不便、もう少し駅が点在してほしい。また JR 線しかないから運転見合わせしていると帰れない。他の線もあると便利。【女性、20 歳代】
- ・ 総合公園は最近トイレもきれいになって、よく利用しています。歩道や、自転車レーンなど、安心して利用できる道路の整備を希望します。小中学校の洋式トイレの整備を希望します。【女性、40 歳代】

- ・ 観光という意味では藤沢や茅ヶ崎に劣るので、良いところのアピールが必要。海周辺をもっと整えるべき(住民との話し合いをしているとは思いますが。)海まで徒歩で出られるレストランや駐車場が少ない。湘南平もがんばってはいるが今ひとつ...人を呼び込むのにはレストランではなく気軽に利用できるカフェ(できれば大手)があると良さそう。自分が利用する時は駐車場とトイレが整っているかも気になります。平塚大好きなので頑張ってもらいたいです!【女性、40 歳代】
- ・ 就労と生活、遊興がひとまとまりになっていて内部の循環がうまくできている市だと思います。外部の流入を増やすならば、交通網と沿線に魅力ある施設(コストコ、IKEA、病院ランド化、湯治、溪流下り、マリレジャーなど)を他市との優位性で変動させながら拡充できれば魅力が高まるように思います。お年寄りの安全や緊急時に備えて、旧道や細い路地の拡張や整備を、空き家などの公有化によって進めていけないか考えて頂きたいです。【女性、40 歳代】
- ・ マンション乱立にある程度の規制や生活環境を守り市の景観にも配慮したまちづくり。【未回答、50 歳代】
- ・ みどりを増やす、環境美化の花を植える等よいと思うのですが、後々の手入れが追いついていないように思います。公園にしても少し手入れが足りないように見えます。10 年後 20 年後に高齢者の労働力を今以上に環境美化に役立ててはどうでしょうか。【女性、60 歳代】
- ・ 街路樹の伐採やみどりの減少を改めてほしい。【女性、70 歳代】
- ・ 駅前商店街があまりにも寂れていて、駅を降りた人が商店街へ流れていくような導線を作るなど、もう少し魅力的なまちにしていってほしいです。【女性、80 歳代】
- ・ 駅周辺の商業地域、郊外の農業地域の活性化。バス便を南北だけでなく東西あるいは巡回するように。【女性、70 歳代】
- ・ 東京に電車一本で行くことができ、温暖で大きな災害もなく、住むにはとてもよい環境だと思っているので、もっと若い世帯が入ってこられるように SNS 等も使ってアピールしてほしい。商店街に活気がない。【女性、60 歳代】
- ・ 自然を利用した観光事業。【男性、40 歳代】
- ・ 平塚市の今ある環境が市民や他の人々の利用により活性化してほしい。駅周辺の商業発展のために駐車場を無料化。市街化調整区域を廃止し自然と森林を活用。【女性、70 歳代】
- ・ 駅前は再開発するのでしょうか。市役所がとてもきれいになり外観をきれいにするまちづくりを行ってほしい。有名な建築家にデザインしてもらおうと観光客が呼べるのではないのでしょうか。また自然をどう活かせるかも大切なテーマと思います、地域の野菜をいつも購入しています。節電をいわれるが今年のような暑さではクーラーを消せませんし、温暖化が心配ですが市の対策はありますか。【女性、40 歳代】
- ・ 環境よりも人口減少のほうが心配。【女性、50 歳代】
- ・ 他市に比べビーチの開発が遅れているように思われる。このまま物流とベッドタウンの市で終わるのか、地の利を活かし、若者を呼び込む努力が必要。特に隣接しとの海辺の遊歩道の接続を。【男性、70 歳代】
- ・ ここのところマンションが増えている、これ以上増えてほしくない。商店街も寂しく、昔より冷たく感じる。個人の住宅の木や草が道まで出ているところが多くあり、安全のためにも対策をするよう促して欲しい。【女性、80 歳代】

- ・ ここ数年の大型商業施設の開発で進んでいった地域がある一方、海沿いの開発がないと感じました。立地や集客条件等はそろっていると感じているので、ビーチパークの再整備や公園駐車場の有料化等があれば栄えていくのかなと思います。砂浜のごみの多さも気になっています。【女性、10 歳代】
- ・ みどりが多く総合公園のような環境の増加と海・山・川の整備。駅前の梅屋やラスカ、南口の発展と再利用。人が暮らしやすい駅やバリアフリー化を早く。バスの本数を増やす、神奈中バスだけでなく他の会社の参入も、藤沢のように江ノ電バスと神奈中バスが走るように。【女性、50 歳代】
- ・ いろいろな年齢の人が集まれる環境を作ってほしい。老人だけの場所でもいい。小動物と触れ合える場所。今後は老人が増えるので。【女性、50 歳代】
- ・ 駅前があまりにも雑でさみしい。海老名市のようなきれいな大型モールを。【男性、80 歳代】
- ・ 空き家の活用、魅力ある店舗、人とのコミュニケーションで、住みよいまちづくり。【女性、60 歳代】
- ・ 現在平塚では使用されていない土地や建物が多く存在しているように思う。市民の人たちが様々な活動に利用できるよう、将来に向けて考えたい。文化的なものだけでなく運動やスポーツを盛んにして平塚から活躍できる人を育てたい。【女性、60 歳代】
- ・ 平塚は地味なまちなので、空間に花を植えていただきたい。できればそのまわりにイスを置いて、年寄り子どもが自由に座り、楽しそうな会話ができると、今よりもっと外に出る機会が増えて、笑顔の子ども、笑顔の年寄の姿が見られると思います。まちの中を人々が行き交う元気なまちを作ってほしいです。【女性、80 歳代】
- ・ ビジネスと環境、行政がうまくリンクしている活気あるまち。【女性、20 歳代】
- ・ 若い家族が住みたいと思う環境を整える。みどりを増やして図書館・博物館をおしゃれできれいにする。歩行者の歩道も整備する。【女性、50 歳代】
- ・ 若い人たちが住みやすい環境づくり。【男性、70 歳代】
- ・ 駅前の活性化、魅力あるまちづくり。街路樹の整備で歩行しやすいように。交通の便をよくすること。【未回答、70 歳代】
- ・ せっかく歴史にかかわる場所があるのだから、それを前面にだしてもっと平塚をアピールしてほしい。【女性、50 歳代】
- ・ 近くに金目川が流れているが、平塚市側はなにも整備されていないで、ほぼ全体で川へ降りることもできないが、上流の秦野市では整備されている。有料のバーベキュー場等を整備してもいいと思います。【男性、50 歳代】
- ・ 平塚駅前に限らず、活気がない。【未回答、70 歳代】
- ・ 日産車体が出て行って税収が減り大変だと思いますが、工場誘致ができるといいですね。環境に配慮はもちろんのことです。小さいうちの環境に対する教養は大切だと思います。まだトンボの飛んでいる姿が見られる環境にあることを大切にしていきたいです。【女性、70 歳代】
- ・ 商業都市の面影がなく買いたいものが買えないので、買い物は茅ヶ崎・辻堂・藤沢・小田原等へ行く、とにかく駅前の整備を。【女性、80 歳代】

- ・ 子供が喜んで住みたい街。カラスなどから衛生面が保たれており、緑が豊かな公園がある街。【男性、30 歳代】
- ・ ドーナツ化が目立つので、海側や駅近くの空き家のリフォームや再開発。逆に駅から離れた場所で空き地や緑地がマンションや住宅時ばかりになっているので、公園の整備や緑地の保護。土手や住宅街の中の狭い道が抜け道に使用され危ないので車が通れないような対応をする。【女性、30 歳代】
- ・ 海岸地域の駐車場の充実。平塚駅駐車場の拡大。駅前商店街の開発。【女性、50 歳代】
- ・ 平塚市は広い。各地区に市民が利用しやすい施設（プール、図書館、文化ホール、公園）の複合施設、全世代の人が集える場所があればよい。また、車社会なので駐車場を完備する。昨今のペットブームで犬猫の糞尿問題、マナーへの取組、罰則の強化、ドッグラン等の設備。防犯のためカメラ、環境設備の設置を、通学路、公園、家などに推奨する。【男性、40 歳代】
- ・ 新しい木を植える、公園をふやす。外灯を増やしてほしい。【女性、20 歳代】
- ・ 野球やサッカーができるような公園がほしい。野原は人の土地だから入れないので、子どもが遊んでもいいように使えるようになると思う。【女性、40 歳代】
- ・ 大型スーパーやホームセンター等はもう十分だと思います。それらを作る場所を子どものための公園や、シニアのための憩いの場にしてください。【女性、70 歳代】
- ・ 例えば平塚市の中心地に樹木葬場を作ってほしい。【男性、80 歳代】
- ・ 将来、平塚市が日本の中で一番きれいになる。木がたくさんあるので、空気も良いと思う。良いところです、大好きです。【女性、20 歳代】
- ・ 現在、旭地区に 50 年以上住んでおり、老夫婦が生活するのに不便や不愉快を感じさせることがない、このような生活環境に大きな変化変更がないことを望んでいます。【男性、90 歳代】
- ・ 住みやすい街づくりにしたい。【男性、40 歳代】
- ・ 全世代が暮らしやすい街になっている。【男性、10 歳代】
- ・ 若い世帯が暮らしやすい街、安心して暮らし、子どもが夢を持てる街作りが大切だと思います。【女性、60 歳代】
- ・ 平塚市に住んでよかった、また住みやすい平塚であってほしいです。【男性、80 歳代】
- ・ 駅ビルまたは駅前に市役所や警察署、総合病院があるとよいと思います。【女性、50 歳代】
- ・ 駅を中心とした商店街の開発を希望します。【女性、60 歳代】
- ・ コストコの誘致。駅前の整備。【女性、70 歳代】
- ・ 電線の地中化。平塚駅北口のムクドリ対策。【女性、60 歳代】
- ・ 山村・自然・農村・食・駅・住を中心としたコンパクトシティ。【女性、80 歳代】
- ・ 未来に向けて子育て家族に向け、温かみのある平塚であってほしい。【男性、60 歳代】
- ・ 金目川でバーベキューをする人の為に安全で子供が遊べるような施設があると地域の活性化にも繋がるのでは。【女性、40 歳代】

- ・ 高齢者住宅を集積する地区を、市が推奨し、自治会などと協議・連携して、コンパクトシティ化を図る。中心商店街の街区など、タワーマンションが増えるのは社会の潮流だとしても、その容積率に見合った分の隣接地などに空地確保を条例化する。温暖化で猛烈な台風なども多い。夏期猛暑対策で、児童の通学の困難な地区へのライドシェアの導入や、一時猛暑待避施設の認定などを検討すべき。(放置すると安易にマイカー個別登校が増えてしまう。)**【男性、60 歳代】**
- ・ デジタル技術導入により自然環境と住みやすさを両立させるインフラの向上。実験的な取組を増やす。**【女性、30 歳代】**
- ・ 40 年ぶりに都内から生まれ育った平塚に戻ってきましたが、住環境はほとんど変わっていないで、発展という意味では取り残されているのを強く感じました。環境保全とともに市の活性化も課題だと思います。**【女性、60 歳代】**
- ・ 平塚市という自治体がどうありたいかを決め、そこに力とお金を注ぎ、一貫性を持たせる。市民が平塚に満足し平塚市民だという事が自慢出来るようにする。活気のある企業の誘致、活気のある街づくり。今ある魅力を生かす。博物館、プラネタリウム、サッカー、海、湘南平を通してファンを増やす。税収をあげる。教育。市民の質をあげる。**【女性、50 歳代】**
- ・ 景観が悪いので、電線等の地中化を進めていただきたい。**【女性、70 歳代】**
- ・ 図書館と博物館の老朽化が目立ちますので、スポーツ施設ばかりでなく文化施設にも力を入れて下さい。**【女性、60 歳代】**
- ・ 平塚市の中心部だけ行わないで岡崎地区等まで普及させてほしい。**【男性、50 歳代】**
- ・ 今ある施設や設備を大事に維持管理していく事に集中して欲しい。空き物件(土地)の民間の誘致はぜひ進めて欲しい。**【男性、40 歳代】**
- ・ 持続可能な開発。新たな開発には必ず環境影響評価を行い、持続可能性を考慮した計画を策定することが重要です。**【男性、10 歳代】**
- ・ 夜の街灯を明るく。**【男性、50 歳代】**
- ・ 都市部の空き家再利用の検討。**【男性、50 歳代】**
- ・ 空き家も増加していて危険なので、何かに転用したり見通しよくしてほしい。**【女性、60 歳代】**
- ・ 厚木駅行きの県道が台風 10 号の時に下水の蓋の格子に砂利が詰まって排水ができなくなりましたので、下水の蓋の掃除をお願いします。**【女性、70 歳代】**
- ・ 駅や商業施設にたむろする若者がいないまちであってほしい。**【女性、30 歳代】**
- ・ 下水の処理、臭いを改善、道路周辺の雑草、七夕の時に国道の雑草が多くて恥ずかしい。地域の子どもから高齢者までが触れ合えるイベント等を増やして交流の場を設ける。**【女性、60 歳代】**
- ・ 歓楽街の縮小。老朽化した店舗の解体。治安が悪いと言われないまち。**【男性、60 歳代】**
- ・ 歩道に雑草がはえていて歩けない人の背丈ほどになっている。田に立ててある白いフェンスはさびて腐っている、歩道をきちんと整備してほしい。**【男性、60 歳代】**
- ・ 治安がよく環境が整っていればよい。**【男性、20 歳代】**
- ・ 富士山に見える景観の維持。コミュニティバスの充実による市内各地や近隣市町へのアクセスの向上。**【男性、50 歳代】**

- ・ 渋田川沿いに住んでいるが、河川の整備をお願いしたい。雑草が成長していてももしも子どもが誤って滑り落ちても見つけられないなと思う。安全面からせめてガードレールの設置が必要。【男性、20 歳代】
- ・ 家の周辺に鳥(鳩、カラス、雀)が多いので駆除してほしいです。【男性、40 歳代】
- ・ 毎年冬になると街路樹の実を目当てにやってくる鳥のフン害をなんとかしてほしい。【男性、50 歳代】
- ・ 廃屋のないきれいな場。【未回答、40 歳代】
- ・ 街が更にきれいになればよい。海も山もあるから暮らしやすい。【女性、30 歳代】
- ・ 水道水がおいしい、安全と感じられる環境になってほしい。【女性、40 歳代】
- ・ きれいな街になって欲しい。【女性、50 歳代】
- ・ 海はサーファーが多すぎて、砂浜で釣りをしたり遊んだりする人が減った印象なので、場所を区切ってほしいです。川は氾濫予防のために仕方ないのかもしれませんが、子供の頃は川岸で釣りをしたり、網で小魚を取ってみたり、水辺に触れ合える場所がありましたが、今は川岸に寄れないのでそれが残念です。また、駐車場が少なく、海へ行くにも駐車場が新港のところに止めるか湘南海岸公園に止めるしかなく、湘南海岸公園の駐車場はサーファーが占領してしまっていて、駐車場で着替えたり、子供の教育上もよくないと思います。早く龍城ヶ丘のプール跡地の整備を行って欲しいです。海岸の方に住んでいる市民は反対している人は少ないのでは？と思います。反対の声があるのも分かっていますが、市民投票などしても良いのではないのでしょうか。川も花畑のところくらいしか駐車場がないので、駐車場がもう少しあれば良いと思います。また、海岸の松林の整備もお願いしたいです。鬱蒼として見通しが悪く、一時期複数人が夜や早朝に居て怖くて近寄れなかったです。【女性、40 歳代】
- ・ 道路のアスファルトをきちんと整備する。【男性、40 歳代】
- ・ 道路の幅を広げる。【男性、90 歳代】
- ・ 道路わきと角の植え込みが人より高いとお互いが見えにくいので事故につながる。【女性、80 歳代】
- ・ 道路がガタガタしている。車イスやシルバーカーでの外出時に難しいところがある。夜暗いところがあり危ない。性犯罪防止のため街灯を増やしてほしい。【女性、40 歳代】
- ・ 歩道のある道路を増やしてほしい。バス便を減らさずに増やしてほしい。【男性、70 歳代】
- ・ 自宅の周りの道路が狭いのに車がよく通ります。もっと道路を広くして老人も歩きやすいまちにしてほしいです。【女性、80 歳代】
- ・ 平塚地の北側の道路の整備拡充や側道の整備を充実させて、人・自転車・自動車の安全の確保を希望します。【女性、50 歳代】
- ・ 平塚は他に比べて道路は整備されているが、自転車が走れる道は危険な道が多い。例えば国道134号下り線は歩道がない、藤沢市から茅ヶ崎市まではあるのに。土沢中学の生徒は狭い県道を自転車で通学しているので危険極まりない。思い切った道路行政をすれば他市にない魅力的な平塚になると思う。【男性、10 歳代】

- ・ 人道と車道が一緒になっている道路がある人道に対して白線で区別してほしい。129 道路沿いの整備ができていなく、いつまでも雑草が茂っているような現象がない時代がきてほしい。外部のまちから通る方々にみっともない。【女性、80 歳代】
- ・ 無電柱化に強く取り組んでほしいです。道路が狭く電柱によってより狭くなり、事故が心配で、実際に事故につながっている可能性もあります。【女性、40 歳代】
- ・ 自転車に安心して乗れる環境になって欲しい。具体的には自転車専用道路の設置、道路の凹凸を減らす、子供への交通ルール教育など。あとは生活用道路で車が速度を出しすぎないように工夫もして欲しい。【男性、20 歳代】
- ・ バス経路の変更を、バスが狭い道に入り、遠回りだったりする。歩道をつなげてほしい、道路ぎりぎりの家は建ててほしくない。【女性、60 歳代】
- ・ 新幹線が停車するような交通機関の選択肢が広がる駅や町作りをして欲しい。交通渋滞の起きやすい一部の幹線道路の整備、細い一般道路等の整備、歩行者の安全を考えた道路整備等道路整備事業を踏まえた上でモール建設などの町全体の構想を考えてもらいたい。【女性、50 歳代】
- ・ 交通インフラの改善とグリーンモビリティの推進。交通インフラの整備も重要です。自転車専用レーンや歩行者専用道路を増やし、車に依存しない移動手段を充実させることで、環境への負荷を減らし、住民の健康促進にも寄与します。電気自動車の普及や、公共交通機関の充実も進めてほしいです。【男性、10 歳代】
- ・ 東海道線しかない、電動化を優先して、リニア等の導入は考えてほしい。【男性、70 歳代】
- ・ 自転車道の整備、安全性とマナーを高め、自転車の町平塚市はどうでしょうか。【男性、80 歳代】
- ・ 自転車道の整備、サイクリングロードの充実。【男性、70 歳代】
- ・ 自転車道を整備。低山が楽しめる自然の山と、キャンプ場や宿泊施設、温泉。【女性、60 歳代】
- ・ 市を縦断する鉄道等がある、交通網が整備され自然豊かなまち。【未回答、未回答】
- ・ 学校周辺の安全歩道の整備、ラインが消えてしまっているところが多いので、至急に取り組んでほしい。交差点など車が不安なところが多い。【女性、60 歳代】
- ・ いなげや付近の歩道など広くして頂きたい。電線を地下に埋め込んでほしい、カラスが車を汚すので。【男性、40 歳代】
- ・ 安全に過ごせる環境。歩道に街路樹を植えてあり、景観は美しいが、車で曲がると視界と重なり、対向車が見えず危険。安全かつ自然をとという簡単から背丈の低い木や花などにしてほしい。【女性、20 歳代】
- ・ 街路樹の剪定をきれいにしてほしい。歩道の整備。【男性、70 歳代】
- ・ 車の免許を返納してから歩くことを優先しているが、とにかく歩道が悪く危険なところが多いので、高齢者でも安心してしっかり歩いて生活できる環境がほしいです。【女性、70 歳代】
- ・ 老いも若きも歩きでも自転車でもバイクでも車でも怖い思いをしない道の整備。地球にやさしいエコなまちを。未来を生きる人にも今を生きる人にも安全な市であってほしいです。【女性、40 歳代】

- ・ 交通がJRしかないのが残念です。【女性、70 歳代】
- ・ 平塚市の交通網は放射的過ぎるので、もっと横の網を強くすべき。【女性、80 歳代】
- ・ 市の中心地より遠いため高齢者が多い当地区では交通手段がもっと便利になるとよい。【女性、70 歳代】
- ・ 車・バスに頼らず路面電車を取り入れて本厚木方面に行けるとよいと思う。平塚駅周辺に駐輪できるところが少なすぎで、もっと駅周辺の商店街に客が集まるまちづくりをしないとゴーストタウンになりそう。すでにシャッター街になりつつあって、セター辺倒ではだめ、ラーメン屋と飲み屋だけになる。【女性、60 歳代】
- ・ コミュニティバスなどの導入希望。【女性、40 歳代】
- ・ コミュニティバス運行を行い、75 歳以上の方、小学生以下の児童は無料で乗れる仕組みを作り、免許返納を促進し、学校への送迎の車を減らす。また自動車産業を呼び込む為の働きかけを行い、モーターシティーとして再び咲く。【男性、50 歳代】
- ・ 車の渋滞によるバスの遅延をどうにかして欲しい。【女性、30 歳代】
- ・ 各地区から市民病院へのバスの新設。各地区の検診を公民館でやってほしい。【男性、70 歳代】
- ・ 自家用車を使わずに市内を移動できるように、バス路線を充実させてほしい。【女性、40 歳代】
- ・ 金目地区の真田に居住しているが、市役所や駅までのバスがなく、バスを利用するには北金目入り口バス停まで行くがバス停に自転車置き場がない。【男性、70 歳代】
- ・ 商業施設(ららぽーと、アウトレット等)への無料送迎バス導入で、自家用車使用を減らし排ガスを減らす。夜間や早朝の神奈中バスの時間を見直して、タクシー利用者の多過ぎを改善。【女性、20 歳代】
- ・ 自転車都市として、サイクリングロードの整備や駅周辺の駐輪場の充実。【男性、50 歳代】
- ・ 車を使用しなくてもいいように路面電車があるといい。【女性、40 歳代】
- ・ 車を持っていない人たちのためにも、平塚駅近くにもっとスーパーや薬局などが増えてほしいと願っています。【女性、70 歳代】
- ・ 路面電車がある市になってほしいです、環境によいからです。【男性、50 歳代】
- ・ 相鉄の延伸。【男性、40 歳代】
- ・ トラムの導入可能性など議論くらいはしても良いと思う。【男性、70 歳代】
- ・ 平塚と厚木の間にもノレールを作ってもらいたい。【男性、60 歳代】
- ・ 災害への備え。【女性、40 歳代】
- ・ 災害に強いまちづくりの実現。【男性、70 歳代】
- ・ 災害対策、避難場所、避難物資の整備を充実させ、安心できる環境とともに歴史やみどりが楽しめる市であってほしい。【女性、60 歳代】
- ・ 災害対策が万全であること。【男性、40 歳代】

- ・ 災害に強く市民みんなが社会での一般的なルールや意識について一段上の秩序をもってほしい。法整備も含め、ある程度の強制力は必要かも、市の指導力がほしい。【男性、50 歳代】
- ・ 災害の発生しやすい地域の保全。みどりと融合した駅周辺(駅ビル含む)の開発。【女性、70 歳代】
- ・ 災害が起きた時の指定避難場所が住居から移動するのに遠かったり低い土地にあり不安。とりあえず近くの安全な場所に避難し落ち着いてから居住地区指定の場所へ移動できるように、また知人家族に分かりやすく考えたい。【女性、70 歳代】
- ・ 災害などがあつた際に安心して住めるような平塚市になってほしいです。一つ一つの意見にあることに取り組んでよりよい環境になってほしいです。【男性、30 歳代】
- ・ 災害への備えと対策、道路の補修維持(ラインが消えていて危険)。まず基本的なことをやってほしい。【未回答、40 歳代】
- ・ 災害に強い市にしてほしい。病院、役所、銀行、駅を回るような路線でコミュニティバスを走らせてほしい。海岸地区は病院に行くにも駅に行ってからで遠回り。【女性、90 歳代】
- ・ 災害時の安全な避難場所が水害にあつた経緯があります。このようなことがないように、事前に低い位置を調べ避難場所を選んでほしい。いつか地震があつた場合にどこにいても避難場所に行けるように矢印の誘導を設置してほしい。【男性、50 歳代】
- ・ 災害に備えている。【男性、60 歳代】
- ・ 災害に対して安心感の高いまちであつてほしい。【女性、40 歳代】
- ・ 災害に強くなるために地下ケーブルに切り替える。【女性、40 歳代】
- ・ 災害時の情報提供、支援がスムーズで地域住民が助けあい、協力しあえる町づくりを強化していてもらいたい。【男性、70 歳代】
- ・ 災害情報を平塚広報等でもっと情報が欲しい。【男性、60 歳代】
- ・ 自然災害やごみ処理問題にも強い平塚市、できることには協力してこの先に残したい。【女性、50 歳代】
- ・ 自然災害がここ数年で増えています。実際に浸水した家庭も身近に多くあります。川の氾濫や南海トラフの地震や津波も心配です。高台や高い建物などの町別の案内などがあると多少安心します。登下校に使われる道路も多く浸水していたので、排水対策を早くしてほしいと思います。【女性、30 歳代】
- ・ 自然災害の被害がでないまち。【女性、60 歳代】
- ・ 河川災害への対策、特に洪水。【男性、70 歳代】
- ・ 自然災害に強いまちになってほしい。【男性、40 歳代】
- ・ 自然災害への備えの必要性で、道路や下水道の検討を。今年の台風 10 号がニュースになるほどの被害状況を見ると、地形の問題もあるが、道路、下水道設備に大きな問題があると思うので今後検討してほしい。【女性、70 歳代】
- ・ 自然災害に強いまちづくり。【女性、80 歳代】

- ・ 自然災害に強い備えができ、安心して暮らせる平塚市であってほしい。里山、川、道路、海などの整備。【男性、50 歳代】
- ・ 自然災害に対して強いまちになっている。【男性、70 歳代】
- ・ 自然災害の被害を少なくするための活動に注力してほしい。【女性、40 歳代】
- ・ 自然災害に被災した地域に迅速な対応を。高齢者も活用できる無人バスのようなものが多くできればと思います。【男性、50 歳代】
- ・ 自然災害(特に津波)についての対策が進んでいる街。他の市の人が見ると、「平塚イコール治安が悪い」というイメージがある、改善してほしい。【男性、30 歳代】
- ・ 自然災害の恐れが少なく、安全に暮らせる街作りをしていけたらと思います。【男性、40 歳代】
- ・ 自然災害が起きても安心できる環境。今回の台風で浸水した地域対策、川の氾濫対策。【女性、30 歳代】
- ・ 自然災害に対する対策を充実して欲しい。津波や河川の氾濫には非常に不安を感じる。【男性、50 歳代】
- ・ 地域柄水災害リスクは避けられないが、有事の際の避難場所・手段が周知され安心して生活できる環境。【女性、30 歳代】
- ・ 台風等の災害が起こっても安心して住める街であること。先日の台風でもニュースで平塚市の冠水が取り上げられており、職場や友人に心配されました。他の街からの転入、街のイメージダウンにもつながるので、特に川の近くの対策を優先度高く取り組んでもらえたらと思います。【女性、30 歳代】
- ・ 現在、自然災害が予想の上を行っているので、それを見越した対策、計画を行い、安心安全に住めるまちにしてほしい。【女性、50 歳代】
- ・ 近年、自然災害が多いので、津波対策、河川氾濫対策を積極的にやっていただき、安心して住める市になることを期待しています。【女性、30 歳代】
- ・ 頻発する自然災害への備えをしっかりしてほしい。【未回答、40 歳代】
- ・ 気候変動による災害が多発する中、特に大雨による浸水への対策が急務だと思う。【女性、70 歳代】
- ・ 地震や津波への対策を。【女性、70 歳代】
- ・ 地震対策、自然災害対策等への予算計上をお願いします。【男性、80 歳代】
- ・ 環境はもちろん、防災、交通の面からも電線の地中化を推進すべきです。加えて品位ある色彩の広告、看板、のぼりなど市の規制の指導を切望します。10 年後では遅すぎます。【男性、80 歳代】
- ・ 海に近く、関東大震災の震源にも近いので、災害に強い町になってほしい。電柱の地下化、大地震・津波への対策、周知、防災用品の補助など(世田谷区は、防災用品のカatalogギフトがあるそうです)。ベビーカーユーザーにはバスを使用するハードルが高いため、ベビーカーでも乗り降りしやすいバスがあればいいと思う。【女性、20 歳代】
- ・ 暮らしやすい環境(防犯、騒音、災害対応)、不便よりも暮らしやすさを望みます。【女性、80 歳代】

- ・ 海岸の整備、防砂林を守る。自然災害に対応するため、消防分団の訓練に火消しだけではなく訓練を導入する。【男性、50 歳代】
- ・ 今重要なことは温暖化による自然災害への対策です。各河川の増水対策、下水の冠水対策等を、予算の優先度をあげて取り組むべきです。【男性、60 歳代】
- ・ 大人も子どもも住みやすい環境。自然災害の不安がない。【女性、20 歳代】
- ・ 子どもたちにとって安全であること。自然災害対策。【女性、40 歳代】
- ・ 住みやすい街づくりを目指してほしい。台風の影響で土砂災害、川が氾濫したり、氾濫していないところでも床上浸水など水害の被害が多かった。現場検査をしてすぐにでも対策を検討してほしい。【女性、50 歳代】
- ・ 自然環境と市街地の調和のとれたまちになってほしい。気候変動や災害のリスクが高まる中、地域の安全安心な生活を保護してほしい。そのために行政と地域が連携し特産品のブランド化等に力を入れていけるとよい。【女性、50 歳代】
- ・ 山、川、海など自然がたくさんあるまちなので、自然を守りつつ自然災害対策をしっかりと安心して暮らせるようにしてほしい。河内川の再整備をして、川の整備はしっかりとしてほしい。【女性、30 歳代】
- ・ オーストラリアで見たのですが、公園の常設されているバーベキュー台を災害時にも活用できるようにする、使用する人のモラルなど教育も必要。ペットの排泄を考えた商店街のつくり(アーケードの柱が痛んでいるので)。【女性、60 歳代】
- ・ 公園が多く道路(車道)が整備されたまち、渋滞は大気汚染につながる。災害に強いまち。【女性、40 歳代】
- ・ 道路が狭く自動車でも自転車でも徒歩でも利用しづらいと思います。道路整備をすることで災害にも強い平塚にしていきたいです。【女性、50 歳代】
- ・ 一部地域のみ完了している、電線の埋め込みを全市にわたって実施してほしいです。最近では災害も多くなっています。台風が来た際の被害も少なくなるだろうし、何より景観がいい！良い景色も電線に遮られてがっかりしてしまいます。南側だけでなく、すべての地域に実施してほしいです。【女性、40 歳代】
- ・ ららぽーとやアウトレットは地域住民の生活を支える買い物場とはいえませんが、どちらかを相模川の氾濫など災害に備えた避難所的な施設にして欲しかったです。旧相模小学校も学校移転後、そのまま放置された状況ですが、耐震強化や立て直しするなどして、そういった場所にすることはできないでしょうか？【女性、50 歳代】
- ・ 海と山の両方を持っている平塚市なので、まち全体が豊かになってほしい。ここ最近、雨の影響で家の目の前まで水が入りそうな状況を目にしたので、自然災害に対する情報を市全体に共有していただきたいです。【女性、20 歳代】
- ・ 水害対策などをお願いしたい。【男性、60 歳代】
- ・ 水害に強い平塚になってほしい。浸水で財産を失うのが怖い。市が主体で行う活動として、治水など。市民が主体で行う活動として、市の呼びかけで排水溝、側溝、ドブの清掃など。【男性、30 歳代】
- ・ 近年被害が心配される、金目川や道路、水道管の整備を進めて、温暖化による台風の被害が拡大しないように優先順位をつけて行ってほしい。【女性、80 歳代】

- ・ 私の地区は水害を受けやすく、避難所の学校回りが水に浸かり避難できないので、この先が心配です。私の地区はカメムシが夏の終わりから冬まで大量発生し環境にはよくないと思います。【女性、60 歳代】
- ・ 豪雨による水害が増えていて、大雨が降ると河川が氾濫しないかいつも不安です。またあちこちで冠水してしまい動けなくなってしまうので、困りました。【女性、50 歳代】
- ・ 台風による浸水被害がなくなるように、地下神殿を作る。【男性、70 歳代】
- ・ 地震による津波被害や豪雨による洪水被害などが想定される平塚市ですが、対策が取られ、被害が発生した場合の行政の対応が市民に理解が進み安心して暮らせる街になっていて欲しいです。【男性、60 歳代】
- ・ 台風や地球温暖化で水害や土砂崩れが多くなっているの、特に被害があった地域や周辺の整備が必要と思います。【男性、70 歳代】
- ・ 異常気象に対する、特に水害について、環境対策の強化を迅速に進めてほしい。文化スポーツの分野での設備の新設や活動の推進。【女性、50 歳代】
- ・ ここ数年、金目川水系で砂利採取がみられるが、水害のない平塚市環境整備を。金目川サイクリングロード環境整備など。【男性、50 歳代】
- ・ 地産地消が実現されていて良いまちだと思います。冠水や土砂崩れによる被害の最小化に予算をうまく使っていただきたいと思います。【女性、60 歳代】
- ・ 安全として、犯罪がない治安のよい環境。安心として、地震・津波・台風・水害等に対する備えのある環境。便利として、平塚市はここがよくて他へ移住できないなど思える環境に、例えばマンションのように 24 時間ごみ出しできるようにするとか。【未回答、未回答】
- ・ 変わらず自然豊かで市民が暮らしやすいまちであってほしい。先日の大雨で平塚のいたるところで冠水被害があり、家の前も冠水し不安を覚えました。大雨時の対策をしてほしい。また避難指示なども見直してほしい。【女性、30 歳代】
- ・ 平塚市は全とは言わないが台風等の大雨に脆弱だと思う。下水道等のキャパシティが少ないのか詳しくは分からないが 3 年前の台風の時の被害と同じ場所が冠水している。特に公民館や学校が冠水してしまうと地域活動の大きな妨げになる。富士見公民館が冠水。富士見小学校の体育館が冠水して 11 月いっぱい使用不可。原因と対策をきちんとやって欲しい。【男性、60 歳代】
- ・ 冠水がない。道路が整備されている。【女性、80 歳代】
- ・ 洪水や内水氾濫を起こさない治水対策。避難所までの経路の浸水対策と避難場所の快適化。【女性、70 歳代】
- ・ 大雨の冠水対策。【女性、40 歳代】
- ・ 先日近所が水没していたのでゲリラ豪雨に備え排水路の確保。【女性、50 歳代】
- ・ 道路も豪雨で水はけが悪く改善されない。津波対策も具体的に示してほしい。【男性、50 歳代】
- ・ 台風や線状降水帯で金目川が氾濫すると家に水が入ってくる場所です。土手が安全か点検整備を早急にお願いします。【女性、70 歳代】

- ・ 先日の台風、集中豪雨で近所が冠水しました。河川の氾濫も不安です。氾濫をできるだけ防ぐ対策をお願いします。【女性、50 歳代】
- ・ 今年、8 月末の台風で家の前が浸水したので、台風対策をお願いします。【女性、20 歳代】
- ・ 金目川、鈴川の中腹に住んでいます。大雨洪水台風がとても心配です。【男性、80 歳代】
- ・ 気候変動で数年で変化が大きく日常の生活をビクビクしながらおくる状態は不安です。生涯安心して過ごしていけるよう、まず身近な上下水道の整備や浸水の不安から救ってほしい。【女性、60 歳代】
- ・ 川が氾濫しない都市。【男性、50 歳代】
- ・ 河川の整備、大雨が降ると川が氾濫し、道路が使えなく、家の近くで 2 回も氾濫し、大変なことになってます、川幅を広げるか？川の深さを取るかしてもらわないと、また、氾濫しかねません、なんとかしてください(平塚市中沢橋の交差点)。【男性、50 歳代】
- ・ 相模川の氾濫を防ぐよう整備を怠らないようにしてもらいたい。【女性、50 歳代】
- ・ 総合的に考えて「安心して住める平塚市」であってほしい。【女性、60 歳代】
- ・ 地震対策を進めてほしい。【男性、50 歳代】
- ・ 台風の時などの放送が聞こえづらいので聞きやすいようにしてほしい。【女性、10 歳代】
- ・ 公園等に井戸を作ってほしい。【女性、80 歳代】
- ・ 大地震に備えて避難塔を建ててほしい。【女性、60 歳代】
- ・ 大地震等に備えて環境整備や備えを重点的にやって欲しい。【女性、50 歳代】
- ・ 猛暑・局地的豪雨等、変わりゆく自然環境に対する対策を進めて下さい。【男性、40 歳代】
- ・ 東南海地震、津波対策が進んでいること。【男性、70 歳代】
- ・ 空き家対策。地震対策。【男性、70 歳代】
- ・ 年々猛暑が増えて外出できなくなるので、市内随所にミストを設置し、また、設置事業者に補助金をお願いしたいです。花粉症対策にも取り組んでほしいです。【男性、40 歳代】
- ・ 土地所有者の木や植木等の道路へのはみ出しについて指導し、じゃまにならないようにしてほしい。台風のとくに危険で、所有者でなくともその場で伐採できるようにしてほしい。【女性、60 歳代】

地球環境関連

- ・ 脱炭素、温暖化対策と自然災害対策をしっかりと取り組んでほしい。【男性、50 歳代】
- ・ 脱炭素社会の実現。【女性、60 歳代】
- ・ 脱炭素を国が掲げて何年もたつのに、電気自動車充電設備等は増えない。太陽光発電もマストではないので増えるとは思えない。【男性、50 歳代】
- ・ 脱炭素、省エネ化が進み、安全な未来が来てほしい。農地が守られ緑が広がり、自然環境が残り、10 年 20 年先の子もたちが心豊かに生活できる平塚市であってほしい。【女性、70 歳代】

- ・ 持続可能なエネルギー利用。環境負荷を減らすために、再生可能エネルギーの利用を促進することが必要です。太陽光や風力エネルギーを地域で利用できるようなインフラ整備を進め、地域全体でエネルギー自給率を高めることが望ましいです。これにより、地球温暖化の防止に貢献しつつ、エネルギーの安定供給も確保できます。【男性、10 歳代】
- ・ 科学が利権に負けた、カーボンニュートラル、EV、太陽光発電は全て利権です。グローバリストが決めたことをなんでやるのですか。CO2 が 10 倍になっても問題ないでしょう。【男性、50 歳代】
- ・ 地球温暖化による気候変動に対応できるまちづくり。【男性、50 歳代】
- ・ 短期的な経済政策や生活の快適性ばかりでなく、次世代市民の地域・生活環境整備のため、環境保全、温暖化抑制に資する経済活動やライフスタイルの啓発普及を目指すような政策が早期に必要な。【男性、70 歳代】
- ・ 一概に太陽光や EV がいいというわけではないと思います。是々非々で市民に正しい知識を普及させてほしいと願います。【男性、30 歳代】
- ・ 地球温暖化を食い止めるよう一人一人がもっとできることを努力し、水害など被害をなくし、安心して暮らせるようにしていきたい。【女性、60 歳代】
- ・ カーボンニュートラルに積極的に取り組む市であってほしい。特にバスなどの EV 化や無人運転の実現やみどりあふれるまちづくり。公共交通機関の充実が乗用車、バイク、利用減につながるから。みどりや花にあふれていれば環境意識 UP につながると、汚すものが減り自発的にきれいにするようになる。【男性、30 歳代】
- ・ 公共の施設、ショッピングモール、学校のエネルギーを太陽光パネル等で自給できているとよいと思います。【女性、70 歳代】
- ・ エネルギー対策を公共の場でも各家庭でも導入しやすい環境をつくってほしいです。【女性、50 歳代】
- ・ 集合住宅への EV 充電設備等普及を促すための補助金等増額により、省エネを推進するとともに、運送業者・バス会社に対し EV 普及の施策を展開し、空気にきれいなまちづくりをしてほしい。【男性、60 歳代】
- ・ 太陽光発電を利用。【男性、50 歳代】
- ・ 省エネ化するための補助金が少ない。【男性、60 歳代】
- ・ 照明を LED に替える。【女性、60 歳代】
- ・ 平坦な地形のこの地は、車での移動ではなく CO2 を排出しない移動手段を考える、また道路を整備して渋滞がないようにする。エネルギーや防災では太陽光発電やエネファーム、蓄電システムの導入にあたり補助金を多くする。【女性、60 歳代】
- ・ ごみの量が少なくなるとよい。リフォーム等で太陽光発電やエネファーム等を導入したら補助金など出してほしい。【女性、50 歳代】

- ・ 住宅の断熱改修リフォームを行った世帯への固定資産税の減免を検討すべき。住宅の断熱改修が(その断熱効果や住宅の気密性維持において)改修後有効に機能しているか、(例えば災害等被災後でも)その機能を維持できているかを、市や関係事業者が測定し、認証する仕組みを作る。LPガス向けの家庭用燃料電池コージェネレーション設備にいいのがないので、市が事業者へ製品開発を求める。市内事業者の環境への先進的な取り組みをアピールする場所があると良い。【男性、60 歳代】
- ・ 再生エネルギー源を利用した都市作りを進め、街全体が自然と調和がとれた街にしたい。海、山、川と都市部が一体なった街で、循環型の街。ごみを燃やしたエネルギー資源と太陽光発電、海岸の風力発電等を生かした街。山と川の再生化、植林と魚の放流で自然環境整備の推進を進めて行きたい。都市部の空き家再利用の検討。また、農地の再利用(荒地)の検討をお願いします。【男性、50 歳代】
- ・ 地球レベルでの気候変動にどう対処していくかも今後の課題として市政に取り組んでほしいと思います。【男性、50 歳代】
- ・ 燃料電池や電気自動車は費用対効果が見えない(環境面及び経済面の双方)。【男性、30 歳代】
- ・ 国と連携し、本当に「環境にやさしい」政策を実行してほしいと思います。EV は本当にエコですか、太陽光パネルは環境にやさしいですか、レジ袋の有料化は必要ですか、疑問に思っている市民は多いと思います。一部の国や人が儲かるような改革は改革したいを真剣に吟味すべきです。【男性、60 歳代】
- ・ ビン、缶などを月 2 回しか捨てるタイミングがないのをどうにかしてほしい。せめて週 1 にしてほしい。【女性、30 歳代】
- ・ プラごみの仕分けを細かく表示してほしい、普通ごみと迷うことが多いので。【女性、80 歳代】
- ・ ごみ袋有料化など、少々お金がかかってもよいので環境にやさしいまちづくりを目指してほしい。【女性、40 歳代】
- ・ 10 年後には 84 歳になります。ごみの搬出方法が心配です。年寄夫婦 2 人のため、遠くの集積所に持ち込むのが困難になりますので、ぜひ戸別収集を早急に実施してください。【女性、70 歳代】
- ・ わが地域でもごみの戸別収集が始まりますが、きちんとごみを出す責任と、ごみを集積所まで運んでいくときの近隣の方とのコミュニケーションがなくなるのがとても寂しい。【女性、50 歳代】
- ・ 資源ごみの日に、現在は自治会の当番制になっていて年に 1~2 回まわってきますが、周りを見ると高齢の方が多くなり、年々厳しいものがありますので、この制度を廃止してほしいと思います。【女性、60 歳代】
- ・ ごみ分別について、可燃ごみとプラの区分で行われているが、可燃ごみとプラを一緒にしたらどれだけ助かるか。プラと可燃ごみを一緒に焼却すればごみが燃えやすくなり一石二鳥だと思います。【男性、80 歳代】
- ・ ごみの分別表を平塚に住んでいる外国人にも伝わるよう、英語や中国語などでも表記すべき。ごみ集積所が荒れていることが多い。カラスが散らかすのは仕方がないが、人は曜日や時間等を守っていくべきである。【女性、20 歳代】

- ・ ごみの分別が難しい事がある、かなり気を使っているが、今より詳細な分別を明記して欲しい。【女性、50 歳代】
- ・ ごみをきちんと分別したり、回収日以外にはごみを出さない市になってもらいたい。【女性、60 歳代】
- ・ ごみに関してはもう分別など昔から行われていると思われ、生活に定着しているように感じるので、継続していけば良いのかなと思います。【女性、40 歳代】
- ・ リサイクル電池、小型家電、ボタン電池の廃棄方法がわかりにくいので周知徹底。乾電池を廃棄するためのカゴがないので各集積場に配置。ごみ集積場を増やす。【女性、50 歳代】
- ・ 今後のごみの個別回収に期待します。海がもう少しキレイだと良いと思うので海でのライブやイベントなどをかねて掃除の企画など。【女性、40 歳代】
- ・ 水、化石資源保全のために、プラごみ分別を止める。プラごみを燃やす方向へ転換する。さすればごみ焼却の燃料費を抑えられ、水も無駄に使わず、時間と労力が抑えられる。【男性、50 歳代】
- ・ リサイクルプラザの利用方法。【女性、40 歳代】
- ・ きれいで住みやすいまちづくりのために、ごみの不法投棄(収集日外ごみ出し、未分別等)の撲滅。【女性、70 歳代】
- ・ 集合住宅においてはごみ出しルールが守れない人が多数いるので、管理会社が徹底したほうがよい。【女性、50 歳代】
- ・ 老人や社会的弱者のごみ出し問題について、互いに助けられる仕組みの整備。【女性、60 歳代】
- ・ 食品ロスやごみ収集の効率化のために生ごみ処理機の補助金制度を再開してほしい。【女性、20 歳代】
- ・ ごみのさらなる削減、ごみが出ない社会づくり。【男性、40 歳代】
- ・ ごみの捨て方について、ポイ捨てがなくなるようになればいい。【女性、60 歳代】
- ・ ごみ集積所のルールを守らない人が多数いる。決められた日以外に出したり集積所の周りにごみを煩雑に散らかすため、大変に迷惑している。結局は自治会役員の負担である。【女性、50 歳代】
- ・ 曜日と時間を守らず居住する地域以外のごみ集積所に、一部の人が出しているため、環境的にも悪く、そのための経費がかかるため、防犯カメラを設置してほしい。【男性、70 歳代】
- ・ ごみ集積所の荒れ放題に対して罰則を講じる。【男性、50 歳代】
- ・ ごみ捨ての曜日や場所、内容を守るようにならないものではないでしょうか。【女性、60 歳代】
- ・ 以前住んでいた市に比べ、ごみ捨て場が汚いのが気になります。街の景観にも影響を及ぼすと思われるので、より綺麗な街を目指して行ってほしい。【男性、30 歳代】
- ・ 先日不燃ごみの持ち去りを見ました。まだまだ目が行き届かない場所にはこんな日常があるのだなと日頃思っています。ごみのステーションもまだまだ汚れています。こういった目につきやすい場所からまずは意識を高めに個々が解決できたらわかりやすい綺麗な街になるとは思います。【男性、30 歳代】

- ・ ごみ、カラス問題の解消。【女性、40 歳代】
- ・ ごみ集積所にカラスが多いのでごみ散乱の解消を。【女性、70 歳代】
- ・ ごみの散乱や空き家のないまち。【男性、60 歳代】
- ・ まちにごみが散乱していないこと、常時人が管理できる場にごみ箱を設置する。【男性、60 歳代】
- ・ カラスによるごみの散乱、道路のポイ捨てなどがいまだに改善されていないので、環境によいまちづくりに協力していきたい。最近はアウトレット等ができて住みやすいまちにはなったけど、根本的なことが解決されていないと感じる。皆が環境に配慮し昔から住んでいる人も新しく平塚市に住む人にとっても、落ち着いて暮らせるまちであってほしいと思います。まずはごみの分別や節電などの小さなことから。【女性、20 歳代】
- ・ 不法投棄撲滅のため家庭から出る 産廃の処理の仕方の明確化。バッテリーや 石膏ボード 等。使徒 提携した 産廃業者の紹介 価格の明確化。捨てられない ごみをなくす。緑化促進に伴う 庭木 剪定ごみの 無料廃棄。【男性、40 歳代】
- ・ ごみの不法投棄がなくきれいで住みやすいまちがよい。駅西口の治安が必要だと考える。【女性、20 歳代】
- ・ 市内においても不法投棄のような場所が目につくことがあります。事業系ごみの置き場や町中の空間等、町中では特にごみ箱を減らすのではなく、不法投棄をさせない、ごみ箱の設置や市のごみ処理場の案内の充実が必要かと思います。【男性、50 歳代】
- ・ ごみ捨て場に年中不法投棄のようなごみがなにかしら置かれています、道路がごみ置き場のようになっています。ごみがない日がありません。特別になにかというよりごみの置いていない普通にきれいな道路で住みやすい景観のまちであるといいと思います。かざりたてる前にごみをなんとかしてほしい。【男性、60 歳代】
- ・ 川辺が美しく、水害に強くあってほしい。ごみ投棄の場所であってほしくない。【女性、60 歳代】
- ・ ごみ集積所に防犯カメラを設置してください。不法投棄が多い。【女性、70 歳代】
- ・ 他の市の人から見て魅力ある平塚市であってほしい。いたるところで不法投棄が目立つのでパトロールや通報手段等で周知徹底して、いつまでもきれいなまちづくりが重要と思われれます。【男性、50 歳代】
- ・ 人が多く集まる場でのごみ捨てマナーの意識が高くなって欲しい。海、川、農地、山にごみや不法投棄のない環境。【女性、30 歳代】
- ・ 環境も大事ですが、なによりも人が大事だと思うので人が住みやすい街になって欲しい。現状、粗大ごみの受付が電話なので、WEB 受付にして欲しい。そうすれば、ごみステーションの不法投棄が少なくなると思う。粗大ごみの料金も、オンライン決済などにして欲しい。【女性、30 歳代】
- ・ ポイ捨てが多すぎ、地域ごとのごみ集積所が汚すぎで、子どもへの環境学習の徹底。エネルギー対策の設備導入は未だ先でよい、まずは身近をきれいに。【女性、50 歳代】
- ・ ポイ捨てしづらいまちづくり、ごみがないまちにする。環境美化に力を入れる。【男性、60 歳代】
- ・ 相変わらずポイ捨て等が散見されるのでその改善検討と実施も行っていただきたい。【男性、60 歳代】

- ・ ごみ、タバコのポイ捨てをなくす。【男性、70 歳代】
- ・ 現在は道のいたるところにポイ捨てが目立ちます。また犬のフンをそのままにして散歩される方も多く見られます。非常に民度が低く恥ずかしいと思います。まずは住む環境がクリーンな場所であってほしいです。定期的な清掃、啓蒙が必要です。【女性、40 歳代】
- ・ まち全体が美化されていること。特にタバコのポイ捨てをなくしたい。環境についてもポイント制度を設ける。【男性、40 歳代】
- ・ 砂浜のごみ等が目立つ気がするので、一定距離でゴミ箱を設置するなどポイ捨て対策があれば良いと感じました。【女性、20 歳代】
- ・ 金目川河口海岸のごみ対策を、台風・大雨により川からごみがたくさん海に流れてきます。ポイ捨て等一人一人の自覚、関心を高くしてほしい。【女性、70 歳代】
- ・ ごみの落ちていない街。今は歩くたびにごみが墮ちているのを目にするので、ごみを拾って集めたことはあるが、その後の分別(汚れた空缶やペットボトルなど)がよく分からずに困った。【女性、40 歳代】
- ・ ごみが落ちていない、雑草がない、きれいな川。【女性、60 歳代】
- ・ 放置ごみのない、家々が季節の花で飾られたまちなみ。PIRIKA というごみ拾いアプリで日々楽しんでいます、市の取組にもご検討ください。駅の一般乗降場はこの管理でしょうか、いつもごみだらけで市の玄関口として恥ずかしいです。【男性、60 歳代】
- ・ きれいなまち。【男性、50 歳代】
- ・ ごみが落ちていないまち。ごみの収集日をきちんと守る。粗大ごみはきちんと市に連絡してとりにきてもらうことを守るように。【女性、80 歳代】
- ・ 金目川でのバーベキューをする人の規制。有料でゴミ袋をくばる、記名制にするなど。【女性、40 歳代】
- ・ 川でのバーベキューはごみを持ち帰るか、やらないでほしい。【女性、40 歳代】
- ・ 廃棄されやすい場所へのパトロール。【女性、70 歳代】
- ・ もう少し川の水質などがよくなってくれればいいなと思います。みんなでごみ拾いを。【女性、10 歳代】
- ・ ごみのない平塚。【女性、60 歳代】

環境保全活動関連

- ・ 子どもが小さいうちから遊びの中に環境問題に関することを取り入れて、幼稚園などでやっているといいなと思います。先生から言われたことは親にすぐ話してくれていました。【女性、50 歳代】
- ・ 子育てをしやすい環境であってほしい。空気、川、水、みどりが保たれていることや、子どもが安心して住める環境美化や学校の美化、学童保育の充実等を行ってほしい。【女性、40 歳代】

- ・ 子どもにとって住みやすい状態であってほしいと思います。平塚市は公園や児童館、七夕祭り等子どもにとって住みやすい環境だと思っています。その環境を今後も守り続けていくとともに、県外の方々に平塚市の良さを SNS 等を通じて発信していくことが重要だと思います。【男性、20 歳代】
- ・ 子どもが大きくなった時に安心して住みやすい環境であってほしい。学校などでの環境に対するイベント等を多く開催してほしい。【女性、30 歳代】
- ・ 子どものころから教育し自然に生活の中で環境に気付ける行動ができるとういですが。人を思いやり助け合えることも、自然に家庭からできるとよいですが。【女性、70 歳代】
- ・ 子どもの教育で教科書の改訂体験、食育を行う。【女性、70 歳代】
- ・ 人と自然が共生する社会。幼少期からの環境教育の実施、今だけではなく次世代への影響の大きさを理解させる。【女性、90 歳代】
- ・ 自然と触れ合える場所は、私が小学生の頃から変わらずにたくさんあるので、小学校での授業内容として学校の外の自然と触れ合う時間を確保するのも、平塚市を知ってもらう良い機会になると考えます。【男性、20 歳代】
- ・ 海・山・川がある自然豊かな市なので、身近な環境を守るための教育を小さいうちから取り入れていくことが大切だと思います。そしてその成果がわかるとよいと思います。【女性、50 歳代】
- ・ 親や子ども、教育機関など、地域のコミュニティの交流の中で当たり前のように環境活動に取り組めるようなイベントがあると良いまちづくりにつながると思います。【男性、30 歳代】
- ・ 若い人や子どもたちが安心して夢を持てるような市になっていくこと。【男性、80 歳代】
- ・ 教育プログラム。子どもたちや若者に対する環境教育を強化し、未来のリーダーたちが環境保護に対する意識を持つよう支援してほしいです。これらの取り組みを通じて、平塚市が持続可能で、自然と都市が調和した魅力的な街として発展していくことを願っています。【男性、10 歳代】
- ・ 私はもういないと思いますが、子どもの将来は環境のよい平塚市であってほしいと思っています。【女性、60 歳代】
- ・ 大人の意識を変えるのは難しい。子どもたちに小さいうちから意識付けするほうが 10 年 20 年後の変化が期待できる。【女性、40 歳代】
- ・ 農業と食育、地産地消を取り入れた子どもたちをも巻き込んだ活動ができる市。【女性、30 歳代】
- ・ 自然公園などを増やす、農業体験を増やすなど、子育て支援を充実する。【男性、20 歳代】
- ・ 意識付け、動機付け、仕組づくりの 3 つを、若い人や子どもを中心にバランスよく実施。身近なモデルケースがあることが大事、規模は小さくてよいが常に更新発信されていること。【男性、50 歳代】
- ・ 平和であってほしいと思います。近くにある小学校の子どもたちの声を聴いているとそう考えます。【女性、70 歳代】

- ・ 自然エネルギー社会となり、空気や水がきれいで、リサイクルやリユースが進み、田畑があり、鳥のさえずりや虫の音が聴かれ、子どもたちが外で思いっきり遊び自然と触れ合える環境になっていることを望みます。その為には、大人たちの意識を変えることが大事だと思います。学校でいくら環境について勉強しても、大人が率先しなければ子どもたちは後に続かないと思います。市には情報の発信や補助(今行われている事業や補助も含めて分かりやすく!)、忖度無しで環境改善への取り組みをお願いしたいです。【女性、50 歳代】
- ・ 日常的に考えることではないので頭を悩ませましたが、今あるものを守ることすら難しいと思うので、環境が大きく変わらないような手助けをしたいと思いました。10 年 20 年後を担う子どもたちにもこのことについて考えてもらえたらもっと自由に鮮やかなアイデアが出てくるのではと思います。物心ついてからでは遅く感じます。【女性、40 歳代】
- ・ 地域コミュニティの強化。平塚市はコミュニティの力が強い地域です。将来も住民同士が支え合い、地域社会を強化する取り組みが続くことを期待しています。例えば、地域の環境保全活動や、子どもたちへの環境教育の場を増やし、次世代への意識を高めることが重要です。【男性、10 歳代】
- ・ 記念品などの「物」は、今の時代欲しい人は少なく(特に若い人は好みがはっきりしている)、環境意識を高めるには効果が低いのではと思う。環境保全のための活動がごみを増やしてしまうなら本末転倒である。小さなお子さんがいる場合はなにか参加できるイベントを探している場合が多くみられ、イベントを開催すると参加率が高いのではと思う。その場合これからの時代を担う子ども世代と保護者を一度に啓蒙できるのではと思う。また最近の子どもは学校で環境問題を学んでいて、親が家庭で子どもに注意されることも多いと聞く(電気の無駄遣いなどで)。子どもをターゲットにした活動も良いと思う。イベントを行う際には、セミナーなどを聞きに来る方々はすでに意識の高い方が多いであろう。自分ではそのような場に足を運ばない人に話を聞いてもらうには、職場や学校などのより小さい単位にリーチアウトするのはとても良い手段だと思う。その方がセミナーのように一方的に話を聞くだけよりも、自分のこととして身近に問題を受け止められるとも思う。防災訓練や AED 講習会などと組み合わせて環境勉強会みたいなものが職場で行われたら理想的。【女性、40 歳代】
- ・ 現在介護の為に両親の実家に娘と共に暮らしています。私の幼少期には身近に田畑が沢山あり、自然と触れ合いながら暮らしていました。そして現在、小学校高学年の娘は 3 歳の頃に静岡県からの平塚に引っ越してきてからは周囲が宅地ばかりの環境とコロナ禍で自然の中で過ごす機会がとて最少なく、屋内で過ごすことの方が好きな子どもになってしまいました。娘が子育てをする未来の平塚では、誰もが環境に配慮したライフスタイルを熟知できるような啓蒙活動が活発になり、市民全員が大地のめぐみを感じながら暮らすことができるような市政が推進されていくことを望んでいます。【女性、50 歳代】
- ・ 市民一人ひとりの意識と行動を高めるには、まず情報発信をしてほしいです。どんなことをすればいいのか、どんなことが役に立つのか、市民全員が一つでも行動できるように。【女性、50 歳代】
- ・ 市民の生活の中に無理なく自然な形で生活環境や自然環境を保全、良化させる制度が組み込まれている。市民一人ひとりが意識的に生活環境や自然環境を保全、良化させる行動を取れるような意識改革が成されている。【男性、20 歳代】
- ・ 市民一人一人が意識を持って生活できて住み良い場所になってほしい。できる提案については協力したい。【女性、60 歳代】
- ・ 市民参加の促進。市民が積極的に参加できるワークショップや意見交換の場を増やし、住民の意見を取り入れることで、より良い街づくりを実現してほしいです。【男性、10 歳代】

- ・ 市民一人一人の環境保全意識が高く、環境配慮リテラシーの高い社会。【女性、30 歳代】
- ・ 街づくりに市民が参画できる・参画したいと思えるまち。街で住み、働き、遊び、学ぶ人間の目線から、合点のいく街づくり。市民が木を切らないで欲しいと訴えたにも関わらず、説得力のない「経済効果」を理由に砂防林を分断する工事を押し切った市政は、市民の頼を裏切る行為だと認識しています。【未回答、30 歳代】
- ・ 住んでいて不快感を感じない環境で生活したい。市民の意識向上が第一。【男性、60 歳代】
- ・ 近年、環境変化により平塚市の災害被害が急増しています。市役所の皆様には公民館避難所の開設などありがとうございます。食べ物や飲み物の調達、アイデア等、市民一人一人が学習する必要があると思います。そのために農業体験的な、自身が自力で調達する力が必要だと思います。平塚は土地が豊富にありますので安価な農地等があればやってみたいと思います。【未回答、未回答】
- ・ トレンドのカーボンニュートラル社会実現のために企業と平塚市が強く連携してください。他の市町村に出来ているのに、平塚市に出来ていないことはありませんか？広い視野をもって、利用できるものを利用して、出来ることから取り組んで、着実に水準を高めることで、市民へと還元してください。チャレンジして進み続けてください。チャンスは逃さないように。応援しています。【男性、30 歳代】
- ・ 生まれ育ったこのまち平塚がこれからも一人一人の環境に対する意識を深く持って生活をしていくことが大事かなと思っています。【女性、70 歳代】
- ・ 環境問題についての知識をたくさん得ることでいろいろな活動につながっていくので、環境情報の発信が重要だと思う。海や山に恵まれた平塚が落ち着きのある癒しのまちであってほしい。【女性、60 歳代】
- ・ 誰もが住みやすいまちに、人々の声に耳を傾けることが大切だと思います。【男性、20 歳代】
- ・ 自治会以外にも近隣住民が交流出来る場があると良い。【男性、70 歳代】
- ・ 平塚市は、転入者が多いが、自治会加入者はほぼいません。古くからの住民など一部の住民が負担を強いられています。全ての住民がごみ分別や災害対策等を平等に負担出来るように、自治会を廃止し、税金で平等に負担できるように希望します。現実的に近い将来には自治会加入世帯は無くなると思います。その時が来てからでは遅いのでは無いでしょうか。是非ご検討をお願いします。【男性、60 歳代】
- ・ 環境ボランティアについて。より身近なものになるために、参加の流れや応募連絡事のマナー等の心配を解消するテーマを、市内の中高生に知って貰うことが重要だと思いました。中学生の頃、ボランティア団体への応募手順に関する不安が強く、人脈もなく、迷う内に断念してしまうことが多かったため。【女性、10 歳代】
- ・ 産官民で環境について話し合える場の提供と、条例改正などのときにより積極的にパブコメを募集してほしい。【男性、40 歳代】
- ・ 地産地消のさらなる推進。【女性、80 歳代】

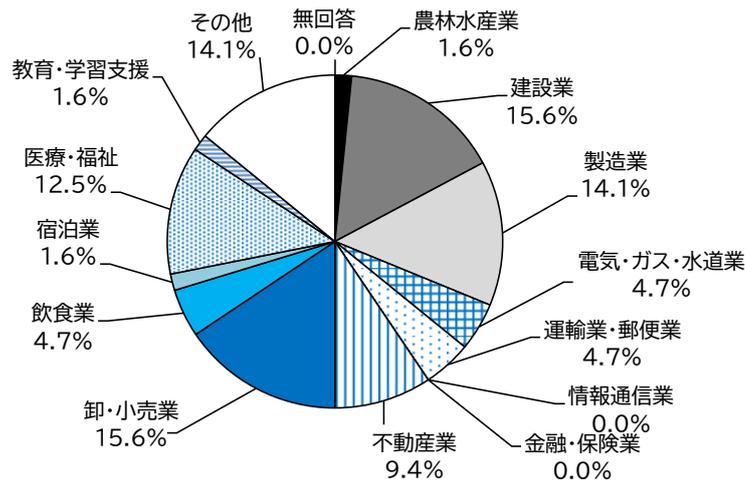
第3節

事業者アンケート結果

1 回答者の属性

(1) 主要業種

- 回答者の主な業種は、「建設業」「製造業」が最も多く1割台半ばとなっている。
- 「電気・ガス・水道業」以降の第三次産業の合計は5割台半ばとなっている。



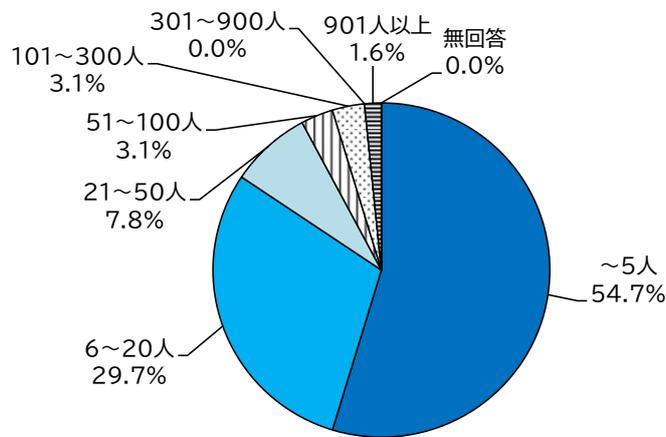
n=64

その他(自由記載欄)

- ・ 機械修理
- ・ 広告企画制作
- ・ 駐車場経営
- ・ 学術研究、専門技術サービス
- ・ サービス業
- ・ 有料職業紹介サービス
- ・ 印刷業、データ処理印字封入封緘、発送代行

(2) 従業員数

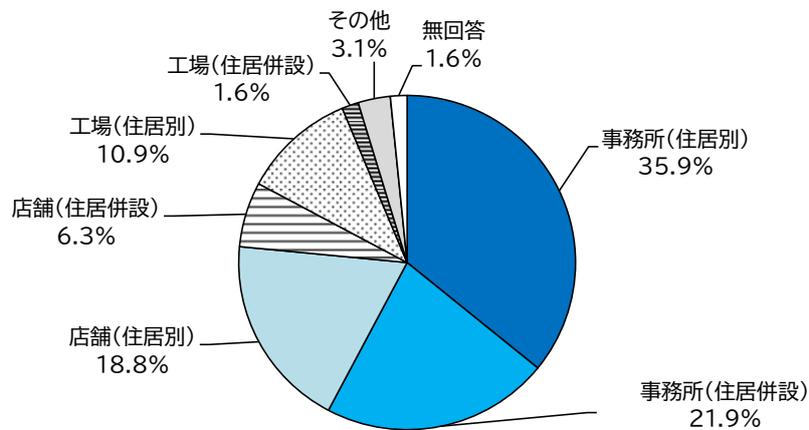
- 回答者の従業員数は、5人以下が最も多く5割台半ばで、次いで6人以上20人以下が3割近くとなっている。



n=64

(3) 事業所(市内)の形態

- 回答者の事業所形態は、「事務所(住居別)」が最も多く3割台半ばで、次いで「事務所(住居併設)」「店舗(住居別)」が2割程度となっている。



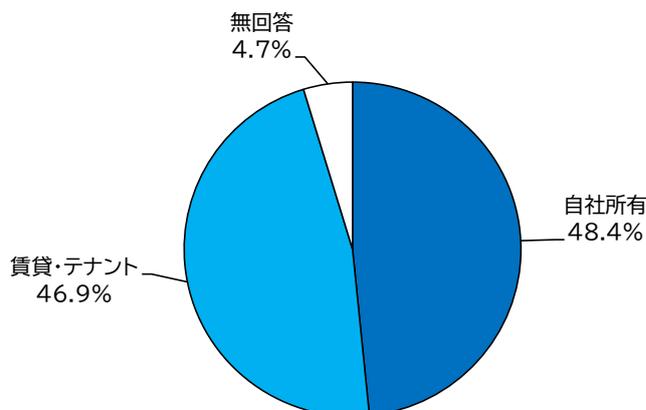
n=64

その他(自由記載欄)

- ・ 自宅兼事務所
- ・ 自宅マンション
- ・ 倉庫

(4) 事業所所有関係

- 回答者の事業所所有関係は、「自社所有」が「賃貸・テナント」を若干上回っている。



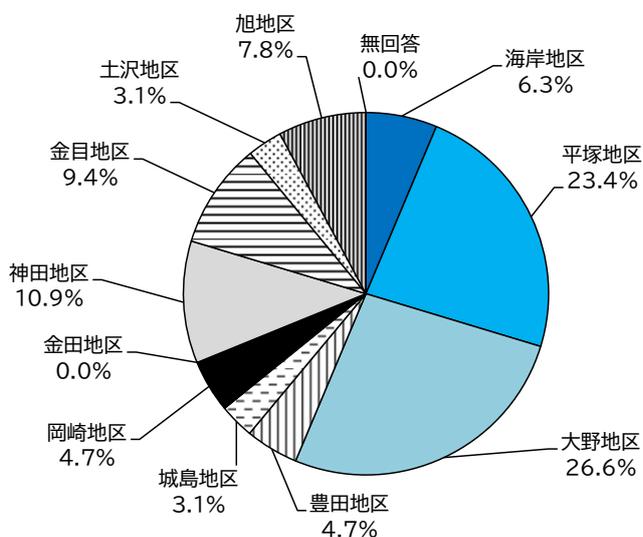
n=64

(5) 事業所(市内)の延床面積(単位:平方メートル)

50 未満	50 以上 100 未満	100 以上 200 未満	200 以上 500 未満	500 以上 1,000 未満	1,000 以上
4	50	100	200	500	1278.97
10	66	100	200	561	2,300
13	75	122	220	665	2,400
20	80	138	231.0	677.19	3,200
30	90	139	250	940	67,000
34.83	92.73	150	400	977.84	255,000
42	93	160	400		

(6) 所在地区

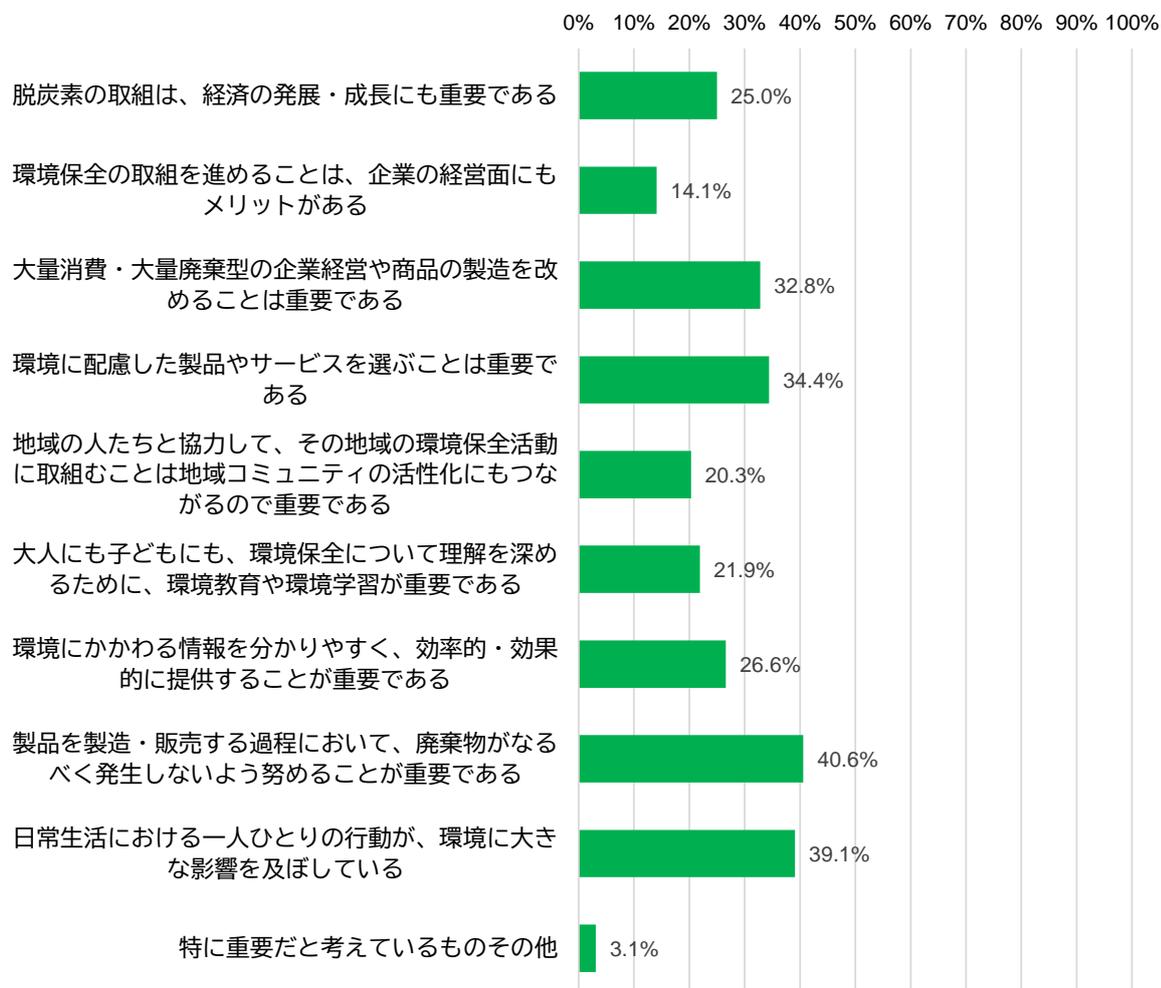
- 回答者の事業所所在地区は、「大野地区」「平塚地区」が最も多く、いずれも 2 割台半ばとなっている。



n=64

2 環境に対する考えについて、特に重要だと考えるもの（3つまで）

- 環境に対して特に重要な考えとして、「製品を製造・販売する過程において、廃棄物ができるべく発生しないよう努めることが重要である」「日常生活における一人ひとりの行動が、環境に大きな影響を及ぼしている」が最も高く、4割程度となっている。
- 次いで、「環境に配慮した製品やサービスを選ぶことは重要である」「大量消費・大量廃棄型の企業経営や商品の製造を改めることは重要である」が3割台半ばとなっている。



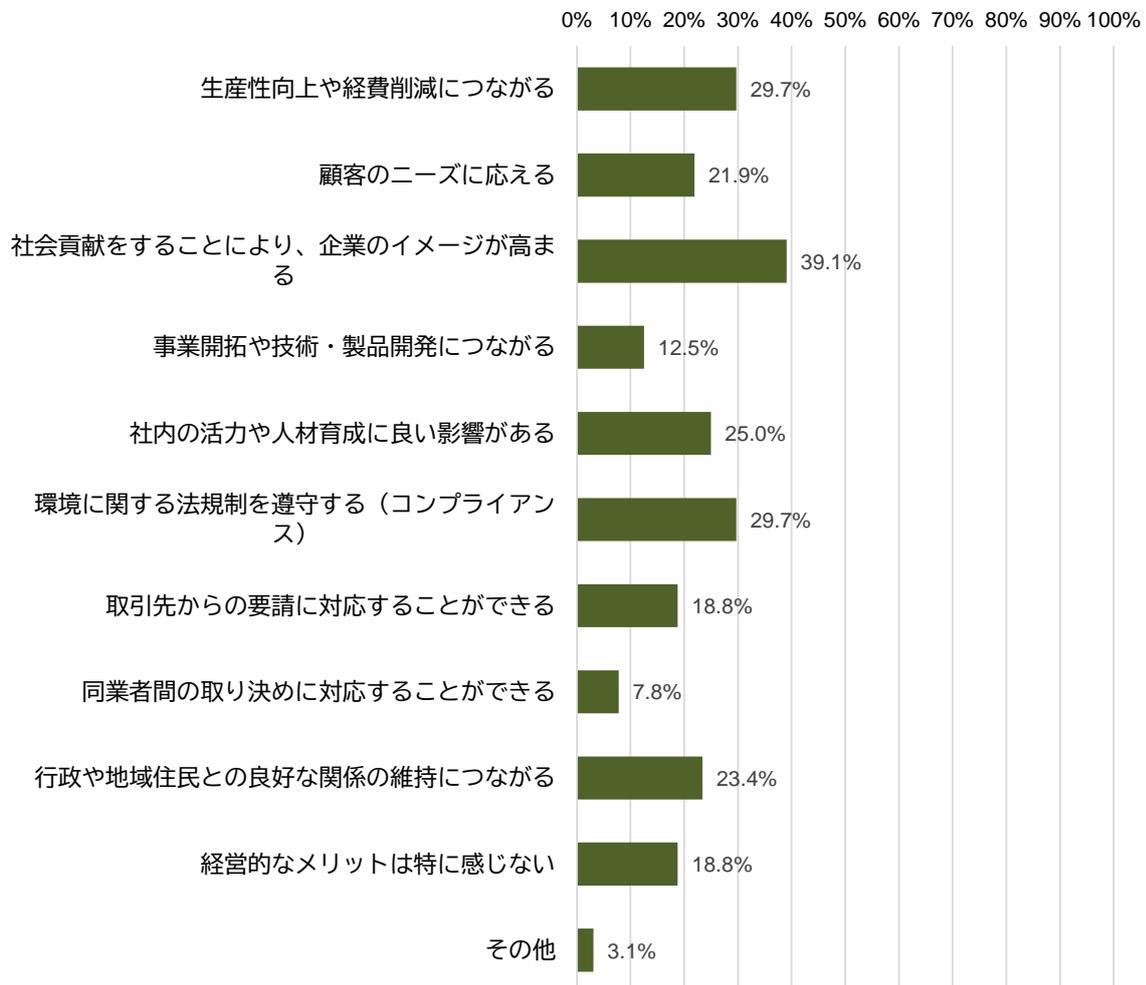
n=64

その他(自由記載欄)

- ・ 貸店舗のため。
- ・ 環境保護を謳い文句に増税されない事がもっとも重要である。

3 環境への取組による経営的なメリットとして、特に期待するもの（3つまで）

- 環境への取組による経営的なメリットとして、「社会貢献をすることにより、企業のイメージが高まる」が最も高く4割近くで、次いで「生産性向上や経費削減につながる」「環境に関する法規制を遵守する」が3割近くとなっている。



n=64

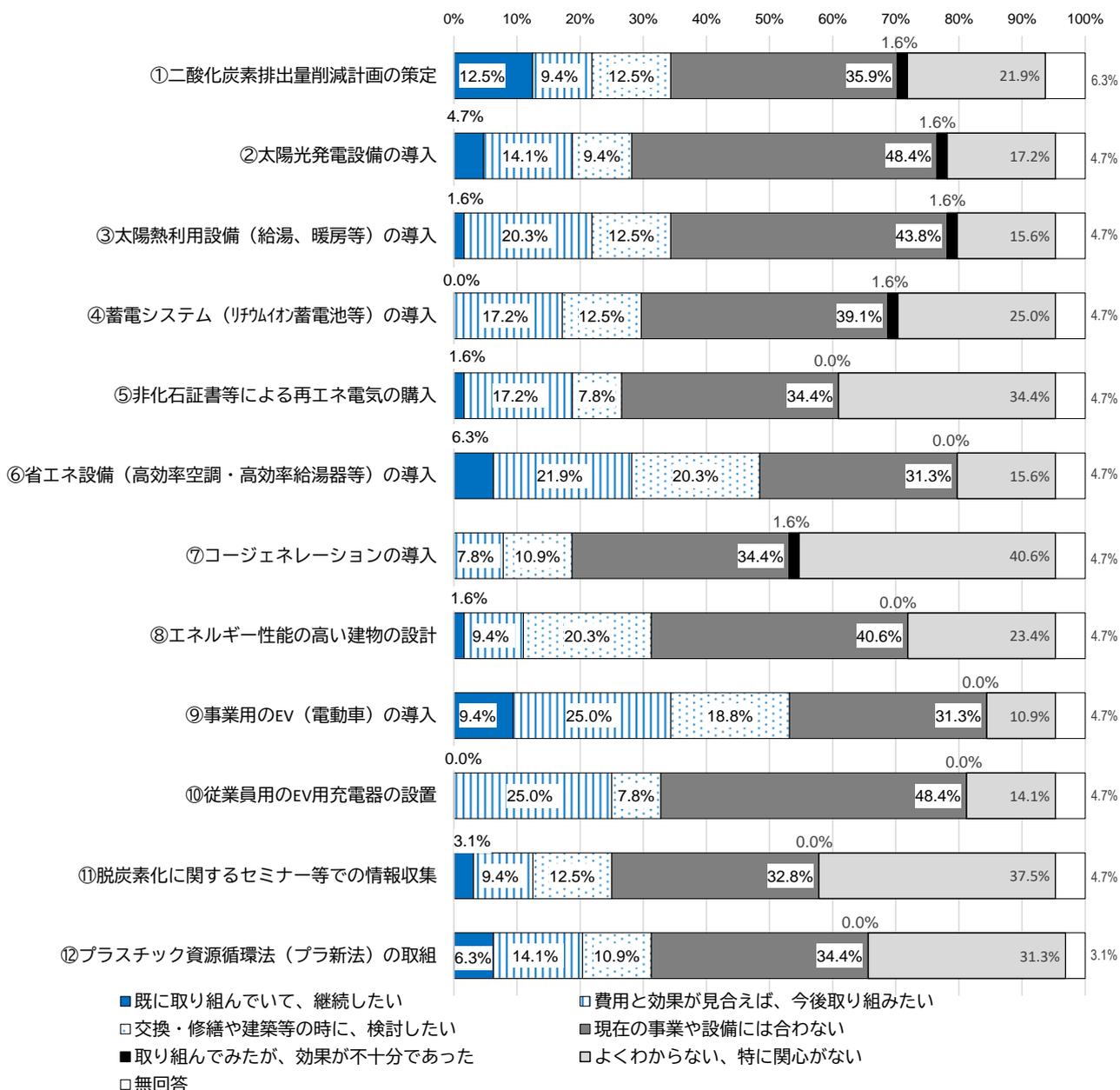
その他(自由記載欄)

- ・ 自宅兼事務所のため、経営的には家庭感覚。
- ・ 関係のない職業である。
- ・ 既得権の獲得。

4 自事業所（市内）における脱炭素化の取組について

(1) 脱炭素化の取組状況

- 脱炭素に向けた取組に関する各項目について、「すでに取り組んでいて、継続したい」を見ると、「①二酸化炭素排出量削減計画の策定」が最も高く1割台半ばとなっている。
- 「費用と効果が見合えば、今後取り組みたい」「交換・修繕や建築等の時に、検討したい」を合わせると、「⑨事業用のEV(電動車)の導入」「⑥省エネ設備(高効率空調・高効率給湯器等)の導入」が4割を超えているほか、他の項目でも2割を超えている。
- その一方で、全般に「現在の事業には合わない」が3割から5割近く、「よくわからない、特に関心がない」が1割から4割となっている。



n=64

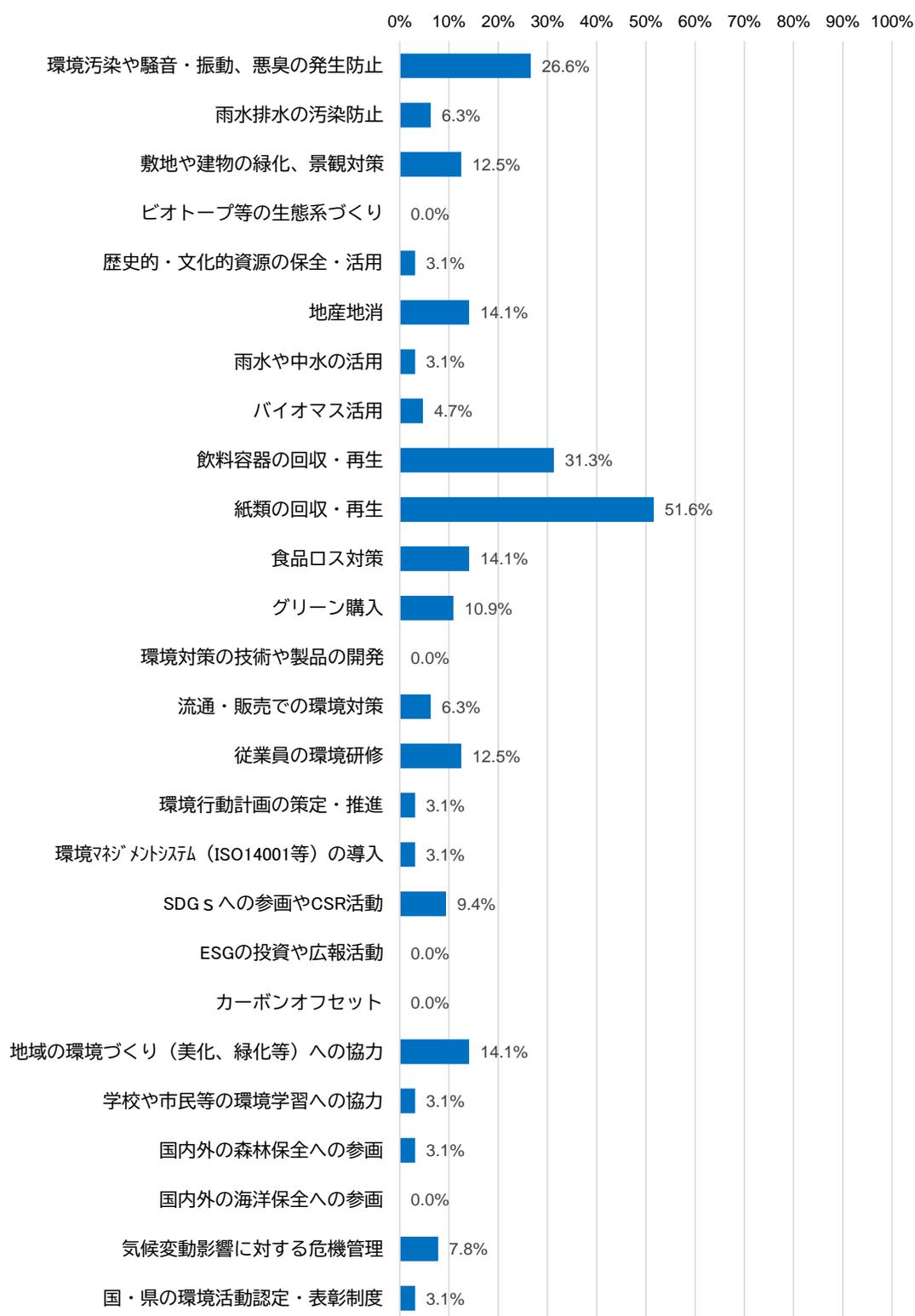
(2) 脱炭素化の取組を進めるにあたっての自事業所で課題となること(自由記載)

- ・ ほぼ全てコストとの見合いとなる為、導入したくとも難易度が高い。
- ・ 太陽光発電設備の導入や低炭素車の導入など初期費用もかかるし今あるもので使えるのすぐには取り組めない。
- ・ 費用面。
- ・ 設備や費用が必要なため対応できません。
- ・ 現在の仕事量では費用などほとんど出せません。
- ・ お金。
- ・ 目に見える効果がなかなかわかりにくい。費用対効果についてもわかりにくい。そのためみなさんの関心が今一つのような気がします。
- ・ テナントのためディベロッパーの意向がないと取り組めない。
- ・ 賃貸物件のため賃貸人の許可等が必要。
- ・ 包装資材の削減や脱プラ(バイオマス資材使用等)の推進。
- ・ 脱炭素化の取組はとても大切で、弊社では EV の導入、お客様への環境に関する提案しかできませんが、少しでも進めればいいと思います。
- ・ 政府、国会議員、環境省が信用されていない事が課題となっている。
- ・ 小さな事業所なので特に関心はありません。
- ・ 市内事業所では今の所、ありません。

5 エネルギー対策のほかの取組について

(1) エネルギー対策のほかに自事業所が実施している取組(制限なし)

- エネルギー対策のほかに実施している取組として、「紙類の回収・再生」が最も高く5割を超え、次いで「飲料容器の回収・再生」が3割程度、「環境汚染や騒音・振動、悪臭の発生防止」が2割台半ばとなっている。



n=64

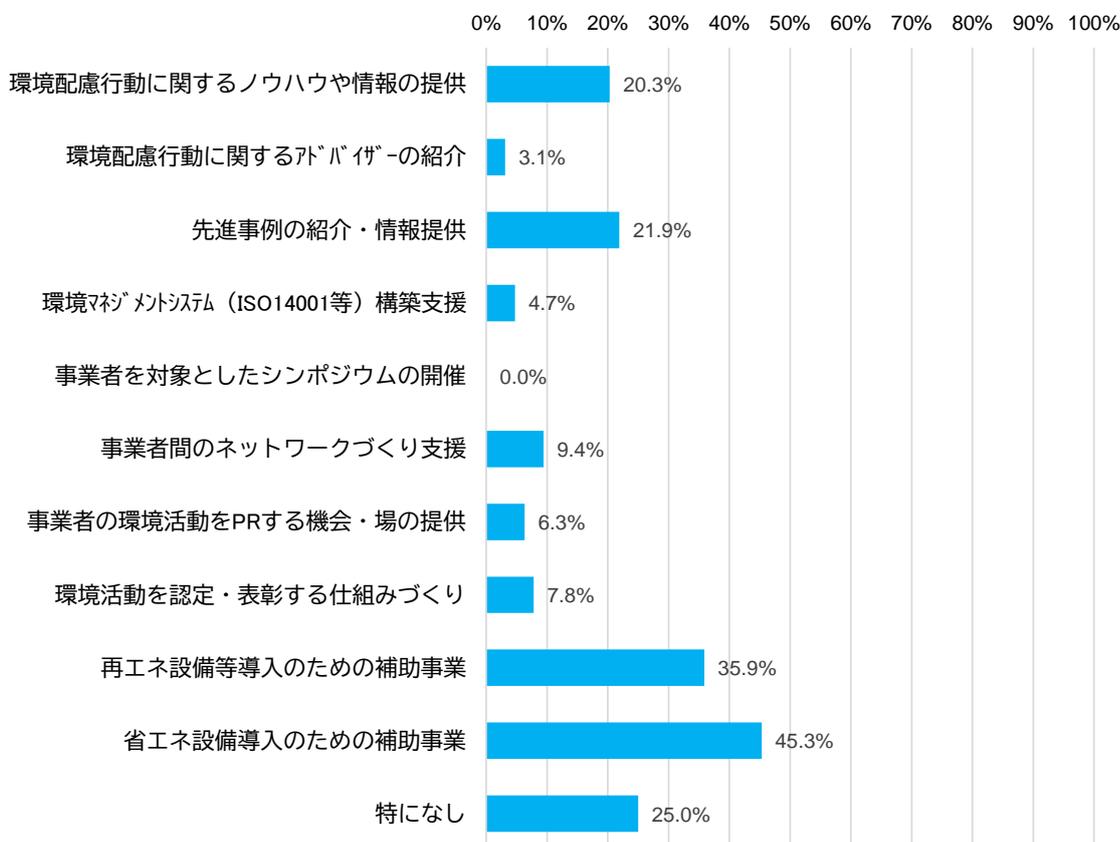
(2) 新たな取組やビジョンについて(自由記載)

- ・ 弊社は、地域農業を振興させたい、生活にみどりと花を再生させたいという県民の願いに応えるべく事業を行っています。
- ・ 環境の含意が広すぎるので具体的にどこを環境を言っているのか明確化すること。
- ・ 環境活動家と政治的思想、及び既得権を排除した科学とデータによる政策の実施。
- ・ 現在行っている取り組みに合理性や科学的根拠があるのかの見直しを行うこと。
- ・ 商品配送時の二酸化炭素削減の促進の為、配送の効率化や電動車の導入等。

6 環境への取組を進めるための、市からの支援策について

(1) 環境への取組を進めるための、市からの支援策について期待するもの(制限なし)

- 環境への取組を進めるための支援策として、「省エネ設備導入のための補助事業」が最も高く 4 割台半ばで、次いで「再エネ設備等導入のための補助事業」が 3 割台半ばとなっている。



n=64

(2) その他期待する支援策(自由記載)

- ・ 新型火力発電所 新型原子力発電所建設による電気代の値下げ。
- ・ 新型ごみ焼却炉建設による電気代の値下げとごみ分別の手間を減らすと同時に効率的な重金属の回収を期待する。
- ・ 知識とお金がないのでそれらを得られるならば協力したいと思うので、そういった支援がほしいし、情報が少ないです。
- ・ 減税。
- ・ 環境保全を本格的に推進させるには多額の費用がかかる為、一企業として出来る事が限られてきます。その為、施策遂行の為に有効となる補助(方法は多種多様)について行政として動いて頂きたいです。
- ・ 補助事業などの取組は行いたいと思いましたが、弊社の規模が小さいため該当するものはなかった。小規模の会社には何のありがたみもないです。
- ・ 法人の印鑑証明等をオンラインですぐに出せるようになったら助かるのと環境にもいいかなと思っています

7 事業者アンケートに見る方向性（総括）

(1) 回答者について

- 第三次産業が多い。
- 中小零細企業が多い。
- 立地は、大野地区、平塚地区が多い。

(2) 環境に対する考え

- 考え方の中で突出して支持されたものはないが、「製品を製造・販売する過程において、廃棄物になるべく発生しないよう努めることが重要である」「日常生活における一人ひとりの行動が、環境に大きな影響を及ぼしている」「環境に配慮した製品やサービスを選ぶことは重要である」「大量消費・大量廃棄型の企業経営や商品の製造を改めることは重要である」が比較的高く支持されている。

(3) 環境への取組による経営的なメリット

- メリットの中で突出して支持されたものはないが、「社会貢献をすることにより、企業のイメージが高まる」が最も高く 4 割近くで、次いで「生産性向上や経費削減につながる」「環境に関する法規制を遵守する」が比較的高く支持されている。

(4) 脱炭素に向けた自社のエネルギー対策等

- 脱炭素に向けた設備や車、情報収集等の各種エネルギー対策について、意欲、実践とも全般的に低調な傾向が見られる。費用と効果、自社の事業内容へのフィットが動機付けになり得ることが伺える。

(5) エネルギー対策のほかの環境保全の取組

- エネルギー対策のほかの環境保全の取組について、紙類や飲料容器の回収・再生、公害防止の実践度が比較的高い。

(6) 市による支援について

- 省エネ設備や再エネ設備の導入に向けた補助への要望が高い。

7 10年後、20年後を見ずえて、未来の平塚市の環境に望むことなど（自由記載）

- ・ 地球温暖化など自然災害への影響を考えれば、余計な宅地開発をせず森林管理や排水設備の整備等に力を注いでほしい。自然豊かな平塚を、人口の集中で格差を作らず、平均的なみどり豊かなまちにしてほしい。
- ・ 高品質な水資源確保と無用な摩擦を未然防ぐ為に土葬の禁止を要望する。
- ・ 質の高い電気、ガス、水道、道路、通信等のインフラを安く、安全に安定して利用できる。
- ・ 自然と市街地の共生。完全に分離した形ではなく、つかず離れずで融合していると理想的ではないでしょうか。
- ・ 花とみどりで暮らしにやすらぎを感じられる環境づくりが進んでいる状態。その取組に弊社が貢献できている状態。
- ・ 子育て世帯が多いので、子どもが安心安全に遊べるような公園だったり商業施設をこのまま維持してほしいと思います。
- ・ 既に取り組みを行っていると思いますが、地球温暖化対策を1人ひとりの意識が更に高まる様に人が集まる市の施設や駅、サッカー場でイベントを行い情報発信する。取り組みが出来た場合、ポイントを付けて平塚市内の施設等で利用出来る。
- ・ 私も含めて市民はまだまだどういったことが個人でできるものがあるのかも知られていない部分が多いので、まずそこから知らしめていただきたい。多くの方は「私一人がそれをやってもあまり変わらないよね」と思われているのが現状ですので、なにかそれに対してやった人にはこんなメリットがありますよといったことを具体的に示したほうが、市民は関心を持ってくれるのではないのでしょうか。例えば電球をLEDへ交換とか、生ごみ処理機やコンポストの設置とか、身近なものに補助を出すようにされると、関心は高くなるのではないのでしょうか。
- ・ 平塚市はごみ袋無料なのが大変助かります。個人、世帯、店など、意識して分別をすることを呼びかけ、ぜひごみ袋無料を継続してほしい。
- ・ 本当に暮らしやすい社会を作ってほしい。
- 安全で安心して暮らしていく為に高い治安を維持してもらいたい。
- ・ 実はもう方針は決定していてこの時間を掛けて答えたアンケートがただのアリバイ作りである。なんて事がない環境であってほしい。

第4節

市民団体アンケート結果

1 回答者の属性

(1) 組織形態

任意団体	9
一般社団法人	0
NPO 法人(認証申請中を含む)	3
計	12

(2) 会員数

5人未満	2
5～9人	1
10～29人	2
30～49人	4
50～99人	2
100人以上	1
計	12

(3) 会員の年齢層

60代以上の人が多い	10
広い年齢層にわたっている	2
計	12

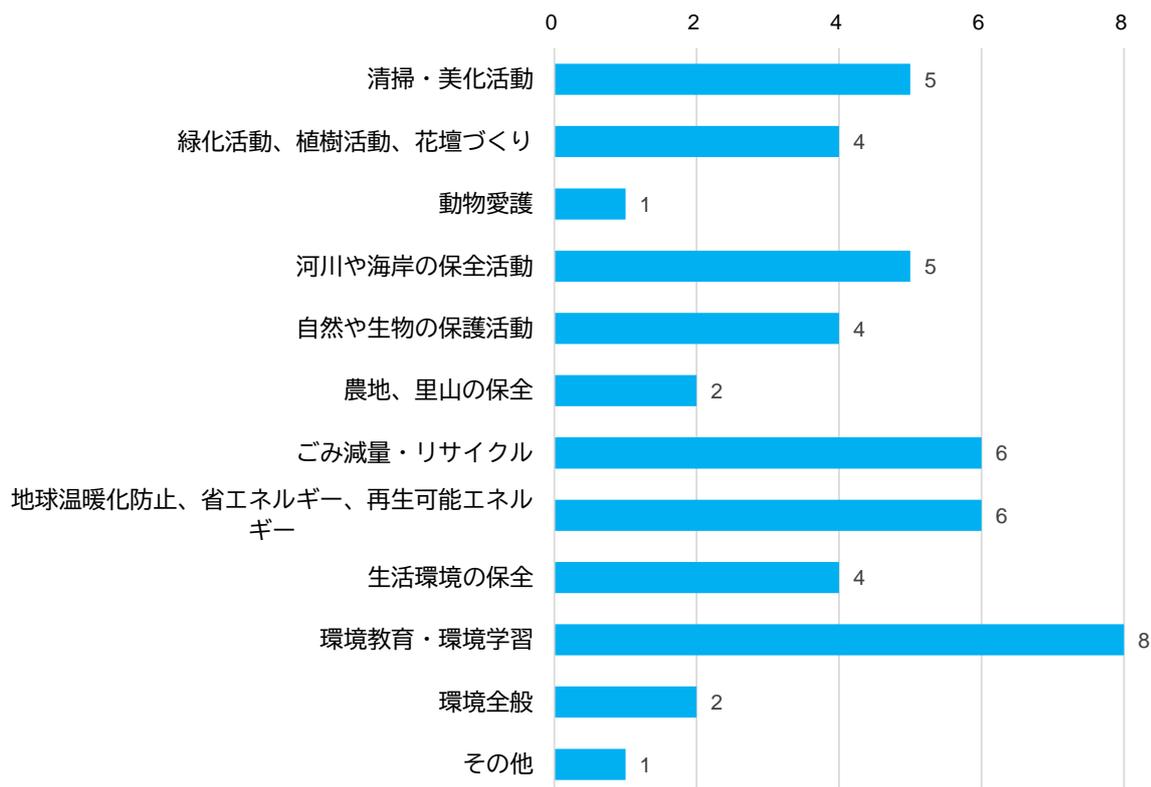
(4) 設立年数

10～14年	1
15～19年	3
20年以上	8
計	12

(5) 活動エリア

平塚市内	4
神奈川県内	8
計	12

(6) 活動分野



n=12

その他(自由記載欄)

- ・ 化学物質

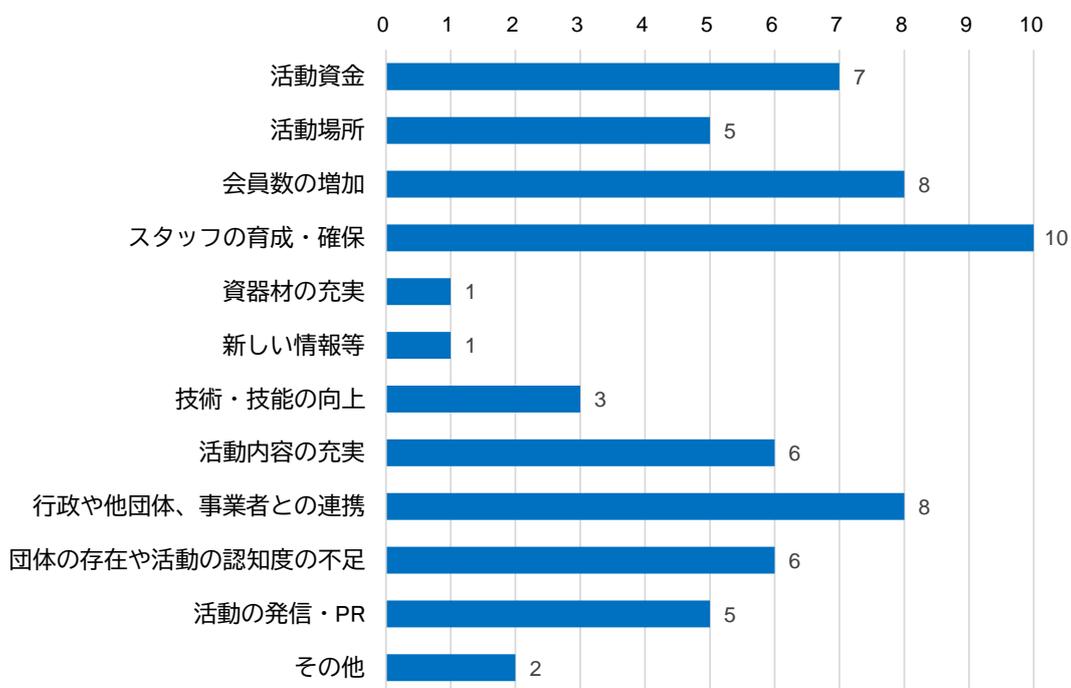
(7) 活動の内容や目的(自由記載)

- ・ 自然・エネルギー・環境について学習講座を実施している。実施場所は「はまぎん ども宇宙科学館」及び学校等の公共施設で行っている。
- ・ 主として平塚市内で飲食業を営む各組合相互の交流、協調のもと、各組合組合員の経営の健全化、食品衛生の向上、技術の研鑽を図り、もって市民生活における食文化の振興と地域社会の発展に寄与することを目的とする。
- ・ 森・農地・里山の保全や環境教育のため、地元で採集したドングリから育てた苗を植樹する活動。
- ・ 地球温暖化など地球環境の様々な課題を子どもや親とともに実験、自然体験、ものづくり体験を通して学ぶ。学習を通して自分の毎日の暮らしが川や海、遠い国までもつながり関わっていることを知って、学んだことで自分は何ができるかを考え、実行に移す力を育てることを目標に活動。
- ・ 川の自然保護を目的として絶滅危惧種の保護育成を行っている。子どもたちが河原の自然で遊ぶイベントや河原の清掃などを行っている。
- ・ 雑木林の維持管理などを通じて自然の仕組みと自然との関わりを学び、もって自然との共生を図るとともに、会員相互の資質の向上を図ることを目的とする。
- ・ 家庭生ごみは、捨てず燃やさずに堆肥化し、野菜や草花を育てよう。
- ・ 金目川水系流域の環境保全。

- ・ 環境にリスクのある化学物質の使用を避け、リスクを減らすことで、持続可能な自然環境を守りたい(生物の保全)。それにはごみ減量、リサイクル、エネルギー対策も含まれる。そのために啓発活動や環境学習を行う。
- ・ 市民からご寄付を頂く衣類、アクセサリ、日用雑貨玩具等を、季節に合わせて販売します。収益は経費(家賃、光熱費等)を除いて、アジアの子どもや女性への支援金としています。貧困解消、平和等活動目的は遠大です。
- ・ 24年前、金目川はごみの山であった。会として、川と土手の清掃を行い、現在も継続している。また水質や真夏の水温の調査を現在も継続している。生きものが棲み良い川づくりを目指している。また、子どもを対象に川の生きもの観察会を行い、五感の成長を図っている。学校等への出前授業を行い、自然豊かな川について教えている。

2 自団体の活動を継続・発展させていく上での課題（制限なし）

- 活動を継続・発展させていく上での課題として、「スタッフの育成・確保」が最も多く、次いで、「会員数の増加」「行政や他団体、事業者との連携」が同数となっている。



n=12

(その他(自由記載欄)は記載なし)

3 自団体が活動を行っていく上で、市の支援を期待するもの（制限なし）

- 活動への支援として、「活動場所・機会の提供」が最も多く、次いで、「環境保全についての情報の提供」「活動費などの支援」が同数となっている。



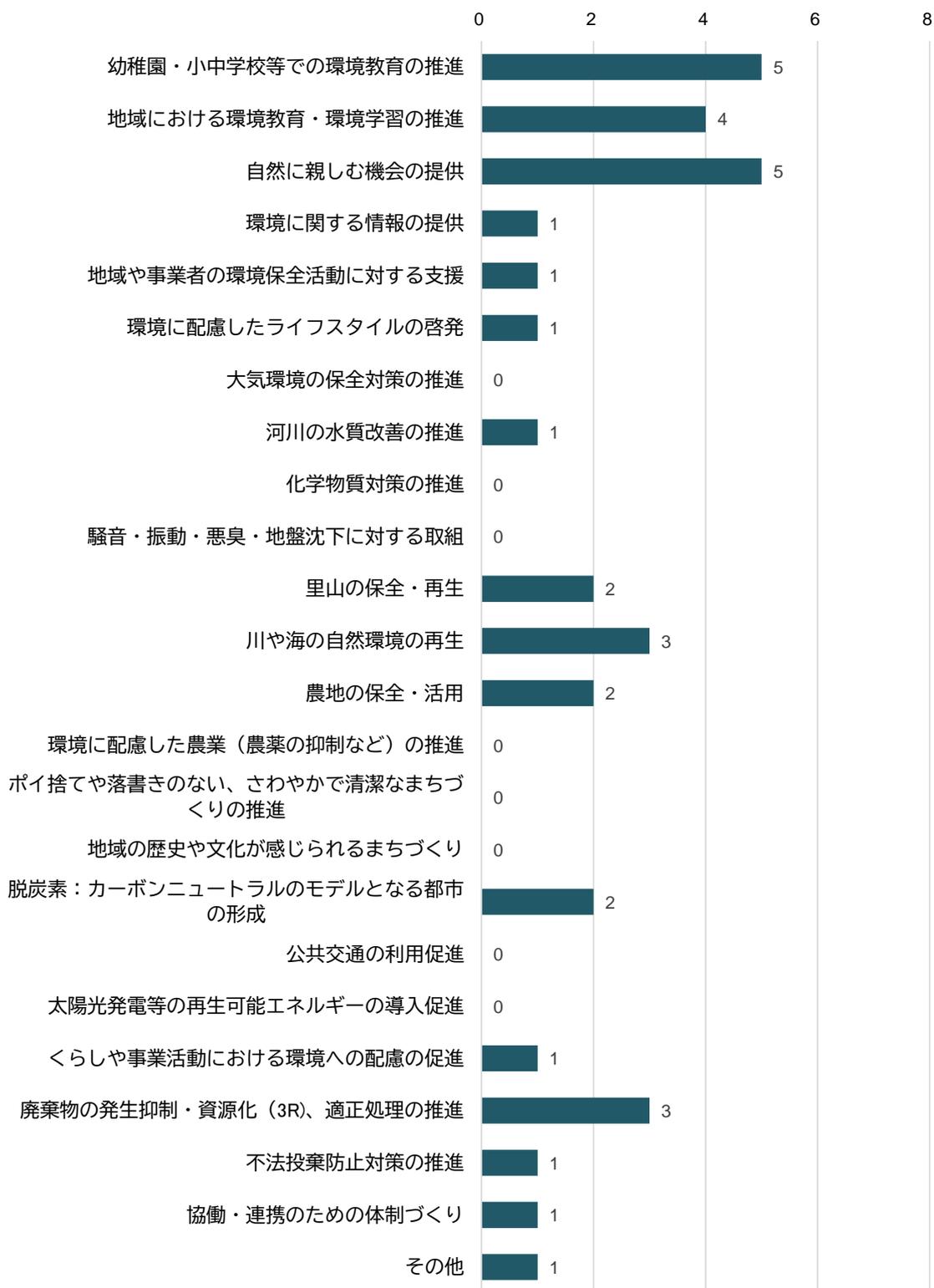
n=12

その他(自由記載欄)

- ・ 一般市民の環境意識向上のためのイベント。

4 平塚市の環境施策として、特に重要と思うもの（3つまで）

- 環境施策として重要なこととして、「幼稚園・小中学校等での環境教育の推進」「自然に親しむ機会の提供」が最も多く、次いで「地域における環境教育・環境学習の推進」となっている。



n=12

その他(自由記載欄)

- ・ 旧市営プール跡地利用計画の撤回と防災林再生。

5 10年後、20年後を見ずえて、未来の平塚市の環境に望むことなど（自由記載）

- ・ みどりを大切に守ってほしい。個人宅の大木についても守る施策があるとよい。
- ・ 平塚の河川から海へ流れ出るマイクロプラスチックが、神奈川県の良い例としてポスターになってしまっている現実を、市民への啓発で改善できたらよい。
- ・ 平らである恵まれた平塚市。快適に安全に自転車で移動できるよう、自転車専用レーンなど工夫するところは多くあると思うので考えていただきたい。
- ・ 海岸の砂防林の議論や計画が進んでいるようだが、世界的な植物学者の宮脇昭氏の指導のもとで40数年前に植樹しました。私も2度植樹した記憶があります。平塚には横浜ゴム、進和学園などにも植樹しました。真土小学校にも来ていただきお話を伺ったり、東北ではみどりの防波堤を作られる晩年のことでした。苗は進和学園の子どもたちが育てたものでした。
- ・ 県の環境科学センター、農業研究所にも恵まれている平塚は、今まで以上に連携して市の施策に反映していけたらと思います。
- ・ 環境センターみたいなものがあるといいと思います。平塚の環境の状況が常設で見られたり、調べることができたり、環境団体がそこで会議を行ったり、シンポジウムや展示会を開いたりできるイメージです。無料駐車場がついているとなおよいと思います。
- ・ 平塚市民が平塚の生き物を知り、自然を大切にすることを醸成する施設として、平塚市自然館の設立。生物多様性資料の展示。自然観察会の実施。自然観察員養成講座の実施。自然観察員養成講座の実施。生物多様性調査員育成講座の実施。場所の候補として、七国荘跡地、土屋幼稚園跡地、神奈川大学湘南キャンパスの一角。
- ・ 生ごみの堆肥化は、残渣残飯の収集と処理が毎日の行動で且つ家庭毎即ち市民単位の活動です。
- ・ 環境保全是全市民から成り立ち、是非推進したい。
- ・ 循環型社会、デコ活からの脱カーボン他関連は、多く強力なパワーとなる筈です。
- ・ 平塚市は神奈川県の中でも一番の米どころです。田畑をぜひ守ってほしいと思います。現状は地球温暖化が進み気候が心配であり、農作物に被害が出て、これから先食料の確保も危ぶまれます。健全な田畑は多くの生物の命も守りますし、温暖化を抑える働きもします。人や多くの生物の生命を守るためにも、農地を減らさず持続させてほしいと思います。同時に、里山、川、海の自然環境も良くして欲しいと思います。平塚市にはすばらしい金目川があります。金目川周辺や農地等の景色は人々の心を優しくしてくれます。市民の方たちが、そこに関わる楽しさや喜びを感じられる体験の機会をたくさん作って、守っていきたくなってくれると良いと思います。利便性ばかりを求め、世の中が物であふれても、人の心が荒んでは幸せとは言えませんし、何より安心・安全な水や空気と食物がなければ、人は生きていけないのですから。里山や川で元気に遊ぶ子どもの笑顔がずっと見られると良いです。
- ・ 地球温暖化防止へ取組を強化してほしい。年々30度を超える夏の気温や、水温、海水温の上昇を止めるべきである。増加する強大な台風への備えを充実させるべきである。なんといっても命を守る、安心・安全対策を図るべきである。
- ・ エネルギー問題をきめ細かく推進し、市民一人一人がエネルギー消費減少の道を探るべき。再生可能エネルギーについて蓄電池の発達に伴い、新しい展開が可能な施策を図るべきである。
- ・ 次代の子どもへへの出前教室の充実を進めてほしい。小学生は真っ直ぐでひたむきで、その姿勢が止まらないようにすべきである。豊かな自然の川、金目川は学習に役立つフィールドで、五感が豊かな人を育てる教育の場として最高である。学びに自然を活かす施策を増やしてほしい。

第5節 調査票

1 市民アンケート調査票

ひらつかし かんきょう かん しみん ちようさひよう
平塚市の環境に関する市民アンケート（調査票）

WEB回答入力番号 ※この番号は回答者を区別するものではありません。

問1 お住まいの近くの環境についてどう思いますか。(1)から(6)のそれぞれのことについて、最初に、枠の左4列 の満足度から1つだけ選び、印をつけてください。次に、10年くらい前（2014年ころ）から平塚市にお住まいの方は、右4列 の10年の変化から1つだけ選び、印をつけてください。10年未満の方は回答不要です。

(1)生活環境について

	満足	やや満足	やや不満足	不満足	10年で良くなった	変わらな	10年で悪くなった	わからな
①空気のきれいなまちになっている	0	0	0	0	0	0	0	0
②川や海等の水がきれいになっている	0	0	0	0	0	0	0	0
③有害化学物質の不安がなく、安心して暮らせる	0	0	0	0	0	0	0	0
④騒音、振動、悪臭がなく、快適な生活環境が確保されている	0	0	0	0	0	0	0	0
⑤地盤や地下水に不安がなく、安心して暮らせる	0	0	0	0	0	0	0	0

(2)自然共生・生物多様性について

	満足	やや満足	やや不満足	不満足	10年で良くなった	変わらな	10年で悪くなった	わからな
①里山が保全・再生され、自然とふれあう場がある	0	0	0	0	0	0	0	0
②水辺の自然が再生され、水に親しめる場がある	0	0	0	0	0	0	0	0
③農地が守られ、土とふれあう場がある	0	0	0	0	0	0	0	0
④みどりが広がり、うるおいとやすらぎのあるまちになっている	0	0	0	0	0	0	0	0
⑤自然と歴史的資源が調和した魅力あるまちなみがある	0	0	0	0	0	0	0	0
⑥有害鳥獣による被害の心配がなく、安心して暮らせる	0	0	0	0	0	0	0	0
⑦外来生物への対策がされていて、その影響が小さい	0	0	0	0	0	0	0	0

(3)循環型社会、ごみ、環境美化について

	満足	やや満足	やや不満足	不満足	10年で良くなった	変わらな	10年で悪くなった	わからな
①ごみの減量、リサイクル、リユースが進み、循環型社会が実現されている	0	0	0	0	0	0	0	0
②集積所でのカス等によるごみ散乱が減り、清潔なまちになっている	0	0	0	0	0	0	0	0
③美化活動が推進され、ポイ捨てや落書きのないきれいなまちになっている	0	0	0	0	0	0	0	0
④不法投棄が防止されていて、秩序が保たれている	0	0	0	0	0	0	0	0
⑤ペットの飼い主がマナーを守っている	0	0	0	0	0	0	0	0

(4)脱炭素(カーボンニュートラル)について

	満足	やや満足	やや不満足	不満足	10年で良くなった	変わらな	10年で悪くなった	わからな
①太陽光発電やEV(電動車)が身近に普及している	0	0	0	0	0	0	0	0
②自身も含め、身近な人も省エネに取り組んでいる	0	0	0	0	0	0	0	0
③公共交通機関や自転車を利用しやすいまちになっている	0	0	0	0	0	0	0	0
④脱炭素社会実現のために市民、事業者、行政が連携している	0	0	0	0	0	0	0	0

1

問1の続き

(5) 気候変動の影響について

	満足	やや満足	やや不満足	不満足	10年で良くなった	変わらなかった	10年で悪くなった	わからない
① 台風や集中豪雨に対する万全な備えができ、安心して暮らせる...	0	0	0	0	0	0	0	0
② 熱中症警戒アラート等の情報提供により、熱中症が適切に予防できる	0	0	0	0	0	0	0	0
③ 媒介動物が防除され、感染症の不安がないまちになっている	0	0	0	0	0	0	0	0
④ 津波や高潮への備えができています	0	0	0	0	0	0	0	0
⑤ 海岸浸食の不安がなく、安心して暮らせる	0	0	0	0	0	0	0	0

(6) 環境学習・協働について

	満足	やや満足	やや不満足	不満足	10年で良くなった	変わらなかった	10年で悪くなった	わからない
① 環境教育により、子どもの環境問題に対する関心が高まっている	0	0	0	0	0	0	0	0
② 市民・事業者等一人ひとりが、環境保全のために主体的に活動している	0	0	0	0	0	0	0	0
③ 環境やごみに関する行政情報が豊富にある	0	0	0	0	0	0	0	0

問2 平塚市が環境への取組を進める中で、特に将来に向けて大事だと思うものを、3つまで選び、印をつけてください。

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 空気、川、海が汚れていないこと | <input type="checkbox"/> 水辺や緑と身近に親しめること |
| <input type="checkbox"/> 農地や作物が身近にあること | <input type="checkbox"/> 歴史的・文化的な雰囲気を楽しめること |
| <input type="checkbox"/> 自然災害に対して備えがあること | <input type="checkbox"/> ごみ処理や資源化が充実していること |
| <input type="checkbox"/> 良好な景観が維持されていること | <input type="checkbox"/> 市民の環境への意識が高いこと |
| <input type="checkbox"/> 事業者の環境対策が進んでいること | <input type="checkbox"/> 地球温暖化への取組が進んでいること |
| <input type="checkbox"/> 環境学習や協働が活発なこと | <input type="checkbox"/> ボランティアや市民団体が活発なこと |
| <input type="checkbox"/> その他 [|] |

問3 あなたご自身の行動や、環境保全活動への参加について教えてください。

(1)から(3)のそれぞれのことについて、あてはまるものを1つだけ選び、印をつけてください。

(1) 環境保全活動への参加について	参加したことがある	時間や機会があれば、参加してみたい	人の役に立つなら、参加してみたい	自分に良い経験になるなら、参加してみたい	よくわからない、興味を持っていない
① 地域の清掃・美化活動	0	0	0	0	0
② 河川や海等の水環境の保全活動	0	0	0	0	0
③ 緑や農地の保全活動	0	0	0	0	0
④ 自然や生物の保全活動	0	0	0	0	0
⑤ 環境学習・啓発講座	0	0	0	0	0

問3の続き

(2) 日常的な行動について

すでに進んで、取り組んでいる	家のできるならば、取り組みたい	効果が見えるならば、取り組みたい	よくわからない、興味が持てない
----------------	-----------------	------------------	-----------------

- ①こまめな消灯や冷暖房の設定温度の管理等の節電..... 0 0 0 0
- ②燃料消費を抑えるための「エコドライブ」※運転しない方は回答不要です..... 0 0 0 0
- ③外出時の公共交通機関や自転車の積極的な利用..... 0 0 0 0
- ④油や調理くず等を流さない、洗剤を使いすぎない等の生活排水への配慮..... 0 0 0 0
- ⑤エコ消費(地産地消、詰め替え用商品の購入、ファストフード等に努める)..... 0 0 0 0
- ⑥ごみをできるだけ減らすような買い方、使い方..... 0 0 0 0
- ⑦紙、布、ビン、缶、金属の分別、資源化..... 0 0 0 0
- ⑧プラスチック容器包装やペットボトルの分別、資源化..... 0 0 0 0
- ⑨食べ残しをしない、料理の材料を無駄にしない等の食品ロス対応..... 0 0 0 0
- ⑩水道をこまめに止めたり、雨水や残り湯を使う等の節水..... 0 0 0 0

(3) エネルギー対策の設備や車等の導入について

すでに導入し、使いたい	費用と効果が見合えば導入したい	交換・修繕や建築の時には考えたい	今の生活や住宅には合わない	使ってみたら、効果がない	よくわからない、興味が持てない
-------------	-----------------	------------------	---------------	--------------	-----------------

- ①太陽光発電設備..... 0 0 0 0 0 0
- ②太陽熱利用設備(給湯、暖房等)..... 0 0 0 0 0 0
- ③蓄電システム(リチウムイオン蓄電池等)..... 0 0 0 0 0 0
- ④「ZEH」性能の高い住宅(ZEH:ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス等)..... 0 0 0 0 0 0
- ⑤HEMS(住宅用エネルギー管理システム)..... 0 0 0 0 0 0
- ⑥省エネ性能の高い家電(IPTV、冷蔵庫等)..... 0 0 0 0 0 0
- ⑦LED照明器具(住宅内の主なところ)..... 0 0 0 0 0 0
- ⑧高効率給湯器(エコジョーズ、エコット、エコウォーム等)..... 0 0 0 0 0 0
- ⑨家庭用燃料電池コージェネレーション設備(IFAAM等)..... 0 0 0 0 0 0
- ⑩EV(電動車)..... 0 0 0 0 0 0
(BEV: Bバッテリー車、PHEV: プラグインハイブリッド車、FCEV: 燃料電池車、HEV: Mブリッド車)
- ⑪V2H(BEV、PHEVを住宅の電源に活用する設備)..... 0 0 0 0 0 0
- ⑫断熱改修等の省エネリフォーム..... 0 0 0 0 0 0
- ⑬再生可能エネルギーで発電された電力の購入..... 0 0 0 0 0 0

問4 環境保全の取組を進めるための、市の支援や発信の方法についてお答えください。

(1) 環境学習や体験等への支援として、効果があると思うものをすべて選び、印をつけてください。

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> セミナーやシンポジウムの開催 | <input type="checkbox"/> 子どもを対象としたイベントの開催 |
| <input type="checkbox"/> 環境に配慮したライフスタイルの啓発 | <input type="checkbox"/> 交流・協力のための機会・場づくり |
| <input type="checkbox"/> 苗木等、道具や材料の支援 | <input type="checkbox"/> ノベルティグッズ、記念品等の配布 |
| <input type="checkbox"/> ノウハウ（技術、手法）や情報の提供 | <input type="checkbox"/> 講師やアドバイザーの紹介 |
| <input type="checkbox"/> その他 [|] |

(2) 環境情報の発信・入手について、望ましく思う手段、方法をすべて選び、印をつけてください。

- | | | |
|---------------------------------------|---|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 市のWEBサイト | <input type="checkbox"/> その他のWEBサイト | <input type="checkbox"/> 広報ひらつか |
| <input type="checkbox"/> チラシ・パンフレット | <input type="checkbox"/> LINE | <input type="checkbox"/> X（旧Twitter） |
| <input type="checkbox"/> YouTube | <input type="checkbox"/> Facebook・Instagram | <input type="checkbox"/> その他のSNS |
| <input type="checkbox"/> イベント、シンポジウム等 | <input type="checkbox"/> 職場や学校での講座や研修会 | <input type="checkbox"/> その他 [|
| | |] |

問5 10年後、20年後を見ずえて、未来の平塚市の環境がどうあってほしいと思いますか。その姿や理由、実現するための要望やアイデア等について、枠内にご自由にお書きください。

問6 ご自身にあてはまるものを、①～⑧でそれぞれ1つ選び、印をつけてください。

- | | | | | | | |
|---------|-------------------------------------|---------------------------------------|--|-------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------|
| ①性別 | <input type="checkbox"/> 男性 | <input type="checkbox"/> 女性 | <input type="checkbox"/> 答えない | | | |
| ②年代 | <input type="checkbox"/> 16～19歳 | <input type="checkbox"/> 20～29歳 | <input type="checkbox"/> 30～39歳 | <input type="checkbox"/> 40～49歳 | <input type="checkbox"/> 50～59歳 | |
| | <input type="checkbox"/> 60～69歳 | <input type="checkbox"/> 70～79歳 | <input type="checkbox"/> 80～89歳 | <input type="checkbox"/> 90歳～ | | |
| ③職業 | <input type="checkbox"/> 学生 | <input type="checkbox"/> 会社員・公務員・団体職員 | <input type="checkbox"/> パートタイマー・アルバイト | <input type="checkbox"/> 自営 | | |
| | <input type="checkbox"/> 無職 | <input type="checkbox"/> その他 | | | | |
| ④世帯構成 | <input type="checkbox"/> 単身 | <input type="checkbox"/> 夫婦のみ | <input type="checkbox"/> 親子2世代 | <input type="checkbox"/> 3世代 | <input type="checkbox"/> その他 | |
| ⑤市内居住年数 | <input type="checkbox"/> 2年未満 | <input type="checkbox"/> 2年以上5年未満 | <input type="checkbox"/> 5年以上10年未満 | <input type="checkbox"/> 10年以上20年未満 | <input type="checkbox"/> 20年以上30年未満 | <input type="checkbox"/> 30年以上 |
| ⑥住居形態 | <input type="checkbox"/> 一戸建て（住居専用） | <input type="checkbox"/> 一戸建て（事業所併設） | <input type="checkbox"/> 集合住宅 | <input type="checkbox"/> その他 | | |
| ⑦住宅所有関係 | <input type="checkbox"/> 持ち家（建物） | <input type="checkbox"/> 賃貸（建物） | | | | |
| ⑧居住地区 | <input type="checkbox"/> 海岸地区 | <input type="checkbox"/> 平塚地区 | <input type="checkbox"/> 大野地区 | <input type="checkbox"/> 豊田地区 | <input type="checkbox"/> 城島地区 | <input type="checkbox"/> 岡崎地区 |
| | <input type="checkbox"/> 金田地区 | <input type="checkbox"/> 神田地区 | <input type="checkbox"/> 金目地区 | <input type="checkbox"/> 王沢地区 | <input type="checkbox"/> 旭地区 | |

※各地区の町名は、「ご協力のお願い」の裏面「問6 ⑧居住地区の参考資料」をご覧ください。

同封の返信封筒に入れ、**9月30日（月）**

ご協力いただきありがとうございました。

までにご投函ください。（切手は不要です。）

2 事業者アンケート調査票

平塚市の環境に関する事業者アンケート（調査票）				
WEB 回答入力番号	※この番号は回答者を区別するものではありません。			
問1 貴事業所についてお伺いします。				
貴事業所に該当するものをそれぞれ1つ選び、印をつけてください。				
①主要業種	<input type="checkbox"/> 農林水産業	<input type="checkbox"/> 建設業	<input type="checkbox"/> 製造業	<input type="checkbox"/> 電気・ガス・水道業
	<input type="checkbox"/> 運輸業・郵便業	<input type="checkbox"/> 情報通信業	<input type="checkbox"/> 金融・保険業	<input type="checkbox"/> 不動産業
	<input type="checkbox"/> 卸・小売業	<input type="checkbox"/> 飲食業	<input type="checkbox"/> 宿泊業	<input type="checkbox"/> 医療・福祉
	<input type="checkbox"/> 教育・学習支援 <input type="checkbox"/> その他 []			
②従業員数	<input type="checkbox"/> ~5人	<input type="checkbox"/> 6~20人	<input type="checkbox"/> 21~50人	<input type="checkbox"/> 51~100人
(常時使用する人数)	<input type="checkbox"/> 101~300人	<input type="checkbox"/> 301~900人	<input type="checkbox"/> 901人以上	
③事業所	<input type="checkbox"/> 事務所（住居別）	<input type="checkbox"/> 事務所（住居併設）	<input type="checkbox"/> 店舗（住居別）	<input type="checkbox"/> 店舗（住居併設）
(市内)の形態	<input type="checkbox"/> 工場（住居別）	<input type="checkbox"/> 工場（住居併設）	<input type="checkbox"/> その他 []	
④事業所所有関係	<input type="checkbox"/> 自社所有		<input type="checkbox"/> 賃貸・テナント	
⑤事業所（市内）の延床面積をご記入ください	約 []			平方メートル
⑥所在地	<input type="checkbox"/> 海岸地区	<input type="checkbox"/> 平塚地区	<input type="checkbox"/> 大野地区	<input type="checkbox"/> 豊田地区
	<input type="checkbox"/> 城島地区	<input type="checkbox"/> 岡崎地区	<input type="checkbox"/> 金田地区	<input type="checkbox"/> 神田地区
	<input type="checkbox"/> 金目地区	<input type="checkbox"/> 土沢地区	<input type="checkbox"/> 旭地区	
※各地区の町名は、「ご協力をお願い」の裏面「問1 ⑥所在地の参考資料」をご覧ください				
⑦事業者情報	今後の施策展開に活かす情報を収集するためにお話しをお伺いすることがあります。			
※非公表	公表はいたしませんので、差支えなければご記入ください。			
事業者名	[]]
電話番号	[] ご担当者様]
問2 環境に対する考えについて、貴事業所が特に重要だと考えているものを3つまで選び、印をつけてください。				
	<input type="checkbox"/> 脱炭素の取組は、経済の発展・成長にも重要である			
	<input type="checkbox"/> 環境保全の取組を進めることは、企業の経営面にもメリットがある			
	<input type="checkbox"/> 大量消費・大量廃棄型の企業経営や商品の製造を改めることは重要である			
	<input type="checkbox"/> 環境に配慮した製品やサービスを選ぶことは重要である			
	<input type="checkbox"/> 地域の人たちと協力して、その地域の環境保全活動に取り組むことは地域コミュニティの活性化にもつながるので重要である			
	<input type="checkbox"/> 大人にも子どもにも、環境保全について理解を深めるために、環境教育や環境学習が重要である			
	<input type="checkbox"/> 環境にかかわる情報を分かりやすく、効率的・効果的に提供することが重要である			
	<input type="checkbox"/> 製品を製造・販売する過程において、廃棄物となるべく発生しないよう努めることが重要である			
	<input type="checkbox"/> 日常生活における一人ひとりの行動が、環境に大きな影響を及ぼしている			
	<input type="checkbox"/> その他 []			
1				

問3 環境への取組による経営的なメリットとして、貴事業所が特に期待するものを3つまで選び、印をつけてください。

- 生産性向上や経費削減につながる
- 顧客のニーズに応える
- 社会貢献をすることにより、企業のイメージが高まる
- 事業開拓や技術・製品開発につながる
- 社内の活力や人材育成に良い影響がある
- 環境に関する法規制を遵守する（コンプライアンス）
- 取引先からの要請に対応することができる
- 同業者間の取り決めに対応することができる
- 行政や地域住民との良好な関係の維持につながる
- 経営的なメリットは特に感じない
- その他 []

問4 貴事業所（市内）における脱炭素化の取組について、お答えください。

それぞれの項目について、右の欄のあてはまるものを1つ選び、印を付けてください。

	既に取組んでいて、継続したい	費用と効果が見合えば、今後取組みたい	交換・修繕や建築等の時に、検討したい	現在の事業や設備には合わない	取組んでみたが、効果が不十分であった	よくわからない、特に関心がない
①二酸化炭素排出量削減計画の策定	0	0	0	0	0	0
②太陽光発電設備の導入	0	0	0	0	0	0
③太陽熱利用設備（給湯、暖房等）の導入	0	0	0	0	0	0
④蓄電システム（リチウム蓄電池等）の導入	0	0	0	0	0	0
⑤非化石証書等による再エネ電気の購入	0	0	0	0	0	0
⑥省エネ設備（高効率空調・高効率給湯器等）の導入	0	0	0	0	0	0
⑦コージェネレーションの導入	0	0	0	0	0	0
⑧エネルギー性能の高い建物の設計	0	0	0	0	0	0
（ZEB:ネット・ゼロ・エネルギー・ビル、ZEH:ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス、等）						
⑨事業用のEV（電動車）の導入	0	0	0	0	0	0
（BEV:バッテリー車、PHEV:プラグインハイブリッド車、FCEV:燃料電池車、HEV:ハイブリッド車）						
⑩従業員用のEV用充電器の設置	0	0	0	0	0	0
⑪脱炭素化に関するセミナー等での情報収集	0	0	0	0	0	0
⑫プラスチック資源循環法（プラ新法）の取組	0	0	0	0	0	0

問5 問4で列挙した脱炭素化の取組を進めるにあたり、貴事業所で課題となることをご記入ください。

問6 エネルギー対策のほかに貴事業所が実施している取組をすべて選び、印をつけてください。
また、貴事業所や業界において環境保全の新たな取組や動き、ビジョン等があれば枠内にご記入ください。

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 環境汚染や騒音・振動、悪臭の発生防止 | <input type="checkbox"/> 雨水排水の汚染防止 |
| <input type="checkbox"/> 敷地や建物の緑化、景観対策 | <input type="checkbox"/> ビオトープ等の生態系づくり |
| <input type="checkbox"/> 歴史的・文化的資源の保全・活用 | <input type="checkbox"/> 地産地消 |
| <input type="checkbox"/> 雨水や中水の活用 | <input type="checkbox"/> バイオマス活用 |
| <input type="checkbox"/> 飲料容器の回収・再生 | <input type="checkbox"/> 紙類の回収・再生 |
| <input type="checkbox"/> 食品ロス対策 | <input type="checkbox"/> グリーン購入 |
| <input type="checkbox"/> 環境対策の技術や製品の開発 | <input type="checkbox"/> 流通・販売での環境対策 |
| <input type="checkbox"/> 従業員の環境研修 | <input type="checkbox"/> 環境行動計画の策定・推進 |
| <input type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム（ISO14001等）の導入 | <input type="checkbox"/> SDGsへの参画やCSR活動 |
| <input type="checkbox"/> ESGの投資や広報活動 | <input type="checkbox"/> カーボンオフセット |
| <input type="checkbox"/> 地域の環境づくり（美化、緑化等）への協力 | <input type="checkbox"/> 学校や市民等の環境学習への協力 |
| <input type="checkbox"/> 国内外の森林保全への参画 | <input type="checkbox"/> 国内外の海洋保全への参画 |
| <input type="checkbox"/> 気候変動影響に対する危機管理 | <input type="checkbox"/> 国・県の環境活動認定・表彰制度 |
- 新たな取組や動き、ビジョン等があれば、ご自由にご記入ください

問7 環境への取組を進めるために、市からの支援策について、期待するものをすべて選び、印をつけてください。

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 環境配慮行動に関するノウハウや情報の提供 | <input type="checkbox"/> 環境配慮行動に関するアドバイザーの紹介 |
| <input type="checkbox"/> 先進事例の紹介・情報提供 | <input type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム（ISO14001等）構築支援 |
| <input type="checkbox"/> 事業者を対象としたシンポジウムの開催 | <input type="checkbox"/> 事業者間のネットワークづくり支援 |
| <input type="checkbox"/> 事業者の環境活動をPRする機会・場の提供 | <input type="checkbox"/> 環境活動を認定・表彰する仕組みづくり |
| <input type="checkbox"/> 再エネ設備等導入のための補助事業 | <input type="checkbox"/> 省エネ設備導入のための補助事業 |
| <input type="checkbox"/> 特になし | |

これらの他に期待する支援策があれば、ご自由にご記入ください

[]

問8 10年後、20年後を見すえて、未来の平塚市の環境がどうあってほしいと思いますか。その姿や理由、実現するための要望やアイデア等について、枠内にご自由にお書きください。

[]

ご協力いただきありがとうございました。

同封の返信封筒に入れ、**9月30日(月)**までにご投函ください。(切手は不要です。)

3 市民団体アンケート調査票

平塚市の環境に関する市民団体アンケート(調査票)

WEB 回答入力番号

※この番号は回答者を区別するものではありません。

問1 貴団体についてお伺いします。

貴団体が該当するものをそれぞれ1つ選び、印をつけてください。

①組織形態 任意団体 一般社団法人 NPO 法人 (認証申請中を含む)
 その他 []

②会員数 5人未満 5~9人 10~29人 30~49人
 50~99人 100人以上

③会員の年齢層 10代以下の人が多い 20代、30代の人が多い 40代、50代の人が多い
 60代以上の人が多い 広い年齢層にわたっている

④設立年数 設立から4年未満 5~9年 10~14年 15~19年 20年以上

⑤活動エリア 平塚市内 神奈川県内 全国 その他 []

⑥活動分野について、貴団体が該当するものをすべて選び、印をつけてください。

清掃・美化活動 緑化活動、植樹活動、花壇づくり 動物愛護
 河川や海岸の保全活動 自然や生物の保護活動 農地、里山の保全
 ごみ減量・リサイクル 地球温暖化防止、省エネルギー、再生可能エネルギー
 生活環境の保全 環境教育・環境学習 環境全般
 その他 []

⑦活動の具体的な内容や目的について、枠内にご記入ください。

[]

⑧団体情報 今後の施策展開に活かす情報を収集するために、お話を伺いすることがあります。
※非公表 公表はいたしませんので、差支えなければご記入ください。

団体名 []

電話番号 [] ご担当者様 []

問2 貴団体の環境保全活動を継続・発展させていく上で、どのようなことが課題になるとお考えですか。該当するものをすべて選び、印をつけてください。

活動資金 活動場所 会員数の増加 スタッフの育成・確保
 資器材の充実 新しい情報等 技術・技能の向上 活動内容の充実
 行政や他団体、事業者との連携 団体の存在や活動の認知度の不足
 活動の発信・PR その他 []

問3 貴団体が活動を行っていく上で、市の支援を期待するものをすべて選び、印をつけてください。

- 環境保全についての情報の提供
- 活動場所・機会の提供
- 活動費などの支援
- 他団体や企業等との連携支援
- 貴団体の取組の紹介・PR
- 環境保全についての対話の機会の提供
- 環境保全についての知る機会の提供（講演会、シンポジウム、勉強会等の開催）
- その他 []

問4 平塚市の環境施策として、特に重要と思うものを3つまで選び、印をつけてください。

- 幼稚園・小中学校等での環境教育の推進
- 地域における環境教育・環境学習の推進
- 自然に親しむ機会の提供
- 環境に関する情報の提供
- 地域や事業者の環境保全活動に対する支援
- 環境に配慮したライフスタイルの啓発
- 大気環境の保全対策の推進
- 河川の水質改善の推進
- 化学物質対策の推進
- 騒音・振動・悪臭・地盤沈下に対する取組
- 里山の保全・再生
- 川や海の自然環境の再生
- 農地の保全・活用
- 環境に配慮した農業（農薬の抑制など）の推進
- ポイ捨てや落書きのない、さわやかで清潔なまちづくりの推進
- 地域の歴史や文化が感じられるまちづくりの推進
- 脱炭素（カーボンニュートラル）のモデルとなる都市の形成
- 公共交通の利用促進
- 太陽光発電等の再生可能エネルギーの導入促進
- くらしや事業活動における環境への配慮の促進
- 廃棄物の発生抑制・資源化（リデュース・リユース・リサイクル）、適正処理の推進
- 不法投棄防止対策の推進
- 協働・連携のための体制づくり
- その他 []

問5 10年後、20年後を見ずえて、未来の平塚市の環境がどうあってほしいと思いますか。その姿や理由、実現するための要望やアイデアなどについて、枠内にご自由にご記入ください。

アンケートにご協力いただきありがとうございました。

同封の返信封筒に入れ、9月30日(月)までにご投函ください。(切手は不要です。)

